

の制限は撤去せられたり、自治團體は各地に組織せられ、鐵道敷設の計畫は盛に競争せられ、教育の組織は改良せられ、法典は完成せられぬ。されば一八四一年は實に近世的植民政治の創始されたる年なりと云ふも過言にあらざるなり。此處に一の注目に價ひすべき事實は、其採用されたる憲法の全く舊英國式なることこれなり、而して法律上政治上の事に關し、特に明文を以て規定されざることは、凡て英國に於けると同一なるべしと假定さる。最高等裁判所の判決に據れば、クインスランドの上院は下院と同等の權力を有せず、何となれば英國に於ても之を有せざればなり、而して此判決の主義が加奈太にも應用さるべきは固より言を俟たざるなり。加奈太の憲法は北米合衆國に行はるゝものとは形式を異にせり。合衆國に於ては、行政部と立法部との間には截然たる區劃あり、兩者共人民に依りて選舉さるゝ點は同一なれども、各別々に獨立して選舉さるゝなり、行政部は四年毎に選舉され、其期間は何程立法部の不満足を買ふごも其地位を維持することを得、之に反して、加奈太の憲法は全く英國憲法の移植にして、内閣は立法部の一委員會に過ぎず。アングロサクソン種族の間に養成されたる二種の異

なる代議政體の形式中、其何れを植民地のために採用すべきかは、一の大なる難問なりしが、此加奈太に於ける最初の實驗に依りて、遂に斷然其方針を一定することを得たり、而して應て此解決は佛蘭西及び以太利の如き羅匈國民の等しく採用する所となりぬ。

一八七四年トロントに於て、デファーン卿は、加奈太が合衆國と合併せんよりは、現状の儘に存在するを勝れりとするの理由として左の諸項を列舉せり。

加奈太に於ては行政部と立法部と結合しつゝありて、能く英國の習慣に依據するの便あり。

加奈太には太守ありて、上下兩院間、並に地方政府と中央政府間に起るべき衝突を緩和するの便あり。

加奈太に於ては他の諸國と等しく、司法官は政府に依て任命さる。然れども合衆國に於ては、民衆に係るが故に其弊に堪えざるものあり。

加奈太に於ては、事房官の地位は永久的にして、米國の如く黨派の變動によりて變動せず。

加奈太は事實に於ては最良の選舉組織を有す。

責任政治の擴張

今日迄英國の植民地中責任政治を許與されたるもの、加奈太を除きて、左の九箇所なりとす。即ちニューファウンドランド、タスマニヤ、ニュージールランド、喜望峰植民地、ニューサウスウェールズ、ヴィクトリア、南濠洲、クインスランド、及び一八九〇年に許與せられたる西濠洲等これなり。凡てこれらの植民地に於て、太守は本國政府と植民地政府との間に於ける唯一の連鎖にて、彼の權力は只だ否認權を有するに止まれり。而して此權力すらも制限さるゝ所あるを免かれず。即ち否認權を實行することを得るの時は、帝國の外交政策に關係あるとき若くは國務大臣が帝國の現行法律と兩立すべからずと認めたる法令を植民地議會に於て通過したるときに限られたるなり。例へば或種の條約を訂結するの權ある加奈太に於ても、佛國の商品をして、他列國の商品よりも、不利益の地位に置かしむるが如き商業條約は第一の見地よりして許容さるべきにあらず。又第二の見地より云へば、英國の商品をして、他列國のそれに比して、不利益の地位にあらしむるが如き法律はこれを認可すること能はざるなり。他の事件に關して、否認權を實行せん

ことを要求したる實例なきにあらず。かのヴィクトリアに於て上下兩院の間に一大衝突のありし時の如き是なり。然れども國會は斯くの如き事件は植民地自身に於て處理すべき事なりとの判決を下しぬ。

此事件に關する討論中のことなり。植民地の檢事總長は下院に演説して、若し太守にして強て爭論決定の權を植民地の手より奪取せんと試むるが如きことあらば、彼をして港内に碇泊せる帝國軍艦に乗込ましむることの可能なるを暗示したりき。これに反して、ダフリン卿は一八七六年英領コロンビアに於てなせる演説中に、若し當時の加奈太政府の總理大臣マッケンジー氏が自ら提出せる法案を竊かに打破せりとの非難をして眞實ならしめば、太守の干渉によりて彼は總理の職務を止めらるべく、然らざれば彼は自ら此國を去るべしと云へり。斯くて彼は太守なるものゝ如何に適當の仲裁者なるか、またこれによりて加奈太人は實際に於て、北米合衆國の人民よりも一層充分に民政を享受しつゝあることを指示せり。

今之に關する植民地官制の條文二三を列記せんか。

第五十四條 代議院を有する植民地に於ては、法律は凡て國王若しくは其代理たる太守、時としては別に國王の名を用ひず、只だ太守の名を以て公布する。何れの場合に於ても、參事院及議會の協賛を経るを要す。此等の法律は凡て法令と稱す。代議院を有せざる植民地に於ては、此等の法律は凡て布告と稱し、立部法の協賛により、太守に依て公布さるゝものとす。

第四十八條 凡ての植民地に於て、太守は代議院若しくは立法部員の通過したる法律を許否するの權あり。太守の承認を経る迄は法律の効果を有することなし。

第五十條 太守の承認を経たる法律は、特に國民の批准を経べき條項を有するにあらざれば、直ちに効力を有すべく、法文中實行の期日を定めたるものは固より其期日よりす。然れども國王は法律を不認可するの權を有す。若し國王の不認可に逢ふ時は、其旨植民に公布されたる日より、該法律は其効力を失ふものとす。

社會的否道德に關する立法すらも、全く地方の自治に委任されつゝあり。亡妻の

姉妹との結婚が(譯者曰これ英國政教界に於ける一大問題にして、英本國に於ては當時未だ許されざりしなり)國王に依て裁可されしのみならず、近時ヴィクトリア及びニューサウスウェールズに於て、離婚法を改正して離婚の便宜を増さんとす。る法案の通過するに當り、幾多の有力なる地方團體より國王のこれを認可せざらんことを要求したるに關らず、國王は更にこれに干渉するの意なきことを示せり。英國の政治の重なる目的たりし貿易に關することすらも、植民地の爲すが儘に放任せられたりき。

英國植民地の憲法は其性質極めて平民的なる者なり。或植民地に於ては參政權は個人的にして、或所に於ては家族的なり。喜望峯植民地の地位は寧ろ變則なる者なりと云はざるべからず。同地にては大多數の土人は參政權を有せず。而して財産及俸給、給料等より一年五百圓以上の收入ある者に選舉權を與ふることゝし、二十五萬人の丁年男子中八萬六千人丈が選舉權を有するとゝなり居れり。これ却てクインスランドの如く、常に強大の勢力ある一黨派が、下等勞働者の移住に向て激烈に反對しつゝあるが如き寡人政治の傾向の侵入するを防止するの

目的に出でたりと稱すと雖一方より云へば保守的思想の優勢なるがためなること疑ふべからざるなり。何れの植民地に於ても、地方議會及び自治團體を除くの外、婦人の參政權は未だ承認されざるなり。

選舉は凡て投票に依る。國會は三年若くば五年を以て一期とす。或植民地に於ては、代議士は相當の歳費を給せらるゝことあり。これ其職分の富豪の階級に依て獨占せらるゝを防止するの目的に出づ。

法 律

人身に關すること、財産に關すること、を問はず、法律全般のことは擧げて植民地の權内にあり。尤も各植民地の高等法院より、女皇陛下の復審院、即ち樞密院の法律委員會中の特別委員に上告するの途ありと雖、而かも此場合に於ても、決して英國法に依て審判せられんがために上告するにあらず。植民地の法律は蘇格蘭の法律と同様の地位に置かれつゝあり。而して該法律委員の審判なるものは、植民地法律に依て其爭論を裁定するに過ぎざるなり。若し其事件に關して、特に明瞭なる植民地法律のなき場合には、クェベックとモーリタヤムに關しては、佛蘭

西法に據り、ギアナに關しては、和蘭法に據り、海峽植民地に關しては、回教法に據りて審判せらるゝを常とす。

國防に關すること

外國に對して其土地を防禦することに關しては、植民地は其軍隊に於ても、財政に關しても、本國政府に依頼するを常としたりき。然れども今や彼等は、其民兵の外に多少の常備軍を設け、又軍艦を建造し、砲臺を築きて以て自ら其國防を全ふせんと焦心しつゝあり。而して其政府の經費は最早本國の支給を仰ぐことなく、太守及び其幕僚の費用すらも植民地に依て支辨されつゝあり。之と同時に一方に於ては、吾人は我海軍を維持する費用のためにも、將又國債利子償還のためにも、更に植民地より徴收することなきなり。我海軍が植民地の保護に與つて如何に大なる力あるべきかは、固より云ふの必要なく、また我國債に依て植民地の防備を全ふしたるにあらざれば、彼等の多くは今や佛蘭西若くば獨逸の掌裡に歸したること殆ど疑ふべからざるなり。帝國の國防組織に關することは、一八八七年倫敦に開かれたる帝國會議に於ける主なる問題なりき。而してその結果とし

て多少具體的法案の現出せるものあるに似たり。

英帝國が年々國防の爲に費消する金額は、一八九〇年五月當帝國植民協會に於てサー・チナール・ス・ザルケの説明に據れば、總額六千萬磅にして、本國のため三千八百萬磅、印度のため二千萬磅、他の植民地のため二百萬磅の割合なりと云ふ。

準責任政治

凡ての植民地が彼の責任政治を有する植民地の如く、單純なるものなりしならんには、憲法は凡ての植民地を通じて同一のものにて可なりしならんと雖、多くの植民地に於ては、特殊の事情の存在するものあり、即ち或植民地に於ては、吾人の赴かざる以前、既に其土地に住居せる他の人種のあるあり、此等の人種が他の歐洲人なる場合に於ては、其困難は必ずしも大ならず、加奈太に於ては、只だ時々小衝突をなすのみなりき、喜望峰に於ては、衝突は不和となり、和蘭人と英國人と之間に屢、騷擾を引き起すことありしと雖、遂には調和融合するに至るべしとの希望を明かに認むることを得たりき、然れども歐洲人ならざる多數の異人種ありて、而かも其數の白人に比して、絶體的多數を占むるが如き場合に於ては、吾人

の政策は少數白人の手に其植民地を放任せず、さりてまた白人と土人とを包含して之に參政權を與ふることをもなさず、他に何等か適當の方法を發見せざるべからず、植民地以外に一の帝國的權力の存在せんことは、斯の如き場合に於て、最も大なる便利なりとす、西濠洲にある白人の數は四萬人に過ぎざれども、土人の數も亦甚だ少數にして、敢て一箇の勢力たるに至らざるを以て、責任政治を有するも何等の不都合なし、之に反して、ナタルに於ける四萬の歐洲人は其地位、全く之と異なるものあり、何となれば其周圍には、ゾーラス其他の阿弗利加人の總數三十六萬に達するのみならず、他に印度及び支那より輸入されたる三萬の下等勞働者ありて、之を圍繞すればなり、斯の如く其状態を異にするを以て、我當局者は深思熟慮の後、一種調和的の政體を採用すること、せり、植民地の公文書に於て、代表的政體と稱するもの即ちこれなり。

此政體の採用せられしは、當局者が深思熟慮の結果と言はんよりは、或は寧ろ斯くするより他に途なかりしがためなり。

第一、直轄植民地の多くは、征服せられたるにて、隨て其政體も植民地成立の事情に

相應したるものにて、最初の間は多く軍事的の性質を帯びたりき。

第二、植民地の内に政府を形造るに足るべき賢明にして、公共心に富める人物を發見せんこと頗る困難なりしなり。されば本國政府より直接に之を支配せんことは全く止むを得ざる事情にてありき。斯くて爲政者の思慮なるものは、主として種々の異なる植民地の事情を參酌して、其政治に多少の苦心を加へ、且つ其進歩に隨ひて、變遷し行ける上にありき。例へば喜望峯植民地の如き、征服若くば讓與に由て得たるものなれども、責任政治を有しバードスの如きは、普通の植民地なれども、之を有せざるなり。一方に於ては特に自由政策を執り、他の方面に於ては、干渉の方針を執れる、全く其特殊の事情を參酌せる結果に外ならざるなり。

其政體の主意を略言すれば、立法權の大部分は植民地の掌裡に存在すれども、太守に由りて直接に本國の支配を受け、又其以下の官吏は太守の任命する所に係るなり。立法權も固より全然植民地の掌中にありと云ふべからず、太守の否認權を用ふると、他の責任政府を有する植民地に比して一層自由なるものあり。バードス植民地の政體は即ち此處に所謂調和的代表的政體の實例なりとす。太守、判事長、檢事長、辯護士長、植民地各省長官、檢査院長、警視總監等は本國內閣に由

て任命され、其中の四人は殊更に英本國より派遣され、残りの三人は植民地中の故參者より採用するものとする。一箇の立法院即ち上院あり、其議員は太守に依りて指名され、其適當と認むる期間職に止まるを得べく、又一の代議院あり、其議員は嶋中の十一教區より選舉せらるるものとする。植民地が其代議院を通じて選舉し得べき最高の行政官は植民地財務官として、これ金錢に關するとの責任を輕ふせんことを希望する英人に對する賢明なる讓歩なりと云ふべし。行政部は一の行政委員會より成る。其委員は重に官吏にして、一部分は代議院の代表者より成る。而して官吏は本國政府に對して責任を有す。即ち委員は、太守、軍隊の指令長官、各省長官、檢事總長、一人の指名されたる者、一人の上院代表者、四人の代議院代表者にして、何れも太守に依りて選定さるるなり。而して凡て金錢の出入に關すること及び政府の法案は凡て此委員會に依りて提出さるべきものとする。否認權は屢々使用さるることあり、本國政府の手は常に彼等の上において、必要に際しては何時たりとも之に干渉するなり。下院は代議院と稱せらるれども、普通選舉によらず、財産の制限ありて住民の大多數なる下級勞動者をして、之に與らしめざる

なり、若し普通選挙の運動者ありて英國々會並に政黨政派に對して運動を開始したらんには、如何なる待遇を受けたるべきか、固より豫言の限りにあらざれども、其教育的の良効果を與へたるべきは疑ふを要せざるなり、何となれば英國民の眼前に左の如き二箇の實地問題を提供すればなり。

第一、凡ての人は均しく政權を委任するに適當せるものなりや、若し然りとせば、バーベードスに於ける一萬八千の白人は十六萬の土人に對して如何なる關係にあるべきか。

第二、思慮と誠意を以て、社會全般の幸福を増進せんことを希望する人々によりて支配されるゝことに由り、人類は或確實なる利益を得ること能はざるべきか。

此種の代表的政體を有する植民地中に於ても、各多少の異同を有すと雖、その大綱に至ては即ち相同じ、此種の階級に屬するものを、バーベードス、バハマス、リワード嶋、ウインドワード嶋、英領ギアナ、バーミューダ、マルタ及びナタルとなす。

直轄植民地

第三階級は即ち直轄植民地にして、此處には帝國の支配權が充分に行はるゝなり、民政を行はんとするが如き觀念は當局者の頭腦中に存することなく、却て大膽に白人在留者なるものは、其支配者なる大英國の眼中になきことを公言して憚らざるなり、凡ての陸海軍根據地は皆此種類に屬するなり、尤もマルタだけは例外にして、一八八七年に於て憲法を授けられたり、此等の屬地の大眼目は本國の軍略若くは商業の上において、其在留人の幸福と云ふが如きは寧ろ從屬的のことなりと云はざるべからず、此階級に屬するものを、ジブラルタル、アデン、新嘉坡、ラブーン、香港、フォークランド及びセント・ヘレナとなす。

他の植民地に於ては、在留英國人の安寧幸福を圖ると同時に之を乖戾せざるに於ては、その土民の幸福を増進するを以て目的となし、其目的に隨て政治の責に任ずるなり、その最も重要なものを列擧すれば、錫崙、ジャマイカ、トリニダット、ボンジュラス、モリッシアス、シーラレオネ、ゴールドコースト、ラゴス及びフィジー等なりとす、直轄植民地に於ては、政治はすべて太守及び其部下の官吏に依て施行され、只だ住民の意見を聞かんがため住民中より少數の人を選擧して、其評議員に

任命することあり、然れども其任命は太守に依てなされ、否らざれば彼の推薦に依りて、本國政府に依てなざる、而して其意見を採用すると否とは全く太守の權内に在て存す。蓋し行政的手腕を有する者が充分に其技倆を揮はんがためには、直轄植民地の太守の如く適當の地位は他に容易に見出す能はざるなり、何となれば其地位の重要なるは勿論充分に其技倆を發揮するの餘地あり、而して植民地人民の信頼を全ふするを得ば、隨て本國政府の信任を博するを得べければなり、而して有利なる貿易をなさんとする白人等の希望を満足せしめ、其文明の地位を高めんとする土人の希望に副はんことは、其部下に思慮ある清廉なる官吏を有せば、決して難事にあらざるなり。されば本國にある植民當局者もまた適當の太守と有爲の吏員を選任するは、即ち彼等に善政を與ふる所以にして、其最大の義務なることを識認しつゝ、ありげにや常に有爲なる人物の植民地の上にありて、其掌中に政治を左右せることは、彼等自身に報酬多き地位を與ふるよりも、土人及び在留歐洲人に、實際的利益を與へたることの更に大なるべきは否むべからざる事實なりとす。

植民大臣の職

代表的植民地並に直轄植民地に關することを述べて此處に至らば、何人も本國に於ける植民大臣の地位の重要なることを看過すること能はざるべし。植民大臣の職權は極めて多端なり、彼は世界の各方に散在せる二十有餘ヶ國の實際の支配者なり、固より彼は他の閣員に對して責任を有し、また他の閣員と連帶して國會に對して責任を有すと雖、而かも彼が自由の手腕を揮ふべき餘地は極めて廣大なり、現世紀に於て未だ曾て植民大臣がその地位を去るべく餘儀なくされしことあらず、また如何なる内閣も未だ曾て植民問題に關して國會の彈劾を受けしことなきなり、然れども植民省の一箇獨立の府となりたるは實に一八五四年以後のことに係る、暫らくの間植民に關する事務は内務大臣に依て管掌され、次で一八五四年に至りて陸軍大臣所管の下に置かれしが、同年初めて獨立の植民省なるもの設置され、サー・ジョージ・グレー初めてその長官となりぬ、抑植民省組織の一斑を云へば、長官の下に政務次官、事務次官各一名あり、其下に三人の書記官あり、多數の事務員を率ひて各自己れに賦課せられたる各植民地の事務を擔

任す。代表的植民地及び直轄植民地の事務は同様に取扱はれ、其吏員は一の植民地より他の植民地に進轉せらるゝなり。尤も時としては全く異なる方面より高材逸足の人物を太守として選任するの止むを得ざることもなきにあらず。例へばサー・ヘンリー・ノルマン將軍の如きこれなり。彼は一八六五年太守エーヤの下にジャマイカが騷擾を醸したるに當り、代表的組織を廢し直轄植民地を樹立せんがために特に簡派されたるなりき。

保 護 國

近來に至り複雑なる政治組織を輸入せんは尙其時機にあらずと思惟せらるべき幾多の地方にして帝國の配下に來るものあり。此等の地方に要せらるゝは暫くの間、目的を以て假りに之を管理することなりとす。吾人は之を保護國と稱し、長官と他の吏員を派遣して以て管理の任を盡さしめつゝあり。即ち一八八八年我國に分割されたるニューギニアの一部分、北東阿弗利加に於けるソマリ海岸、一八九〇年に於けるザンジバル及びペンバ並にマレー半島に於けるベラク、其他の小國、ボルネオに於けるサラソク及びブルエニ其他太平洋上に散在せる諸

嶋嶼等なりとす。

保護國に於ては土人の國王若くば會長は尙政權を有するものにして、只だ監督官若くば駐在官と稱する英國官吏、其首都に滞在して一切の外交權を握りつゝあり。其内政に對する權能に至りては地方によりて同じからず、寧ろ一定の標準なしと謂て可なり。

保護國の外、更に一種の地方あり。未だ其上に吾人の權力を發揮するに至らずと雖、他の歐洲列強との條約により、吾人が必要と認むる場合には何時たりとも自由の行動を取らんがために、保存されたる地方なり。之を稱して勢力範圍と云ふ。東南西阿弗利加に於ける地方の如きこれなり。

從 屬 的 植 民 地

從屬的植民地とは、他の植民地の管理の下にある植民地なり。其官吏等は他の植民地太守に對して責任を有し、本國政府に對して直接の責任を有せず。アデンの如き其一例にて、ボンペー太守により派遣されたる一駐在官に依て支配されつゝあり。而してペリム嶋、ソコトラ嶋の如きは更にアデン駐在官の配下に依て支

配さる。斯の如くセーチレスはモーリチアスに、ノーフォーク嶋はニューサウスウェールズに、ロチューマはフィジーに從屬しつゝあるなり。

特許會社

特許會社によりて植民地を經營するの政策は、初代の植民政策に於て頗る有効の結果を奏したりしが、今や復び阿弗利加に於て廣く實行せられつゝあり。此等の特許會社は一方に於て種々の特權を有すると同時に、他方に於ては或責任を有することか。東印度會社の例に同じ。會社は歐人士官の下に土人を徵集して土地の警衛に任せしむることを得べく、又貨幣を鑄造し、河川艦隊を維持し、或制限の下に貿易上の現實を作ることを得るなり。斯くて英國東阿會社(一八八八年)首府はモンバサにあり、王國ナイジャ會社(一八八六年)首府はアサバにあり、英國北ボルネオ會社(一八七七年)を始め、なほその他にも同様の會社ありて從來の政策を踏襲し、盛に植民地の開發に従事しつゝあるを見るなり。かの有名なる列國コンゴ會社の外一の獨逸東阿弗利加會社、獨逸ニューギニア會社及びダマララント(南西阿弗利加)に對する一の獨逸會社あり、佛蘭西もまたナイジャー及びスー

ダンに對し、斯の如き會社を創立するの時機にあらざるかを思考しつゝあるに似たり。

此種の會社は今日迄株式を廣く世間一般に募集することなく、少數の大資本家に由て組織せらるゝを常とせしが、何故に一層廣き基礎の上に樹立するを勉めざるか。其理由を解するに苦むなり。宜しく其株金額を小にし、廣く世間に對て募集を公開すべきなり。必ずや一層廣く世人をして利害を感せしめ、又其同情を博することを得べし。アダム・スミスは其富國論の第七章に於て、またジョン・スチュアート・ミルはその代議政體論に於て、此種特許會社の方法に關して論述する所あり。共に參照するの價值あるべし。思ふに斯の如きは、政府に於て直接に其地方を支配することを好まざれども、其地方に於ける英國人の企業を獎勵し、之を整理せんと欲する場合に執るべき方法ならん。阿弗利加の事情に精通せるもの、談に據れば一時の旅行遠征などは何等の結果をも殘すことなく、又世間に對して必要の動力を興ふることなし。又英國民の如く斷えず種々の出來事を注目する世界的國民にありては、其一事件に對する興味は勢ひ變動せざる能はず。是に於て

か傳道會社の宗教的運動に於ける如く、特許會社は俗務に關して、永久に渉る活動力を供給すべく國會の承認を経たる主義の下に支配され、且つ其特許の條件に違背せざるに於ては、歐洲の勢力を普及するに缺くべからざる必要の機關なりとす。されば斯の如き會社が阿弗利加の開発に與つて力あるべきは云ふ迄もなく、若し其株を小にして、一層廣き基礎の上に据ゆるを得ば、其効果大なるものあらんとす。其實際的にして、彈力に富み、自由と責任とを能く調和せること、並に今日迄擧げ得たる其成功に對し、阿弗利加に利害の關係を有する歐洲の列國は等しく注意を拂ひつゝあるなり。

聯 合

現今政體に關して全く相反せる二箇の傾向の行はるゝものあり。一は一致結合の傾向にして、團結に由りて其勢力を増すの必要ある所に行はれ、他は分離の傾向にして、地理的若くは人種的に分離せる社會に於て其特殊の事情に隨て之を統治するの最も大なる便利ある所に行はる。歐洲に於ては英、佛、西諸國の統一に次で、以太利及獨逸の統一あり、集散的の傾向大に活動するに似たり。之に反して、

英國の植民地に於ては分離的傾向の盛に行はるゝあり。其結果として、英帝國は他の大帝國に比して、大に其力を弱められざるを得ず。吾人は我大植民地の有する自由の大なるを見ては、心私かに得意の情あれども、一の結合體としての我帝國は、獨、露等の帝國又は佛米等の共和國に比して、之がために毫も其強を加ふることなきなり。此に於てか近時我有識者の間に、其分離的傾向を阻止し、吾帝國をして一層統一的ならしむる方法なきかとは、一の大なる問題となりつゝあり。今を距る二千年の古にありて希臘に行はれたる統一の方法あり。中世以來再び此方法を復活して成功の頗る顯著なる所あり。其方法とは何ぞや。聯合是なり。即ち各地方の團結して國民的勢力をなすもの、現に亞米利加に於ける我十三植民地の、今や三十八州の大聯合體として吾人の眼前に聳え立つものあり。譯者曰くこれ本書の著述さるゝ時のことにて今は四十七州となり居れり。殊に一八六一年より六五年に至る獨立戰爭の勝利以來大に全世界の注目を引きつゝあり。吾人が英國人又其植民地として、切に我帝國のために考ふ所は、今は過去數十年間進み來れる分離獨立の潮流に反して、堅固なる一致團結を謀るべき時にあらざ

るか云ふことは是なり。聯合なる語に由て世間の理解する所を察すれば之迄進み來れる分離的傾向の如何なる性質なりしかを知るに足るべし。聯合とは條約に由てなされたる一致結合なり、即ち全く獨立したる人々又は團體の結合なり。二團體中の各員の一致に關して用ふるは聊か不穩當なりと云はざるべからず。亞米利加の各洲は主權を有する各團體が聯合の下に活動するものなれば、正しく聯合と云ふを得れども英國と其植民地の聯合と云ふは、實際に於て其植民地の全く獨立せるものなることを承認すると同一の結果となるべし。

聯邦 (Confederation)

吾人は四方に散在せる我帝國の各部を統一せんとするに先だち帝國の範圍内にある各地方の内部を團結せんがために、何等かの方法の講せられたるやを問ふを以て至當なりと信ず。而して吾人は斯の如き團結の形造られたりと云ふことを斷言するに躊躇せず。吾人は之を其一致結合によりて一の主權を形成する他の團體と區別せんがために、聯邦なる語を用ゐんと欲す。而して吾人は既に其眼前に顯著なる一の實例を有し、また現に其目標に向つて進みつゝあるもの

に至りては、數箇を數ふることを得るなり。

第一 加奈太

北亞米利加に於ける吾領地は其人々の増殖するに隨ひ、常に上下加奈太地方の延長せるのみならず、他に本國と直接の關係を有する別種の植民地を形成するに至りしが、一八六七年に至りて凡て此等の植民地を加奈太領國なる名稱の下に協同團體として統一せしめんとする重要な運動は起りぬ。而して舊東海岸植民地ノバスコシア、プリンズエドワード、ニューブランズウィック及び英領コロニアを始め、すべての植民地はニューファンドランドを除くの外悉くこの團結に加盟することとなり、此に英人固有の政體を應用することとなりぬ。即ち各植民地或は各地方に副總督及び或制限を有する立法部あり、而して其全體の上には即ち太守と内閣と國會とあり、此團結に由て成就されたる最も顯著なる實例は加奈太太平洋鐵道の敷設なりとす。勿論各州互に分離せるも、これを建設することを得たりしならんと雖、彼の如く迅速に容易に之を成就し得んことは到底夢想すべからざるなり。加奈太統一の成功に至りては固より疑を挿むの餘地なし。

と雖、又全く不平なしと云ふべからず、試に之を列擧せんか、

第一 西方に於ける一層進歩的の住民によりて壓倒されたる下加奈太地方に住せる佛蘭西人の不平なりとす。

第二 東海岸に住する者の不平にて、彼等は其納金の割合及び自領の必要のために、要するものを打算し、彼等が現に中央政府より受け居るより、多くの金額を受け得る権利あることを主張して止まざるなり。

第二 西印度諸嶋

加奈太に於ける統一事業の成功は、英國政事家の或者をして帝國內の他の部分にも之を應用するの利あるを感せしむるに至りたれども、或地方に於ては確に尙早の譏を免かれざりしなり。一八七一年西印度諸嶋中の小嶋等は合して二箇の團體となれり。一はアンチグア、セント・キッツ、モントセラット、ネヴィス、ドミニカ及び處女嶋等にして、リーワード嶋なる名稱の下に一政府を戴くこととなりしが、一人の太守の下に各自其嶋内に立法部と評議會とを有したりき。一はバーベードス、セント・ヴィンセント、グレナダ、セント・ルシア、トバゴ等の諸嶋にして、ウインド

ワード嶋の名を以て團結したりしが、遂に失敗に歸しぬ、而もその失敗の歴史こそ吾人に向て大なる教訓を與ふるなれ。右の團結中獨りバーベードスのみ其富に於ても勢力に於ても繁榮の度に於ても凡ての點皆遙かに他の諸嶋に卓越したりければ、自然嶋内に團結を非とするの黨派起り、激烈の競争の後遂に非團結派の勝利に歸することとなりければ、其團結はバーベードスを除きて組織され、なほ別箇の政府を有したりき。一八八九年トバゴは合併したれども、ジャマイカとトリニダッドは分離し、バハマスもまた一箇の政府を有し居れり。ウインドワードとリーワードには各地方議會なし、而して前者には中央議會なる者なければ、其中央集權政の未だ甚だ幼稚なるものたる知るべきなり。吾人は西印度諸嶋の全人口が僅々廿五萬に過ぎず、而して其殖産の状態に於ても、人口の點に於ても各大差なく、六箇の異なる政廳の下に支配せらるゝを見る時は、統一の事業は此等の地方に敢て大なる貢獻をなしたりと考ふるに能はざるなり。

第三 南阿弗利加

南阿弗利加に於ては、此企圖は全く尙早たるを免かれず。一八七五年より同七七

年に至る間、カーナーヴァン卿は南阿聯邦を建立せんがために努力せしと雖、徒らに反對と騷擾とを招くに過ぎざりき、而かも南阿に在る英國人の心あるものは、これを以て全く架空の企圖なりと思惟せず、時機いまだ到來せずと雖、現今の植民地、共和國、保護國等の雜然集合する奇怪の状態は、全く一時的の現象にして、永續すべきにあらずと思惟するなり。加奈太に於て統一事業の開始さるゝや、東西兩端の住民等はこれに反對したりしが、今日は全くその結果に満足しつゝあるなり。

第四 濠太利亞

濠洲人の一般に語る所に據れば、彼等の眼中にあるものは、只だ英帝國と其植民地のみ、濠洲人なる觀念は更になかりしなり、されども一八八五年聯合評議會を形造りて以來、或共同の目的のために結合せんとの希望は漸次具體的に其歩を進むることゝなりぬ。聯合評議會は其名の如く、全く一箇の評議會にして、その決議は後に植民地議會の承認を得るにあらざれば効力を有せざりき、この聯合に加はりたるは、グ、ストリア、タキンスランド、タスマニア及び西濠太利亞にして、ニ

！サウス・ウェールズ、南濠太利亞及びニュー・ジールランドはこれに加はらず、評議會は一年二回招集されたりき、而してその結果は決して不満足ならず、賢明の處置なりしことは漸次事實を以て證明せられぬ。一八九〇年二月、各植民地政府の代表者より成れる聯合議會のメルボーンに招集さるゝあり、其決議として英國の主權の下に行政立法共一政府の下に統治せられんことは、濠洲諸植民地の最大の利益なりと云ふことを、女皇に向て建言するに至りぬ。

斯くて事件は迅速に進行しつ。一八九〇年ニュー・サウス・ウェールズもその孤立の地位を脱して聯合に加はることゝなれり。その此處に至りし主なる原因は一八九〇年の選舉によりて自由貿易主義の弱められしこと、國防に關するエドワード將軍の報告及び支那移民に關する困難等なりとす。次で一八九一年三月シドニーに於て大會の開催あり、各植民地に採用せんとする一の憲法を制定し、聯邦の名を濠洲共和國コモンウェルス・オブ・オーストラリアと稱し、現在各植民地にある立法、行政機關の外更に聯邦の立法部と行政部とを組織することゝせり。聯邦議會は

第一 各洲より八人の議員を選出せる上院

第二 其人口に隨て議員を選出せる下院
 に依りて成立し英本國より任命さるべき官吏は太守のみにして彼は同時に陸海軍の總督なりとす内閣は七人の大臣を有し聯邦の行政部に於て聯邦議會に對して責任を有す郵便電信移民及び結婚に關する事は聯邦政府の權内にあり又貿易に關する特に困難の問題は聯邦政府に由て決定さるべきものとせり裁判に就ては公法に關する事の外控訴上告の制なし此憲法が實地に行はるゝ迄には尙多少の改心を要すべしと雖十九世紀の終らん頃までに此聯邦の形成せられんことは殆ど疑を容るべからざるなり(譯者曰く今日この濠洲共和國を見るに至れり)

帝國的聯合

以上説く所の聯合の主義を母國と之に従屬せる地方との間に應用せんことは更に複雑困難なる問題にして常に帝國的聯合なる名稱の下に研究せられつゝあり而して一八八四年主としてウキリヤムエドワードフォスター氏の努力により帝國的聯合期成同盟會の組織せらるゝに及び此處に一箇の政治運動となり

ぬフォスター氏は曾て政務次官たりしことあり常に植民地問題に甚深の注意を拂ひつゝありしなり該同盟の根本主義は地方問題に關しては更に地方議會の權限に立入ることなく帝國內共通の利益及びその國防に關して帝國の全部を結合せしめんと欲するにあり其會員中には本國及び植民地に於ける有力の人士を網羅し然も能く本國に於ける黨派政治との關係を全く絶ち得たるは頗る讚稱に價することゝ言はざるべからず。

(一) 帝國の主權と植民地

現行の我英國憲法に依れば皇帝と國會とは帝國內一切の事件に對する統治權の主體にして他の議會は其代表者若くば從屬者なりとすされば植民地が大英國の連合に加盟すると云ふは一方に於ては之が爲に大に其責任を増加すると同時に他方に於ては非常の特權なりと云はざるべからず。換言すればこれ植民地が帝國の統治權に參與するの問題にして只だ植民地の私利にのみ注目する者に取りは其問題の如何に重大の價值を有するかは理解し得ざるべきにあらず。英帝國全體の上に於て其効力を増すを得ん而かも植民地に取りて其責任の重

きを加ふことを忘るべからざるなり。論じて茲に至らば吾人は幾多の植民地の間に一の線を劃し、或者をば此問題より全く除外して、吾人が議論の應用をば一定の範圍に限定するの必要を感ずべし。何となれば自ら治むること能はざる植民地をして帝國の統治權に參與せしむること能はざるは論を俟たざる所なればなり。先づ第一に大なる屬邦印度及び主轄植民地は此例より取除かれざるべからず、彼等は英本國に依て支配されるものなれば、彼等が此師傅の下にある間は他の支配權に參與すること能はざるなり。又かの代議的植民地レプレゼンタティブの如きも、其重なる官吏は其行爲に關して植民地に對して責任を有せず、却て本國の内閣に對して責任を有し、且つ其立法部も他の監督の下にあるものなれば、完全なる自治政を有するものと云ふことを得ず。隨て此連合の中に加はる能はざるは因より其所なりとす。されば此問題は全く責任政治を有する植民地にのみ限らるゝなり、即ち加奈太、ニューファウンドランド、喜望峰植民地及び濠洲に於ける諸植民地等總體に於て十箇に過ぎず。これ等の植民地は既に殆ど完全なる自治を有するものにして、若しその太守を廢し、外交

に關することを自ら處理するを得ば、微然たる一箇の獨立國なりと云ふもまた妨げず、斯くて初めて本國と同等の位置に立ちて連合の盟に加はることを得るなり。

果して然らば此等十箇の植民地は帝國的連盟にて、英帝國の統治體たるべきか、彼等は吾人と共に印度を統治せんが爲に努力すべきか、彼等は西印度諸島、香港及び其他の植民地を支配せんが爲に、吾人と其負擔を分つべきか、蓋し此等の事業は帝國の最大要務にして、英國人たるもの、夙夜其念頭より去る能はざる問題なりとす。帝國連合期成同盟會の會長ロズベリー卿は公言して曰く、英帝國最大の要務は此等諸島のことに係る、植民地たるものは須らく本國と共に此等の要務に參與するの至大の特權なるを信じ、之に對して報ゆる所あるの覺悟を要すと、何故に彼等は斯の如くなし能はざるか、人或は云はん、彼等は各自己の開發に全力を奪はれ、未だ他を顧みるに暇あらずと、夫れ或は然らん、然りと雖英國人の立場よりこれを云へば、かれ等が印度并に直轄植民地の統治に關して、此等植民地の協力を要求するには充分の理由あるを忘るべからざるなり。

今一の問題は他列國との交渉に關して英國は其植民地の協力を要求すべきかと云ふこと是なり。現今にては帝國全體に關する外國交渉の案件は悉く本國政府の手によりてのみ處理せらるれども、之に植民地の參與を許すべきや否や、此問題は今後直ちに起らざるにせよ、事件の發生する毎に必ず喚起せられざるを得ず。例へば米國に對する案件の如きに於て特に然りとせず、而して吾人は平生に於て、此等の事件に關して植民地の意見を聽くにあらざれば、宣戰布告の後に至りて、其協力を得んとするも時機既に後れたりと云はざるべからず。縱し植民地に於て助力を與へんことを希望すとも、吾人は之を受くべきにあらず。況んや吾より之を要求するをや。

更に一步を進めて考ふべきは、一旦緩急あるに當り、かれ等は吾人と共にその進退を共にせんことを欲するや否や、これなり。かれ等が連合帝國の一部分を形造るに當りて、かれ等は全く帝國の政策に獎順することを得るや否や、現今にありては植民地は敢て本國の協議に參與することなけれども、而かも一旦事あるに當りては、之と進退を共にせざるべからざることとなり居れり。英露の間一度平

和の關係を斷たんか、メルボーンの港は封鎖さるゝことあるべく、又セント・ローレンス河(加奈太)に砲艦の遊戈することなきにあらず。連合の組織は斯かる状態を依然として繼續せしめ、而かも彼等をして和戰の決に與らしむることとなるなり。

猶また植民地は外國交渉の案件に就て、互に利害の關係を有すべきか。例へばノーマン若くはブリトン等佛國沿岸の漁夫等がニュー・ファウンドランドの漁區を侵犯することありとせよ。この場合に於てニュー・ジブラント人は自ら進んでその爭論に参加すべきか。吾人英國人は固より之を以て自己の休戚に關することとし、決して之を對岸の火災視することなかるべし。而かもクインスランド人は吾人と進退を共にすべきか。抑亦斯の如き天涯萬里を隔つる土地に起れる事件に對して、無關係の地位にあるを以て可しとすべきか。之と同様に、佛蘭西がニュー・カレドニアに改悛の見込なき罪囚を移し、濠洲の平和を攪亂せんとするがために遂に戰爭を事とせざるを得ざる場合に於て、モントリオル及びトロントの民は之に参加すべきや否や。これ實に各植民地の住民に取りて大なる實際問題なり。

とす。然れども彼等にして一度其眼孔を濶大にせんか、其解答は必ずしも難事ならず。何故に彼等は互に他植民地の休戚を以て、自己の休戚となし、一旦緩急あるに際し互に相救援するを以て不可なりとするか。これ全體の上より觀察すれば其利益にあらずや。濠洲が若し英本國の外、加奈太及び南阿の諸國に依て後援さるゝことを知らば、佛蘭西は容易に濠洲に手を下すこと能はざるべし。斯の如く自餘の植民何れも皆他の植民地の後援を有するに於ては一旦事あるに臨みて、其利益する所如何に大なるべきぞ。只だ飽迄了解せざるべからざるとは、此連盟に加はらんことは即ち世界の到る所に於て得べき外國交渉の事件に關して、帝國の權利を保護するの責任を負擔することなりとす。されば各植民地にして今尙獨立的、否利己的の見地に拘泥し、他の休戚を見ること風馬牛相關せざるが如きものあらんには、連合の時機未だ到達せずと謂はざるべからず。

現在と過去に於ける統治に關する費用

英國が其帝國的國防のために費用する額は莫大なるものあり。其海軍に關する支出は其歳入の百分の一、即ち一磅に付て二片半、一磅は約十圓、一片は約四錢に

當り、陸軍に關する支出は同三片半にして、過去の戰爭のために起されたる國債の未だ償還せられざるもの五片あり、即ち之を合計すれば吾人は帝國の國防のために、一磅の收入に對し十片半の負擔をなしつゝあるなり。植民地は帝國の國防に向て何物を負擔せんとするか。人或は植民地も亦其公債を有するを以て推諉せんかなれども、一二の例外を除きては、彼等の所謂國債なるものはその國防に何等の關係を有せず、其會て受取りたる物品の代價に過ぎざるなり。加奈太が今日其自治政を全ふせる、濠洲の何れの部分も獨逸若くは佛蘭西のために奪掠されざる、皆我保護のためなりと云はざるべからず。或は云はん、吾人がその國債を起すに當り、此等の植民地の多くは存在せざりしにあらずやと。而かも其土地は存在したりしなり。されば若し此等の土地にして他の國民に依て占領されたりしならば、グイクトリア、グインスランド及びその他の植民地は遂に生れずして止みしならん。會て英國の軍隊は其本國の費用を以て、此等の植民地に駐屯したることあり。現に南阿弗利加に於ては其役務を遂行しつゝあり、又ニュー・ジールランドに於てはマオリ種族に對して警衛の任に當りつゝあり、而かも其一度び責任

政治の設立せらるゝや、本國より斯の如き費用を支出するは正當にあらずとせられ、此に於てか植民地は始めて自ら其國防に着手することゝなれるなり。外敵の攻撃を受くるに當りては、若し本國の事情にしてこれを許さば依然其援助を受くること勿論なるべし。海軍に關しても漸次自治の方針に向て進みつゝあり、其海岸及び港灣の防備に至ては、植民地自ら之が完成を勉めつゝあり、大洋に關するに事に至ては、植民地は未だ何事をもなすに至らずと雖、之より受くる利益の大なるは植民地も吾人本國人と異なることなし。若し彼等が一度連合に加盟するの曉に於ては、之も亦協同の責任たるべきなり。

今や吾人は最後の問題に到達せり。其凡ての特權と責任とを以て、統治權に參與することは植民地人民に取りて正當の目的なりや否やと云ふこと是なり。タツフン卿の云へるが如く、植民地にして皇帝の尊嚴を識認し、其文武兩道に關する役務を以て全帝國の一部分たる責任あることを識認する以上は、彼等は正當に大英國の過去の光榮と、其偉大なる將來に參與するの權利ありと云ふべきなり。彼等は今後將に來らんとする變化は、少くともアングロサクソン種類の世界に

於ては固定よりも變化を以て常態となす。彼等自ら帝國より分離し、大英國と愛蘭のみをして雷に其本國のみならず、印度と其他三十の植民地を支配せしめんとするにあるか、抑もまた帝國內の全國民をして歐洲文明の水平點に達せしめんとする事業に参加するを以て、其特權なりと思惟するに至るべきか、思ふに透徹の識見を有するものは其判斷に迷ふことなかるべし。

(二) 其 機 關

諸本國并に植民地も共に此方針に同意したりとして、次に來るべき問題は、之を成就する方法なるが之に關して今日迄提出されたる重なるものは左の二ヶ條なりとす。

第一 植民地代表者を列席せしめ得る様英本國の議會を改正すること。

第二 連合帝國のために新立法部を創設すること。

第一 英國議會に植民地代表者を容るゝこと

此意見に對する最大の困難は、斯くすれば英本國人が其植民地の内政に干與する能はざるに關はらず、植民地代表者はわが本國の内政に關係し得るに至るこ

と是なり、植民地の代表者即ち植民地黨とも稱すべきもの、數は百五十名以上に達すべく、これ六百五十名を定員とせる現時の下院に取りては一大勢力たり。これがために本國政治界の状態に非常の變動を生じ、國會政治の運行を不都合ならしむることあらん、或は本國の内政に關する事と帝國全體に關する事務とを區分し、帝國的議會は只だ後者にのみ參與するの法を設けることを得べしと雖、斯くては二種の議會を設けることゝなり、吾現制度の儘にては出來得べからず、隨て別箇の法案たるべきなり。

第二 議會を分離するの案

英本國のためと、帝國全體のためと、二箇の立法院を創設せんことは政治上の大變更にして稱して新憲法の創開と云ふも不可なし、現今の議會をば全帝國議會となし、英本國のために別に一箇の議會を創設するも、或は又現在の議會は其儘となし、他に全帝國議會を創設するも可なるべく、何れにしても、一箇の新議會を創設することゝなる、之に關して吾人は加奈太及び合衆國に於て其實例を見ざるにあらずと雖、斯くの如き新國に於ては新制度を採用せんこと固より容易

の業にして、吾人の參考に資すべきもの少ければ、吾人はかの舊邦にして新法を採用せる諸國の實例に就て學ぶ所あるを可とす、獨逸帝國の立法院は各聯邦より選舉されたる五十八人の議員より成れる聯邦上院と、全帝國より普通選舉に依て投票されたる三百九十七人の議員を有する聯邦下院より成立し、其他に帝國內の各王國公國には別箇の立法部あり、埃匈國も亦聯邦的憲法を有す、而して其箇々の部分に就ては或は成功と稱し難きものあるにせよ、其全體より云へば成功と云ふを妨げず、一八六七年の憲法に依て二箇の議會の組織せらるゝあり、一は匈牙利のため、他は帝國全體のためにして聯邦議會と稱す、而して更に第三の國會ありて以上二團體の代表者を以て組織せられ、ヴェナとプラベストに於て隔年に開會せらる、行政部は三箇あり、その中の二箇は其各部分のため、一箇は聯合帝國のためなりとす、聯合帝國の行政部は一人の長官と外務、軍事、大藏の三大臣を以て組織せられつゝあり、商業に關することは匈牙利の議會と帝國議會と各自自由に之を定むるの規定なれども、匈牙利は自ら帝國の他の部分が採用せる關稅同盟に加擔しつゝあり、其缺點は匈牙利のみが充分の權利を有して、聯邦

中の他の國民の權利が之に及ばざるにあり、爾來クロイト及スラブ人等は其内閣を有することゝなりしが、一八七一年ポヘミア人にも之を許さんとの動議ありしも、獨逸民族の反對のために阻止せられつ、何れにしても吾人は埃匈聯合帝國の組織に於て、第一帝國全體に關することゝ定められたる問題あり、第二其機關は今日迄の所にては充分圓滑に運行しつゝあるの二事實を發見するを得るなり。

我英帝國のために斯くの如き帝國的立法部を設けんとは架空の希望なりと云ふべきか。否な吾人は其實現せんことの必ずしも不可能にあらざるを信するなり。今日に至る迄英蘭蘇格蘭愛蘭及び威斯に對する自治運動の斷ゆるとなし、若し此運動にして成功せんか、其獨立の立法部を有するに至るべきは必然の結果にして、同時に植民地をして同等の位置に立たしむることを得るに至るべし、英國人が此問題に對して反對する實際の要點は極めて簡單なり、曰く吾人は世界の大國民なり、わが議會は吾國民的生活の標章にして、又歴史的の政治機關たるのみならず、三千五百萬人の休戚列國民間に於ける吾人の體面印度及び其他の

植民地に對する義務の遂行等悉く我議會の肩上にあり、されば議會は國民の智能を集中せざるべからざるのみならず、また其全力を傾注せざるべからず、然るに國會の現組織を變じて、痛切に本國の事件に利害を感ぜざる植民地議員を之に参加せしめて能く從來と同一の効果を發揮することを得べきか、若し些少にても此點に關して危険ありとすれば吾人は之を犯すを好まず、從來の如く各植民地をして全く其地方の事にのみ任せしめ、吾人をして獨力帝國全體の運命を負担せんことを欲す。

されば此問題は二箇の要點を分明に區別して考察せざるべからず、第一は植民地をして帝國の統治權に参加せしむることを目的とするものにして、第二は英本國にのみ關する地方的事務を議會より除外せんとするの運動なりとす、若し第二の運動にして奏功するを得ば、聯合論者は期せずして其目的を達するを得べし、これ憲法内の改正にして必ずしも難事にあらざるなり、其他の方法に至ては之を獨逸の新憲法に比すれば、決して突飛の舉動なりと云ふべからざれども、現今の状態にては多數政治家の賛成を得んこと或は困難なるものあるべし。

(三) 一時的改革

(甲) 特種の事件に關する協同

以上論じ來れる聯合策の不成功に歸したる場合若くは其實行に至る迄の間に
行ふべき一時的方便として聯合論者の提出せんと欲する所のものは現在の儘
の憲法にて或特種の問題に關して協同の運動をなさんことは是なり斯の如き協
定の題目たるべき事件は頗る多く其或者は現に焦眉の急に逼りつゝあり今其
主なる箇條を列擧すれば、

國防に關すること。

交通に關すること。一切の交通事業殊に郵便、電信、定期刊行物の郵送賃等を實
價以下に於て取扱ふこと。

移民問題。植民地は何時迄本國よりの移民を歓迎すべきかを協定するの必要
あり。

商業上社會上に關すること。例へば英人種の住する帝國內の全部に同一の破
産法を施行するを得ば其便利如何に大ならずや。

商業政策に關すること。これは困難の問題なり或人は之を凡ての問題中の最重
要のものとするべく或人は之を全く協議の條項中より取除かんことを欲する
なるべし只だ此一問題の爲めに他の比較的異論なき諸問題に累を及ぼせし
ことは之迄屢々實驗する所なりき。

(乙) 植民地總代を置くの制度

帝國の各部をして一層密接に結合せしめんがための一時的な方法として植民地
の意見を本國の當路者に明かならしめんとする諸種の方案の提出さるゝあり
と雖中に就て最も實際に行はれ易きは、今現に實行され漸次發達しつゝある方
法なるべし。その方法とは各植民地に關する事務を處理せんがため倫敦に其代
表者を置き植民省の公式に之を認識すること。是なり。縱し此等の代表者は植民
省の諮問を受けざる迄も其代表する植民地の事務に關して植民當局者と意見
を交換し得ることは、今や實際に於て不文の法律となりつゝあり。オタワ、メルボ
ルンその他の植民地政府の電訓により、此等植民地總代の會議を開くことあり
とせよ。固より植民大臣は議會に對して責任を有するに過ぎざれども彼等の意

見を聴取せんことを希望するは必然のことなるべし。

政治的結合の價值

吾人は將に帝國的聯合に關する論議を終らんとするに臨み、更に根本的問題に觸接するの要あり、根本的問題とは他なし、曰く、吾人と加奈太及び濠洲にある吾人の同胞とは自然の紐帶に由て連結されつゝあり、更に政治的に結合せんとするは抑も何等の必要に因るか、吾人と彼等の間に存する自然の紐帶は其數頗る多く而かも強固なり、同一の言語、同一の文學、同一の科學、同一の社會組織、同一の性格を有するのみならず、宗教教育に關する多くの共通の會合あり、稀に獨逸其他の外國分子を包含せざるにあらざれども、大體より論ずれば、皆同一の種族より來り、同一の祖先を戴き、同一の英雄を仰視するにあらずや、以上列擧する所の外、尙無數の事情ありて吾人の間を連繫し、吾人をして同胞相頼るの念を深からしめつゝあり、此上更に政治上の結合を計らんとするは殆ど無益の勞にあらずやと思はしむるものあり。

アダム・スミス(第四卷第七章)は其得意の明決の筆を揮ひ、動かすべからざる事實

を捉へ來つて、政府は植民地の企畫計營に關して何の貢獻する所なく、只だ私人の計營の緒に就くや否や其商業を獨占せんと欲し、然らざれば他に何等かの利益を獲得せんとせしに過ぎずと論せり、葡萄牙及び西班牙に就てはこれ全然眞理なり、英國に就ては多少の斟酌を要すれども、敢て大差なしと云ふことを得べし、植民地が其母國に對して負ふ所ありとせば、そは政治の上にあらずして歐洲が人を養成せし點にあり、即ちかの企業心に富める植民地の創開者等が本國にありて受けし教育と、彼等が有せし進歩的意見とにあり、之と同時に英國もまた植民地より具體的の利益を受けざりしなり、我植民地は希臘羅馬の夫等の如く兵士若くば金錢を送りて本國を援助する等のことなかりしなり、彼の貿易の獨占より生ずる利益に就てはアダム・スミスの疑問とせし所なるが、何れにしても既に消失して跡を留めず、彼は曾て議會に亞米利加の代表者を容るゝこと不可能にあらざるを論じ、且つこれを希望したりしが、其後彼が實際の判斷を言ひ表はせりと見做すべき語句に於て、彼は好意的分離に就て曰へり、斯くの如く良友に別るゝことに由り、近時の不和(一七七六年)により、殆ど喪失したる母國と植

民地間の自然の愛情を恢復することを得べきなり之に依て今後永く其分離の際に訂結せし商業條約を尊敬せしむるのみならず、戦争に於ても貿易に於ても常に吾人の同情者となり、不平の斷間なかりし被治者を變じて、最も忠實有力にして寛大なる同盟となすの望なきにあらず、古代希臘植民地と其母市との間に存せしが如き親子の愛情を英國と其植民地との間に復活せしめんこと必ずしも期待し得ざるにあらず。

一七七五年エドモンド・パリーは亞米利加植民地との調停に關してなせる演説中、我議會は亞米利加人が其議會の決議を経て自ら進んでなす場合には、租稅寄附金其他名義の如何に關せず、之を受くることを得べしと雖、吾よりこれを賦課徴收するの不可なるを云へり、彼は吾國會に其權威あることを否まざりき、然れども彼は斯くすることの得策なるや否やを疑へり、而して其有名なる演説を續けて曰く、余が植民地に對する意見は其血族を同ふし、其特權を同ふし、その名稱を同ふし、同一の保護に與るより生ずる相互間の愛情を尊ぶにあり、此等の關係は空氣の如く輕けれど鐵鎖の如く強固なり……汝の帳簿や株券や證書や其他

斯の如き人爲の動作に依て商業上の安全を保證せらるると云ふが如き情なき薄弱なる考を有する勿れ、公文や指令や命令書の如き者に由て、吾人と植民地間に於ける複雑なる關係が維持せらるゝを夢想すること勿れ、斯の如きものは吾人の政治に大なる關係なし、彼等は死せる文書なり、消極的の機關なり、凡て此等に生命を與へ、活動せしむるものは英國憲法の精神なりとす、英國に於て其國庫に歳入を得せしむるものは地租なりと想像するか、汝に陸軍を提供するものは其豫算の投票なりと想像するか、否々決して然らず、これ皆國民の愛國心より出づるなり、其政府に對する衷心の憧憬より來たるなり、此精神ありて茲に吾陸海軍は形作られ、此精神ありて其士卒の間に服従の美德は行はるゝなり、陸海軍ありと雖、此精神なくば土偶の集團と何の異なる所ぞと。

一八八七年一月十二日ジョン・ブライト氏はこの問題に就て左の如く公言せり、余は聯合期成同盟會の集會に出席する能はず、また其目的企畫に對して同情を有せずと云はざるべからざるを遺憾とす、植民地が其母國と圓滿なる友誼的關係を有するの必要なることは論を俟ざる所なれども、政治上に於て今日よりも一

層密接に結合せしめんとすることは、彼等をして永久に結合せしむること能はずして、反て衝突分裂の機を早めんことを恐るゝなり。英國は其内政に關して到底加奈太濠洲若くば喜望峯植民地の支配を受くべきにあらず、また少しにても其干渉を容すべきにあらず。之と同じく植民地も亦其内部の法律及び關稅の制度に就て英國の容喙を甘諾すべくもあらず。一朝英國の盲目的外交政策の結果として歐洲の一國乃至數國と戰端を開くことありとせよ、植民地は固より之を雲烟過眼に附せざるべしと雖、この戰爭に参加せば彼等は恐るべき慘害を蒙むることの明瞭なる場合に於ては如何にせんとするか。此場合若し其聯合の紐帶を極度迄緊張せんと欲せば、必ず破裂せん。其母國と連盟するにより歐洲列國との關係を生じ、引いて幾多の重荷と苦痛に堪えんよりは寧ろ分離して自由の行動をなさんこそ植民地の希望する所ならん。抑もまた加奈太と米國間に於ける漁業問題の如きものを聯合政府は如何に處理せんと欲するか。加奈太にして獨立ならんには其強隣に讓歩して、速かに其爭論を止むべし。若し又加奈太なるものなしとせんか、英國は華盛頓政府の要求の正當なるを認めれば直ちに之を受

け納れて、其事件の終局を圖るべし。然れども濠洲南阿加奈太のみならず印度の代表者迄をも含有せる聯合政府は如何に此事件を處理せんとするか。聯合政府の組織に熱中するものは全く歴史と地理の觀念を缺如するにあらざるかと思はるゝなり。余は世の有識者が重ねて斯かる問題に心思を勞するとなからんことを希望せざるを得ず。余は信ず、吾人が植民地に對する態度にして友誼的に且つ正當なるものにてあり、且つわが外交政策の十九世紀中に屢次ありし如く旨目的なるにあらざれば、吾人と植民地との關係は益々友誼的なるを得べしと。若し將來豫側すべからざる變化の起るありて、何人も之を防ぐ能はず、遂に分離の止むを得ざる事情に際會せんか、吾人をして平和と相互の承認とを以て自然の運行為成就せしめよ、而して英國の名譽體面を失墜せしむることなく、却て吾人が創始せし國々の偉大と繁榮と智恵とによりて更に大に其光榮を發揚せしめよ云々。

以上ジョンブライトの書翰に云へることは要するにパークの意見と大差なし。即ち政治上の結合は平和と眞の一致のために根本的必要條件にあらず。他に之に

勝る重要な連鎖あり。政治的結合のために心思を勞するは寧ろ愚の至りなり。斯の如きは眞の和合と交情の存する場合には不必要なるべく、利害と感情の衝突ある場合には何の價値もなきことなりと云ふにあり。

吾人がブライト氏の意見に就て一言の批評を試みんとするは、彼は現在の儘の帝國に就て言をなし、其將來の變化に就て更に注意することなき是なり。彼は聯合の目的の達せられたる曉に於て如何なる結果の來たるべきかを認識せず、彼の議論は永久に英國は其植民地等に由て容喙せらるべからず、また植民地は英國の干渉を受くべからずと云ふことを必要の條件なりと想像す。固より斯く斷定し了れば夫れ丈けのことにて、他に議論はなきことなり。ブライト氏はニュー、サウス、ウェールズがスーダンの事件に容喙するを非難す。そは雷にかれが平和の主義に反對するのみならず、其自己に直接の利害關係なきこと、干渉するを以てなり。利害と云ふことに關する彼の見解の狹隘なること、これ難がて政治上に於ける彼が特種の意見を形造る所以なることを記憶せざるべからず。然れどもその政治上の結合に多くの信頼を置く能はずと云ふに至て、彼の書翰はアダムス

ス及びバークの一反響たるに過ぎざるべし。

然れども一方に於ては貿易は國旗に隨伴すとの確信は廣く世上に行はれつゝ、あり而してこれ決して架空の想像にあらず。また獨斷の言にあらず。實際に於て國旗が貿易を引着するの磁力を有することは事實の證明する所、吾人は第八章に於て其眞實なること、又何故に眞實なるかに就て詳論する所あらんと欲す。

ジャマイカ、グアトリア及び喜望峯植民地の太守たりしサー・ヘンリー・パークレーは植民地が一大帝國の一部として存在するの利益を列擧して左の如く云へり。

歐洲列國の間に遠隔の地に屬領を得んと欲する野心の盛になれる場合に於てその侵畧的野心より保護されんこと、文官及び陸海軍の地位の植民地の青年に開放されんこと、植民地大學の學位の認定されんこと、英國に於けると同じく植民地に於ける試験によりて帝國陸海軍に入らんこと、これ皆植民地の青年に取りては非常の幸福なりと云はざるべからず。其力量次第にて如何なる地位にも達し得べしとの希望は一國の青年に取りて大なる福音なり。英國の諸學校及び大學に在る青年と同じく、其光榮ある歴史を有する英國の陸海軍に入るとを得

また數世紀間の遺傳と世界的の範圍を有する英國文官の列に加はることを得べしとの希望は、加奈太若くは濠洲の青年に取りて絶大の奨勵なりと謂ふべきなり。

現時の情態が不安動搖の地位にあることは何人も否定すべからざる所なり。植民地人口の漸く増殖するに隨て、愛國心の益、其地方に限定さるゝの傾向あることは植民地人の自ら認識する所、拾年を経る毎に植民地に生れたるもの、數と勢力とは増大しつゝあり、彼等に取りては英國は見物に行くべき場所にして最早其故國にはあらざるなり、從來の政治的關係は今や既に放棄せられ、今後は各自の任意になれる新結合に入るべき時機にあらざるか。

帝室と聯合帝國

英國の憲法を學びて形式上の權力と政治上に於ける實際勢力との區別を明かにせざれば、充分に其運用を理解すること能はざるべし。パジヨットの著英國憲法は能くその二者の區分の必要なるを明かにし、また帝室が威嚴の府、名譽の泉源として、如何に有力に政治の運行を補助しつゝあるかを示せり、而して近年に至

りて帝室の此職分は國民的政策を離れて、帝國的の範圍に應用せらるゝの傾向を有しつゝあり、女皇の誕生日及び新年に發表さるゝ授爵叙勳中、印度及び植民地の功勞に對する者の數頗る多し、曾て太守たりし者及び植民地首相等は自由に樞密院に召し出され、またセント・マイケル及びセント・ジョージの勳章は今や廣く植民地に功勞ありし英國の大官と、植民地中の卓越せる人物に與へらる。之迄何等の撰叙に與らざりし人々にしてナイト・バチュラーに叙せらるゝもの少からず、印度に關する功勞者に與へんがために、一八六一年には印度星章、一八七八年には印度帝國なる勳章の創設さるゝあり、又同年英國及び印度の内親王及び高官の妻女等に與ふるの目的を以て印度王冠章の設けらるゝあり、人或は今の世は人爵虚榮の尊ばれざる時代なりと云ふと雖、以上の諸勳章は何れも實際大功ありし人士に由て佩用さるゝが故に、常に一箇の裝飾物として輕視されざるのみならず、偉大の功勞を標章する名譽の記號として到る所に於て大なる尊敬を拂はれつゝあるなり、斯くの如くにして、帝室が本國と植民地とを連結するに與つて大なる力あることは、苟も常識あるものゝ否むべからざる明白の事實なり。

とす。高尚の立脚點に立ちて公平なる觀察を下せば、吾人は中世紀俠武の時代に當り、世の有爲の人士が勳爵士の榮譽を得んことを以て主なる希望の一となせしことを嘲笑し得べきにあらず。果して然らばエリサベス女皇の一顧を辱ふするを以て、無上の光榮と感せしラレー、ギルベルト、ドレーク等に依て其基礎を据へたる帝國の官吏公人等が、ヴィクトリア女皇に依て其功勳を認識されんことを以て無上の名譽と感ずるもまた何の怪むことかあらん。

政體上より類別せる植民地

責任政體

代表的政體

直轄政民地

加奈太

バハマス

錫崙

ニュー・ファウンドランド

バーベードス

モーリシアス

ニュー・サウス・ウェールズ

英領ギアナ

海峽植民地

ヴィクトリア

リーワード諸島

香港

南濠西太利亞

ウインドワード諸島

ラブアン

サスマニア

パルミューダ

フィジー

クイーンズランド

ナタール

ジャマイカ

ニュー・ジブラント

マルタ

トリニダッド

西濠西太利亞

シーラレオネ

喜望峯植民地

ガムビア

ゴールドコースト

ラゴース

フォルクランド諸島

ホンジュラス

ジブラルター

セント・ヘレナ

アッセンション

從屬植民地

アデン、ペリム、ソコトラ。

ロドリギウス島、セーチレス及びアシランテ諸島、カゴース及びオイル島以上

モーリシアスの附屬

ラブラドル(ニューファウンドランド)

タークス諸島(ジャマイカ)

トバゴ(トリニダッド)

サウス・ジョージア(フォークランド)

バストランド、英領ベチユナランド、ヅルランド(喜望峰植民地)

特許會社

北ボルネオ特許會社

英國東阿弗利加特許會社

英國南阿弗利加特許會社

保護國

ナイジャ、ニューギニア、馬萊半島のイシヨール其他サラワク、極遠ベチユナランド、ツランスバール、ソマリ海岸

特別監督地

埃及、サイプラス、ザンジバー

勢力範圍

阿弗利加の諸部分

左に各植民地太守の俸給額を掲げ以て其植民地の重要な度を知るに便す尤も責任政治の植民地に於ては植民地政府の都合によりて定めらるゝものとす

貳萬四千磅 印度 壹萬磅 ベンガル(副太守)

壹萬貳千磅 マドラス 壹萬貳千磅 ボンベイ

壹萬磅 加奈太 壹萬磅 ヴィクトリア

七千五百磅 ニュージールランド 七千磅 ニューサウス・ウェールズ

六千磅 喜望峰植民地 五千磅 クインスランド

六千磅 ジャマイカ 五千磅 マルタ

四千磅 ナタル 四千磅 トリニダット

參千磅 パーベードス 壹千八百磅 ホンジュラス

參千五百磅 ゴールドコースト 壹千磅 フォルクランド諸島

第八章 商業と商業政策

今や吾人は富の生産と分配とを處理すと稱せらるゝ商業に關することを論せんとするに當り、先づ第一に逢着する問題は、自ら植民事務に精通すと思考せる人々の間に存する根本的疑問、即ち植民地は吾人に取りて如何なる用をなすやと云ふこと、是なり、換言すれば物質上植民地はその本國に對して如何なる利益を與ふるやと云ふことにして、本國に於て屢繰り返へさるゝ問題なりとす、之と同時に植民地に於ては、母國は自分等に取りて如何なる必要ありやと自問するもの極めて少からず、勿論彼等と雖、帝國と云へる觀念、其勢力、其人種を世界に増殖せしめんこと、文明の普及、宗教道德の傳播等のことが或る種の人々に取りて重大の動機たり得べきことを否定せず、然れども彼等は謂へらく、斯くの如きは畢竟するに理想に屬することなりとされば、彼等はその通にして、永久なる利害を基礎として互に提携せんとするに先だち、實地的物質的の利害に關して、本國と植民地とは今日迄如何なる關係にてあり、また今後如何なる政策方針を取

りて進むべきかを知らんと欲するなり、斯の如き意見は從來屢、露骨幼稚なる利己的形體を取りて表はれ、爲めに具眼者の顰蹙する所たりしと雖、而かも近世に於ける歐洲植民の目的が主として本國の富を増し、植民地に於ける物質上の進歩を希圖するにありしことは、この疑問を挿むを要せざるなり、他にももとより重要な目的ありしに相違なしと雖、要するに第二の問題にして、またその目的も聊か漠然たるを免かれざるものあり、されば他の問題たとへば宗教問題の如きは私立の會社若くは有力なる個人に依て、その經營を進められしに反し、この問題は多少國家的の性質を帯び、隨て吾人の植民地に對する態度は大にかれ等の上に影響を及ぼし、またその政策は世界列國民の注意を引かざるを得ざりしなり。

遮莫アダム・スミスは其第四卷第七章に於て、植民に關し先人の未だ企及せざりし歴史的实际的研究をなして曰へり、亞米利加及び西印度諸嶋に於ける歐洲植民地の成立は、古代の希臘羅馬の夫れの如く、明白なる利害の打算に依て支配せられざりきと、更に進で彼は希臘羅馬の移民は其軍略に關して植民地に取

て必要の條件なりしも、歐洲の植民に於ては最初より斯の如き必要なかりしのみならず、實利の點に就ても、後に至りてこそ植民地より非常の利益を收むるに至りしも、最初の間は之に對して何等明白の觀念を有せず、啻に植民地成立の唯一の動機たらざりしのみならず、彼等の時代に於て僅かに或人士の間に朦朧として認めらるゝに過ぎざりしを示せり。夫より彼は葡萄牙人はウエニスウエニスの富を致せると同様の貿易を發見せんとせるにて、更に植民の意なかりしこと、亞米利加が西班牙の手に落ちしは云はゞ全く偶然に出で、其これに大なる注意を拂ふに至りしは、全く金銀鑛を發見せしためなること、斯くて葡萄牙人は貿易に従事し、西班牙人は人智の窺知する能はざる機會によりて、墨其西哥及び秘露秘露の金鑛を所有するに至り、英、佛、蘭諸國民は共に金鑛と東洋の財寶を求めんとして汲々たりしが、亞米利加に於ては更に其求むる所のものを發見せず、全く彼等が豫想せざりし他のものを發見するに至りしを述べたり。

最初の動機の如何なるものなりしは暫く措き、兎に角其結果は歐洲の勢力を擴張し、歐洲工業の新中心を作り、五大植民國のため其新富源を發見すること、な

りしなり

急速なる經濟的發展の原因

わが植民地が短日月の間に急速の進歩をなして、繁榮にして組織整然たる社會を現出するに至りしは、世の經濟學者をして駭魄せしむるに足る著名の事實なりと云はざるべからず。不毛の原野は多くの住民を以て満たされ、河川の流域や海岸には幾多の盛大なる都會と豊饒なる農圃開かれ、而して其起原や進歩の狀態等は孰れも歴然として吾人の眼前に新たなり。固より斯くの如き現象は決して歴史上に比較なきとにあらす。歴史は反覆す。進歩したる人種に對して新たな機會の提供されたる場合に、其人口と富の増殖の著大なるものあるとは歴史の上その類例に乏しからず。古の世シラキューヌ、アグリジエンタム、ダレンタム、以弗所等は成立後久しからずして、其母國と競争するの地位に達し、カルセージの人々と富とは懸がてマイルを凌駕するに至りぬ。夫れにしても我植民地——暫く吾人の眼界を此に限ることなし——の進歩の速力は非常絶大なるものなりと云はざるべからず。メルボルンは僅かに四十年の歴史を有するに過ぎざれども

既に六世紀の繁榮を後にせるブリュッセルよりも大に、ロントは百年前まで僅かに一小村落に過ぎざりしが、今はノーウキッチ若くばノッチンガムのごとき古き繁榮の都會よりも繁榮に赴きつゝあり。ハルの市街は現に壯大なる建築物と船渠を以て覆はれたるローヤル山のある嶋上に、米國土人が草廬を立列ね居たりし時に、既に世に知られたる都會なりしが、モントリオルの富は今や既に之を凌駕しつゝあり。若し夫れ費府はランカシャーの誇りなるリバプール、マンチェスターに勝り、市俄古が蘇格蘭の奇蹟と云はるゝグラスゴーをして後へに瞠若たらしめ、紐育が既に遠くウエニス、アムステルダム、伯林、維納を凌駕し、今や正さに巴里と比肩し、譯者曰、今や紐育の人口は巴里より多きと百萬に達せり。一九二〇年に至らば、倫敦を迫り超ゆるに至るべしとの事實を一見するに至ては、吾人は寧ろ呆然たらざるを得ざるものあれども、世の經濟學者は實業的活動の原因勢力の何れにあるかを示すに於て餘師あるべきなり。アダム・スミスは之を概括して良土の充分あること、法律秩序の整頓せること、並に農藝と技術の進歩せることなりと云へり。吾人は之を敷衍して左の條項を列舉せんと欲す。

良土の充分なる事。加奈太の森林と廣大なる麥圃、濠洲及び喜望峯植民地の牧場、グイクトリアの金鑛、西印度諸島の砂糖栽培地等は實に此等の地方に出で行ける英蘇愛等の人民に取りて非常の良土たりしなり。

土地使用の自由にして生産に與らざる者に生産物を分配するの必要な事、富の増殖に影響を與ふるものは只だ其多寡のみならず、又其分配に與かる人の如何にこれ由るなり。植民地に於ては經濟學上に於て不生産的階級と稱せらるゝ者に其生産物を費消せらるゝ事は極めて僅かなり。初代の植民地に於ては實際其生産の全部悉く耕作者の手中に入りたれば、彼は其必要を満たしたる上尙多額の剩餘を有し、以て其附近にある未墾の土地を開拓せんが爲めの資本に供することを得たりしなり。斯くて彼は其使用人に非常の高給を支拂ふことを得たるを以て、被傭者も容易に其給料の大部分を貯蓄することを得、應がて被傭者の階級を脱して、企業家の列に加はり、新來者を雇傭するを得たりしなり。右の結果として内に於ては生産の率は非常の高度に上り、外にしては續々として移民の流入れるあり、以て人口の増加の速度をして非常の點に達せしめぬ。

專賣品の生産第一は絶體的專賣品にして、例へばグイージニアの煙草の如く、歐洲にては之を生産すること能はざりしなり。第二は關係的專賣にして、濠洲の羊毛の如く、歐洲に於ても之を生産する能はざるにあらずと雖、所要の額を生産する能はざりしなり。一八八四年に於ける加奈太の輸出高は七千六百萬弗なりしが、その中二千百萬弗は材木、四千萬弗は農産物、八百萬弗は海産物なりき。グイクトリアの輸出は千六百萬磅なりしが、その中羊毛の價六百萬磅、金塊四百萬磅なりき。故國より借入れられたる資本、此原因は今日に至るも尙ほ働きつゝあり。亞米利加植民地創始の時代に際しては、資本は植民會社によりて貸與されしのみならず、移民は自ら所有するか否らざれば人より借りて必ず多少の金錢を持ち來れり。亞米利加に於ても濠洲に於ても英國が資本を供給するの能力を有せしことは其開發に資する最大の原因なりき。されど銀行及び株式會社の大に發展するや、資本の流入は頗る容易なるものとなりぬ。殊に英國より然りとせず。たとへばニュージールランドに於ては一八四〇年若くば五〇年代の移住者は、大抵一割五分乃至二割の利息を拂ふを常としたりしが、今は時勢全く一變して、銀行のツラス

ト若くばシンヂケートにより五分若くば六分にて借り得べく、市町村の如き自治團體に於ては四分にて充分なりとす。殊に注意すべきは植民地に於て其將來の發展を當てにして金を借り得ることなり。今は植民地の信用漸く堅きを加ふるに隨ひ、三十年と云ふが如き期限に於て之を借り入るゝことを得るなり。即ち彼等は現在に於て之を返済するの實力を有せざれども、將來の發展を見込みて茲に貸借の行はるゝを見るなり。マーシャル教授の如きはこれを以て彼等が繁榮の主要の原因として曰く、新開國に於ける非常の進歩は主として舊世界が供する市場に由れり、即ち現場に於て取引さるゝ物品のためならず、將來に於て物品を引渡すべしとの約束に對して供せらるゝ市場にあり。要するに彼等は其新財産を高利を以て舊世界に抵當に供するなり。斯くて莫大の資本は新國に流入するなり(經濟原論七百十三頁)と。

壯年労働者の移住。既に一人前になれる壯丁の他國より移住する場合に於ては移出の國家は之が教養の費用を損失するに反し、移入國に於ては一錢の教養費なくして、働き盛りの壯丁を得ることなれば其利益頗る大なり。英蘭愛蘭等は斯

くして多くの金錢と壯丁とを失ひつゝある一方に其植民地は非常の恩恵に浴しつゝあるなり。戸籍長官の調査に據れば、英國に於て二十一歳迄人間を教養するの費用は百七十五磅を要すと、果して然らば濠洲は過去三十年間に於て本國より一億七千五百萬磅の保護金を受けしと同一の割合に當たるなり。

智識と技術の移植。歐洲に於て長久の歲月の間に、徐々に研究發達し來れる智識と技術の蘊蓄を移し來つて、これを新土の發展に資す。植民地の進歩の迅速なること固より怪むを要せざるなり。

本國に於て發明製造せる器械器具の應用。凡そ新器械の發明さるゝ迄には幾多の歲月と腦力と金錢の費消さるゝを要す。然れども植民地は曾て斯くの如き勞苦と費用とを要するとなし、只だその代價さへ支拂へばパーミンガム若くばシラフィールドに於て製造さるゝ如何なる器械器具をもこれを購入して、その開發に資することを得るなり。

植民者のため製造も貿易も本國人に依て爲せり。彼等の衣服は本國に於て仕立てられて其家に運搬され、また彼等の生産品を本國に輸出せんがために、船舶は

其港灣に待ちつゝあるなり斯くて斯かる方面の事は悉く本國人の手に委ねつ
つ彼等は専心其土地に於て特に有利なる事業に従事することを得るなり。
以上列擧したる實業上の利益の外、アダム・スミスが好んで慣用したる「法律と秩
序と政治の恩恵に與ること最も大なるを忘るべからざるなり。アダム・スミスの
曰へるが如く服従の習慣、政治思想即ち秩序ある政府に關する觀念にして彼等
は其植民地に之を應用せり」之を支持すべき法律の組織並に其施行に關する
など何れも彼等をして非常の發達を遂げしむるに必要な條件なりとす。彼等は
ヘスチングス、バンノックバーン、ネスビー及び蕃薇戦争等の戦争を経験するとな
くして、本國人が辛うじて得たると同等の權利をその植民地に得たり。領主や、其
臣屬や、勳爵士の制度や、自由民の法や、儼然として各地方を睨視したる城廓や、其
他凡て封建の制度は舊世界に於て既に其職責を盡し了り、今は早や夢の如くに
去りて其跡を留めず。植民地の人民は再び斯くの如きことを繰り返へすの要な
きなり。更に又外國關係の事を云はんか、彼等にはクレシーの戦争なく、破るべき
敵の常勝艦隊もなく、またブレンハイムやフォンテノイの事件に關係してその精

欠

MISSING

を遂ぐるの機會を失はしめたること等是なり。植民地貿易が自由に放任せられたらんに其英國を利すること幾何なりやを知るべからざれども不幸にして人爲的の獨占法に由りて少からざる損害を蒙むりたりき。之に對してニコルソン教授は曰く、重商主義の徒は如上の議論に由りて多く動かさるゝことなかりしならん、何となれば彼等が究竟の目的は貿易（エクスポート）の均衡を得るにありて、此目的を達せんがためには他列國に對して關係的に優勝なる地位に居らんことは最も重大のことなればなりと。

當時の特許貿易會社の歴史は經濟學上大に興味ある問題なりとす。殊に會社商店の合併連合してシンジケートを作り、或種の物品例へば銅若くば鹽の如き消費物の全生産を左右せんとする計畫の盛なる今日に於て大なる教訓を學ぶを得べし。古の特許會社と今のシンジケートの異なる所は前者は政府より或種の特權を附與さるゝに對し、後者は只だ隨意的の合同たるに止まるにあり。されば特許會社が密輸出入者のために遂にその存立を危うせられたるが如く、今日のシンジケートもまた獨立の企

業者を悉く壓服し了らんことは殆ど不可能のこと、思はざるべからず。

アダム・スミスは植民及び貿易に關する特許會社は瑞典、丁抹の如き貧國にして或種の特權と競争者に對する保護なければ株主を得るに困難なる國に取りては必要なれども、資本豊富にして商業の全く自由に放任されたる國に取りては無用の長物なりとせり。而して彼は瑞典、那威の如き國が斯くの如き事業に關係するは不得策にして東印度の物産は和蘭より購求するを以て得策とすと云へり。和蘭の東印度會社は之を國家の事業とすれば大に其方法を誤れる者なりと云はざるべからず。或物品の供給の饒多にして其利益ある代價を維持するに困難なりと思はるゝ場合には容赦なく之を投棄したり。所謂生産制限にして今日迄も普く世に知らるゝの事實なり。また東印度商會に於ては米及び阿片の生産をば最も多くの利益を得らるゝ様に制限せり。斯の如く眼中只だ株主の利益ありて他を知らざるが如き所爲は國家の事業若くば其特權を保有する會社

の事業としては最も不適當なりと言はざるべからず。

米國の植民地は始め特許會社に由りて着手せられしが間もなく會社は解散したり。英國に於ては植民及び貿易の爲め長く特許會社に依頼するの要なかりしなり。只相當の歴史を有するは一の東印度會社のみなれども、之すら漸次其特權を剝奪され、一七九三年の特許狀書替時期には獨占の結果に就て嚴重なる調査を受け、其次の書替へ時期即ち一八一三年に至りて印度の貿易は一般に公開されたり。支那及び東方貿易は然らず。而して其翌年に於ては既に特許會社貿易額の四百二十萬磅に對し、他の私立會社の貿易額は四百十三萬五千磅を算するに至り、其翌年には増加の割合一層大なりき。而して其次の書替へ時期には全く會社の特權を中止し、印度のみならず、支那其他一般東方貿易を公開したりき。

加奈太の北西地方に於ける廣漠無人の原野に行はるゝ毛皮の貿易に就ては特許會社の組織に由るの外他に方法なきを以て、ホドソン灣會社は長く其特權を保有することを得たりき。其土地に關しては後に至りて會

社の手より政府に引渡されて一八五八年英領コロンビアとなり、一八六八年に至りては土地に關する一切の支配權を喪失するに至りしかども貿易に關する特權に至りては其後も久しく之を保持したり。

自由貿易

經濟學上に一新紀元を劃すべき一大著述のアダム・スミスに由りて出版せられたる後七十年、一八四六年に英國は始めて自由貿易の主義を採用するに至りしが、その此處に至る迄には諸種の方面に於て幾多の運動の試みられたるは論を俟たず、わが英國の植民地及び新領地に於てその商業政策を變更せんとするの運動の如きまた此一般運動の一部と云ふべきか。此主義一度確立してより以來干渉保護獎勵等一切政府の制肘を脱して自由に行動し、最廉の市場に買ひ最高の市場に賣るの自由を以て一切企業の自然的基礎となすことゝなれり。

然れども其變化は一時に來らざりき。幾多の階段を経て徐々として其結果に達しぬ。先づ第一にアダム・スミスの門弟なるピットに由りて運動は始められ、殊にかれば税關の統一に對て盡す所ありき。雖がて商人派、アダム・スミスが度し難しと

して殆ど眼中に置かざりし商人派はその眞の利害を覺り始めたり。一八二〇年倫敦の商人等が提出したる有名なる請願書中には既に明白に自由貿易主義の認むべきものありき。彼等は歳入のための外一切の保護干渉に反對したりしなり。次でエデン・バラの商業會議所よりも同一の精神にて請願書を提出せり。經濟學者と實業家とは既に同一針路に向て提携して進めり。今は只だ表面に立てる政治家の同一歩調を取らんとのみを俟たれける。而して此新潮流に乗じて進歩の前頭に立ち顯はれたる政治家は即ちハスキソン其人なり。彼は先づ航海條例の規定を寛大にして、自由の範圍を擴張し、外國産の木綿、毛織、麻布、絹布、皮革類、鐵器等に對する保護税を輕減したるが、不幸にして一八三〇年リパブル、マンチ、スター間に鐵道の開始さるゝの日、彼は大志を齎らして不歸の客となりぬ。その後一八四二年に至りてサー・ロバート・ピール起ちて彼が運動を繼續したりしが漸くにしてコブデン、プライトの穀物條例反對運動となり、非穀物條例同盟となり、遂に一八四六年に至りてこれが廢止の目的を達し、一八五〇年有名なる舊航海條例の廢止に至りて此運動は其頂天に沖しぬ。斯くて二百年の長年月間に涉り

て英國の貿易と其帝國的基礎を形造るに與りて力ありし航海條例は今や全く其識責を盡し了りて歴史の墓中に葬り去らるゝことゝはなりぬ。

本國に於て全く保護政策を抛ち去りて自由貿易主義を採用する時に當り、其植民地の却て保護干渉の政策に復歸するものあるは奇怪なる現象なりと云はざるべからず。英國に於ては同時代に於て二箇の著るしき改革あり。一は自由貿易主義の採用にして、他は其植民地の或者に對して責任政治を許與したること。是なり。而して其結果は如何なりしか。植民地が其得たる政治上の自由を行使して自ら其貿易に壻壁を設け、其産業に人物的の制限を加へんとは何人か之を想像するものあらんや。彼等の得たる自由は人爲的の干渉政策に復歸せんがために使用せられたるなり。母國の政府は列記的、非列地的の制限を撤去して、其植民地に對して絶對の自由を與ふるに當り、其植民地は彼等が自己の利益なりと考ふる所に隨ひ、其輸出入品に對して煩瑣なる保護干渉を加へんとせり。植民地の或者に責任政治を許與せんとするに當り、商業政策に關することは本國の手裡にその權力を保存するを勝れりとするものありしに相違なしと雖、而かも加奈太

及び濠洲に新憲法を許與せる時は恰も自由貿易主義の新に勝利を博したる時機にして、何人も嚇灼たる其勝利に炫惑し、自由貿易主義の英國に勝利を得しを以て既に全世界に勝利を得しが如く思ひ倣し、極少數の特殊の事情の下にある者を除くの外は何人も程なく世界の各國民皆相率ひて自由貿易主義の傘下に來るべしとのことを疑ふものなかりき。當時の形勢既に斯の如くなるを以て一八四六年より一八八〇年に至るの時期に於て自由貿易主義者に向て、植民地に許與されし自治政の中より商業政策に關する部分を取除くべしと注意するは恰かも凱旋式の馬車を降らんとする羅馬の執政官に向て、其將來に危機を藏するにあらざるかを問ふと一般常識あるものゝ敢て爲す能はざる所たりしなり。而してまた商業政策に關する點丈けを本國の手中に掌握せんとするは寧ろ植民地の識見を無視する侮辱的行爲なりと思はれしなり。されば何人も斯の如き問題を提出するものなく、地方的の政務として全然植民地の自由に委任せられたりき。然れども吾人の期待は一箇の空想に過ぎずして、歐洲大陸に於ては一も吾人の足跡を追ふものなく、また北米合衆國と我植民地とは最も斷然たる態

度を以て産業に對する保護干渉の政策を執ることゝはなりぬ。只だ一箇を除くの外責任政治を有する凡ての植民地は寛嚴の程度こそ異なれ何れも輸入物品に課税せざるはなし。ヴィクトリアと加奈太とは早速にすべての輸入物に對し保護税を課することを明白に宣言し、英國の物品に對しても何等の容赦するところあることなし。ニュー・ジラランド、サウス・オーストラリア、クィーンズランド及び喜望峰植民地等に於ては平均五分の課税を以て満足するの色なし。尤もニュー・ジラランドは歳入を得んことを目的とす。而してクィーンズランドは遂に七分五厘となせり。唯だ一のニュー・サウス・ウェルスのみは自由貿易主義を取て動かざりき。一八八〇年以來自由貿易主義に動搖を生じ、ニュー・ジラランドもクィーンズランドもその主義を變じ、喜望峰植民地は躊躇し始めたり。ニュー・サウス・ウェルスのみは依然として動かざるに似たれども、而かも僅かに少數の相違に由りて自由貿易主義の勝利を制せるにてその基礎必ずしも確固不拔とは云ふべからざるなり。

(註) 一八八九年の總選舉に於て保護貿易主義者の六十に對し自由貿易主義

者に七十一の議席を有するに過ぎざりき。而してシドニーに於ては四十一人の議員中自由貿易主義者は僅かに五人に過ぎざりき。斯の如き結果は一方に於ける濠洲聯邦間自由貿易主義の運動と共に一八九一年三月の聯邦會議に於て濠洲の商業同盟を形成せしむるに與つて力ありき。ニュー・ジラランドの有名著者キスボン氏は一八八八年の出版に係るニュー・ジラランドの植民地なる一書に於て、植民地はその歳入のため輸入品に輕税を課したるが、内地の産業を保護するに與つて力あるを發見せる旨を記せり。加奈太及びヴィクトリアには廣漠無限の沃野ありて人の使用するに任せれば、敢てピアノの製造に於て其多年の經驗と組織的の製造法を有する英國と競争するの必要なかるべしと思はるれど、事實に於て加奈太は英國及び外國のピアノに對し五磅の輸入税を課し、ヴィクトリアは從價二割五分、喜望峰植民地は一割五分を課税し、以て内地のピアノ製造家を保護せんとせり。クィーンズランドとニュー・ジラランドは歳入の目的のために五分を課し、全く無税なるはニュー・サウス・ウェルスのみなり。一八八六年の植民地及び印度人大博覽會を一見したる者は此等の

植民地が茫々として際涯なき沃野を有しながら、其工業に對して意外の野心を包藏するを看取したるならん、其廣大なる場屋は彼等の手に成れる木綿、毛織物、莫大小器械、玉突臺等にて充塞しつゝありき。

(註) 植民地に於ける輸入税の一例

英	國	植	民	史
加奈太	喜望峰	グイクトリア	クインスランド	ニューサウスウエールズ
農業器具	三割五分	二割	一割	五分
靴類	二割五分	一足に付二志乃至三十二錢	五分	無税
毛氈	二割五分	二割	一割五分	五分
小ピアノ	一箇三十弗	二割五分	一割五分	五分
大ピアノ	一箇五十弗	二割五分	一割五分	五分
グイクトリア	植民地は自ら其製造工業を盛ならしめんと希望を有す、而して其平民政治の結果として小工業家、職工等自ら其政策を左右するの權能を有しつゝあり、されば懸時計、置時計、懷中時計等が二割の輸入税を課せらるゝに止まらず、農業器具の如き必需品さへも二割の税を課せられ、馬車、荷馬車等は一臺に付			

二百圓藥品は二割五分、絹製品は二割、服裝品二割五分、石炭二割等なり、其全く自由放任せらるゝものは凡ての美術品のみなり、之とて勿論、之商業上の目的のためにて其以外に高尚なる觀念などあることなきは云ふ迄もなし。

代表政治の植民地及び直轄植民地に於ては自ら商政上の方針を決定するの權能なく、一切本國政府の掌裡に存すること故、保護政策の此等の植民地に實行せられざるは云ふまでもなし。海關税は勿論此等の植民地に於て其歳入の重なるものなれども、全く歳入を得るの目的に限られ決して保護的の意味を混することなし。或時議會に於てランカシャーに對して印度の綿製品を保護するの必要なきや否やの問題の起りたることあり、ランカシャーが自由貿易主義を主張せるは當然のことながら、併し中には印度の利益を保護するは吾人の義務なりとの意見もありき。然れども自由貿易主義の如き根本的問題をばその植民地の自由に放任するが得策なりや否やを決するは頗る困難なる事ありと云はざるべからず。一方より云へば植民地が吾人と帝國的の關係を有するは其活動の範圍を制限するものなることを注意せざるべからず。かの責任政治の植民地に取りて

も同様なりとす。彼等は此迄外國に對し、或は他の植民地との間に商業上の條約を訂結するに能はざりしなり。然れども斯かる制限も今は漸く撤去せられ、加奈太の如きは既に本國の外務省を通じ、植民者の手を離れて我大使と共に外國に對して條約を訂結するを得るなり。濠洲の政府も又同様の權能を得んことを希望しつゝあり。然れども元來條約なるものは二箇の當事者間に於ける利益の交換を意味するものなれば、斯かる條約が早晩英國の利害に關係を及ぼすなくして訂結されんとは全く不可能と云ふべからざるも頗る困難なりと云はざるべからず。西印度諸島は自由に北米合衆國と條約を訂結するを以て頗る便利なること、思惟すれども英國の之を許さざるを以て頗る不滿の色あり。嘗に北米合衆國とのみならず、加奈太とすら獨立の條約を訂結することを許さざるなり。帝國の政府は其支配の及ぶ何れの部分にても、或國々に對して條約を訂結し、他の諸國を除外し、また英國自身利益ある市場より除外せられて徒らに競争國をして利益を壟斷せしむるが如き條約の訂結さるゝを座視すること能はざるなり。

商業同盟

前來叙述せるが如き帝國內の現状は甚だ好ましからざる事體にして心あるものは何れも其改良進歩の方法に就て思慮を費やしつゝあり。蓋し最も重大なる問題に關して帝國內の各部、各自家の利害のみを打算して、更に全體の利害を顧念することなしと云ふが如きは、脈絡貫通せる完全の一帝國としてはあり得べからざることに屬す。さりとして威力を以て他を強制せんとするが如きは過去のことにして、今日は最早斯の如き手段を用ふる能はず。若し何等か改良進歩の方法ありとするも各自の發意賛同に依らざるべからず。思ふに各部の賛同により帝國の全部を打つて商業的一團となさんことは必ずしも架空の希望にあらず。例へば、埃匈帝國の如き商業同盟に關することは地方議會に委任せらるゝと雖、匈牙利國が自ら進んで自餘の同盟に加入せるが故に、實際の運行は頗る圓滑にして、其結合は我帝國よりも堅固なりとす。否な埃匈國は商業上より云へば全く一單位となれるなり。商業的團結は或は全部的たるを得べく、或は部分的たるを得べし。全部の場合には英國と其植民地間及び植民地相互の間に存在せる

一切の關稅を撤去し、只だ外國品に對してのみ全帝國を通じて同様の關稅を課するなり。然れども有識者の多くは、こは餘りに理論的空想的にして、實際に於て不便多しとなす。其最も實際に於て便利なる方法は英國と其植民地とは其商業の點に於て互に庇護し外國に對するよりも多くの便宜を與へんことなり。例へば亞米利加の小麥に對しては多少の輸入税を課すれども、印度及び加奈太の小麥は無税にて英國に輸入するを得べく、佛蘭西の葡萄酒は濠洲産の葡萄酒よりも多くの輸入税を支拂ふべく、獨逸の砂糖は課税せらるれども、西印度諸島よりの砂糖は無税とするが如く、其他一切の物品に對し斯の如き手加減を加ふることなり。關稅の上に斯の如き差別を設くることを得ば吾人の結合をして一層堅固ならしめんこと固より云ふを俟たざるなり。固より吾人の結合は人種的の觀念、又は政治上の關係によりて或程度まで之を強固にすることを得べし。雖若し相互間に存在する一切の關稅賦課徵收等を全廢し純然たる一箇の産業會社を形成するを得ば其一致結合の精神を堅うすること幾何ぞ。敢て識者の説明に俟つを要せざるなり。かの帝國主義の徒の主張を吟味すれば結局は遂に此點

に達せざるを得ず、彼等は好んで愛國心、懷郷心、故國など云へる感情的の言語を口にすれども、更に一步進めて具體的方法を研究するに至れば、彼等は何れも英國の物品は其植民地に於て、植民地の物品は英國に於て、外國の物品に比して便宜の地位に置かれんことを以て、帝國の基礎を磐石の上に置く所以なることを承認せずんばあらざるなり。

全帝國を商業的に結合せんとするに當りては、先づ左の諸問題を思慮の中に置かざるべからず。其利益を云へば、

第一、植民地の側より云へば、現在に於ける憲法上の關係は形式的なれども之を實在的にし、其國民議會に於ける英國の勢力を一層強固にし、隨て全帝國の結合をして益、堅固にして實際的ならしむること。

第二、英國と植民地間の商業的結合は引いて一般の自由貿易を實現するに至るべし。一方より云へば斯の如き結合は英國の外國品に對する課税を一層多からしむるが故に反對の傾向を有するに似たれども、植民地が英國に對する關稅は一切除去せられ然らざるも大に輕減さるゝが故に自由貿易の範圍は大に擴張

せらるべきなり。加之現今に於ては英國は唯だ一のニューサウスウエールズを伴侶として自由貿易のため孤軍奮闘しつゝあれども他の諸國は容易に保護貿易の旗幟を撤去すべしとも思はれず。只だ空しく歲月の流過して偶然自由貿易時代の實現せんことを空頼みとするのみなれども一旦英國にして他の諸國が保護貿易主義を撤去せざるが爲めに止むを得ず其植民地に對して特殊の待遇をなすべきを宣言し而して其結果良好ならんには全世界に對して大なる實物教育たるべく且つ又我聯合帝國は世界の市場に對して重大なる顧客なるを以て其彼等に及ぼすの影響は頗る大なるべく自から彼等をして其主義を固持するの不得策なることを結了せしむるに至るべきなり。

次に之がために生ずる困難なる事情を列舉せんか、
第一斯の如き團結を形成せんことは他國に對して一の城府を設くるものにして自然に其敵愾心を挑發するの結果に陥らざるべからず斯くて我國際關係は一八六〇年以來の形勢を全く一變し戦争と其準備の爲に莫大の費用を投せざるべからざるの地位に陥り我産業の上に蒙むるべき損害は今日各國に對

して吾人が支拂ふ海關稅の全部よりも大なるに至らん。こは固より一般に關する想像なるが更に注意せざるべからざる種々の特別の事情ありて存す米國は加奈太が米國の物品よりも英國品に對して特惠を與ふると座視すべしと想像し得るか而して一旦米國にして之を以て其國家の利害に關する由々敷大事なりとして決心の臍を固むるに當りて其結果の如何なるべきかは智者を俟つて而して後始めて知るべきにあらざるなり吾人はまた西印度諸島及びギアナ島の門戸を米國及び南米の諸共和國に對して閉鎖するを得べきか今日彼等の貿易總額の三分の二は此等の諸國に對する貿易なりとす。一旦其間の貿易を妨害するが如き事情の起らんか彼等は一齊に立ちて亞米利加人の亞米利加を大聲疾呼せざらんや。

第二、今や多くの英國人は單純なる自由貿易主義を以て先天的眞理にして遂には必ず全世界に勝利を得べき運命を有するが如く信するに至れり英國に於て該主義の勝利を博せんがためになされたる戦争の非常に劇甚なりしがため其の商人労働者に與へたる印象もまた非常のものなりき彼等は之を以て奴隸廢

止論の勝利の如く、道徳上社會上の一大勝利にして其再び舊制度に復歸するが如きことあるべしとは夢想だにする能はざりしなり。而して彼等の多くは世界は徐々に此主義を奉ずるに至るべしと信じ、或者は經濟上の理由よりするも英國は此主義を棄つべきにあらざると信するが故に、此等の人々に取りては關稅問題の如きは甚だ謂はれなき所爲なりと思はるゝなり。

第三、一方に於て植民地の多くの人々は植民地の現状を以て保護政策の必要な進歩の階段にあるものなりと信じつゝあり、彼等は其信仰を科學的の基礎の上に置き、經濟學の大家殊に英國の經濟學者等の所論に因りて自ら自説の正當なるを證據立てんとせり。アダム・スミスとジョン・スチュアート・ミルとは共に自由貿易の主張者として知らるれども、而かもなほ時としては保護を必要とするの事情なきにあらざるを許るせり。而して植民地の人々はかれ等の現状が恰かもこの事情の下にあるを證明せんとせり。最近經濟學の泰斗なるマーシャル、シヂューイングの二教授は共に經濟學の正流派に屬するものなれども、またかれ等の論據に支柱を與へつゝあり。殊に植民地中の有識者と云はるゝものは勞働賃金の低

廉なる英國及び他の歐洲諸國と競争するを好まず、況んや全英帝國內に自由貿易を實行する曉には印度にある生活程度の低き數百萬の米食人種と競争せざるべからざるの地位に立つべきをや。

第四、植民地に於て海關稅は其歳入中の主要のものたることを忘るべからず。人口稀薄の植民地に於ては輸入品に課稅する程便利なる徵稅法はあらず。植民地歳入の重なるものは土地の賣却代、鐵道收入及び海關稅なり。此等の中より一切の政費と土木事業并に公債の利子を支拂はざるべからず。而して土地の賣却代は其性質上自然に資本として支辨せられ、鐵道收入は其費したる金錢に對する商業的利益なり。されば普通の政費に供すべきものは只だ一の海關稅あるのみ。而して英國より輸入する物品は總輸入の大部分を占むるが故に、他に適當の財源を發見する迄は容易に之を全廢し若くは輕減すること能はざるなり。

商業聯合

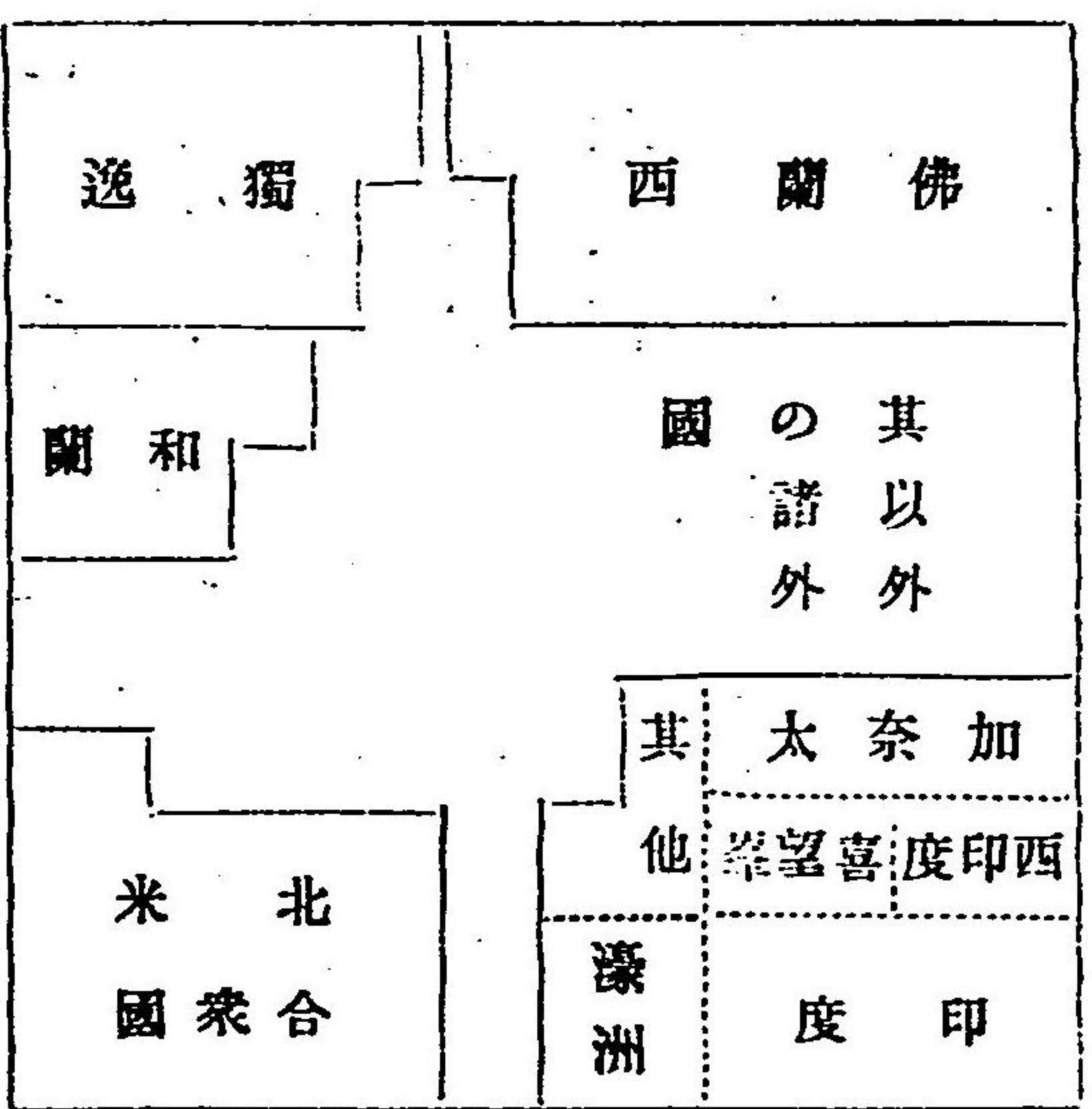
商業上の目的を以て植民地の二個以上の者が互に結合せんことは中間的の一方法なり。加奈太は既に此目的のために結合し濠洲に於ても今や其運動を開始

し、南アフリカに於ては既に或程度迄歩取りつゝあり。一八九〇年オランダ自由國は喜望峰植民地と關稅同盟を結びしが、トランスバールとスワヂランドに關してなせる談判中の一條件はトランスバールの此同盟に加入せんことにてありき。トランスバールは固より然すべく、其外にベチューナランドはその管理官に由りて同様に處分さるべく、ナタルもまた其跡を逐はんこと必せり。この場合に於てはその結果は頗る重大なるものあり、即ち政治上の結合を試みて失敗したるに關らず、自然の要求上容易に商業上に於て結合を形成することゝなれるなり。

貿易と國旗

貿易は國旗に隨ふとは政治上の結合を重視する論者の好んで口にする警語なるが、思ふにこれ固より自然の結果にして争ふべからざる事實なりとす。

英國貿易の國別額。一八六六年より同八四年迄の平均額フハトラー氏の「自由貿易」より拔載。



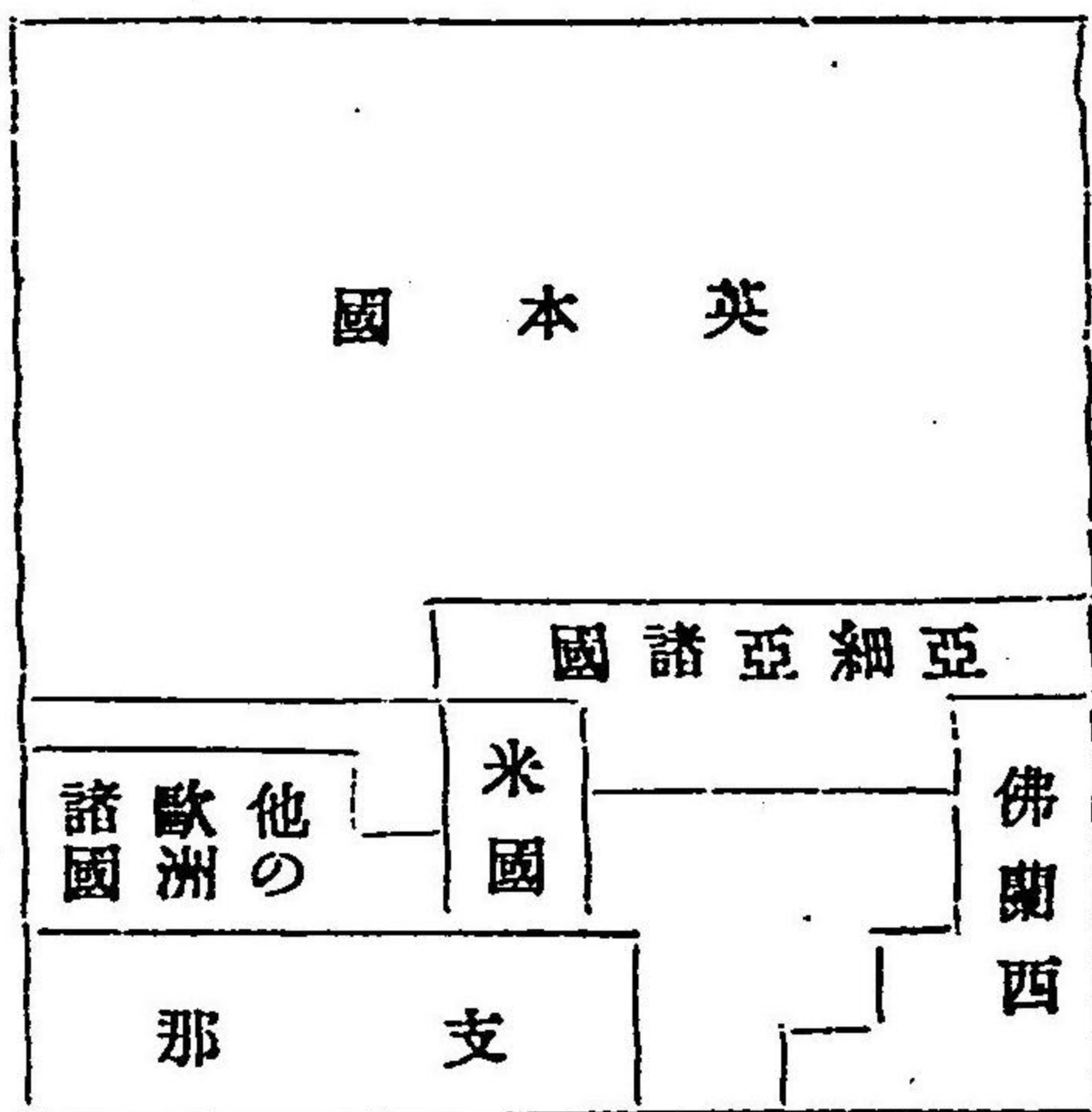
圖は當だに吾人の感情若くば希望の上存する架空的の事相にあらず、最も信憑するに足るべき統計表の示す確實の事實なりとす。例へば一八八四年に於て英國の獨逸に對する貿易は獨逸國民一人に就き廿四志、佛蘭西に對しては三十五志、米國に對しては四十七志なりしが、其一度び英領亞米利加、南アフリカ、濠洲等の英國植民地に

來たるに追びては俄然として比較の度を高め實に人頭額百六十八志の巨額に達するを見るなり。

如何にして斯くの如き事實を説明すべきか。吾人の時代は未だ最廉の市場に買ひ最高の市場に賣ると云ふ純商業的の階段に進歩せざるがためか、抑も亦國旗は何處にても其得能ふ所に於て富を得んとする人の自然の傾向を壓服する魔力を有するか。尤も習慣と趣味を同じくするため其消費する物品の相似たる

ことは慥かに相互間の貿易を盛ならしむる一原因なり。彼等は吾人の要求する物品を所有し、吾人はまた彼等の需要する物品を製造するなり。我植民地の人々が英文學書を嗜讀する如く佛蘭西文學を愛讀せざること云ふ迄もなし。夫れ然り。然りと雖この一事は人の想像するが如く爾かく甚だしく相互の貿易に影響を與ふるものにあらず。國民に由りて各趣味を異にするが如き物品は商品として最も重大なるものにはあらず。試に思へ、木綿糸、綿布、石油、石炭、毛糸及び金銀等は何れもみな世界的の性質を有し國民に由りて其趣味を異にすること甚だ大ならざるなり。且つ夫れ北米合衆國との貿易が一人前四十七志に達するの理由は或は之を以て解説することを得ん。然れども我植民地との貿易に至て一躍直ちに百六十八志に達するの理由は如何にして之を説明し得るか。米國の政治組織は其社會的生活の基礎若くは其國民の習慣を全然我植民地の夫等と異ならしむるが如きことなり。故に此點に於て米國は我植民地と大差なきものなりと云ふて不可なし。

印度貿易の國別額



吾人の見る所を以てすれば國旗を標章とせる政治的關係が、商業上に及ぼすべき影響は其信用の上にある。國旗は近世の商業に於て信用の最大原因なり。隨て其取引をして信用の上に成り立たしむるに與つて最も大なる力あり。何れの土地にせよ、若し英國植民地なりと云ふを聞かば、英本國人は勿論その植民

地の人々も安んじて其財貨を托するを得るなり。資本は此等の幼弱なる地方の開発に與つて最も大なる力ある者なり。而して資本を輸入するに缺くべからざる重要な條件は其之を要するもの、信用の如何是なり。之迄英國の資本が其國旗の跡を逐ひて植民地に流出したる額は頗る莫大のものなるが、全く英國は其植民地の倒産するを座視するものにあらずとの單純なる信用に基するは疑ふべからざるなり。固より世の資本家等は植民地に資本を放下するに當り、我植民局が彼等の上に如何なる權能を有するかを精査吟味することなかるべしと雖、

只た其英國植民地たりと云ふ一事實のためその吾人に密接の關係あるを感じ、我政府が之に對して相當の責任を有することを信するなり、勞力は斯の如き事情あるがために特にその地方に向て多く流入するが如き傾向なしと雖、資本に取ては、大にこれあり、固より斯の如き事情あるにあらざるよりは、資本は決して流入せずと斷言すること能はずと雖、決して巨額の流入を見ることなかるべく、而かも法外の高利を拂はざるべからざるなり、加之其帝國内の一部なりと云ふの感情は、本國の會社をして其理事者に植民地の株券に放資するの自由を與へしむ。これ資本流出の最も自然に近き通路にして其信用の範圍を大に擴張することゝなれり。

數年前中央亞米利加及び南亞米利加共和國の或者が稱揚すべからざる方法を以て國債を募集したる事あり、また西班牙、土耳其、埃及の如き第二流乃至第三流の國の公債は其利子頗る高歩に當れども、投資者は斷えず何等かの捫着と困難に遭逢しつゝあり、斯の如き出來事に自ら際會せるもの及び其事實を見聞するものは何れも苦き實物教育に懲り果てたれば年々増大し行く英國の資本は滔

々相率ひて其國旗の跡を逐ひつゝ、植民地に向て流入しつゝあり、斯くて今日に於ては植民地政府は英國の公債市場に於て英國内の都市と同様の待遇を受けつゝあり、資本の借入れは貿易を増加す、何となれば其貸與さるゝものは金銀若くは紙幣にあらずして購買力なり、而して植民地は其好む所に行きて其好む所のものを購買することを得べし、而して其元利を返濟するに當りて、彼等は物品を送りて其債務を果さんことは其最も便利とする所なればなり、斯くて彼等は我本國に向て物品を輸出することゝなり、隨て彼等は其物品を輸送するにわが船舶に頼り、また他に行かずして我本國より其所要の物品を講求するを便とするに至るなり、斯の如くにして相互の貿易は維持せられ、双方共に利益することを得、加之斯の如き事情は引きて倫敦をして全帝國銀行の雙心たらしむることを得べし、植民地の銀行は皆に其支店を倫敦に設くるのみならず、主要の銀行は倫敦に特別重役會を設けつゝあり、例へば阿弗利加銀行、濠洲銀行、ニュー・ジールランド銀行、及び英領コロンビア銀行の如き是なり、且又幾多の放資會社の設立さるるありて、植民地をして其産業のために資本を得るの途を一層容易ならしめつ

つあり、勞力は國旗に關係する所少しと雖、今日の傾向のごとく同業組合なるものが國際的たるの必要ありとせば、夫に先き立ちて先づ帝國內の全般を結合するの必要あるなり。要するに一度び英國の國旗を撤去することあらば財政上に於ても貿易上に於ても其植民地の蒙むるべき打撃は決して尠少にあらず。其幼弱なるに當りてや、固より復び立つべからざるの打撃ならん。其大に成長發達したる今日と雖、また容易ならざる創痕たるべきことを言を俟たざるなり。

第九章 勞力の供給

歐洲人の特性は其活動力に富めることにて、本國にあるも外國に行くも敢て異なることなし。されば如何に之迄は野蠻蒙昧の地なりとも、一度び歐洲文明に接觸するや、忽ちにして其土地は之迄よりも多くの需要を喚起することとなり、其需要に應ずれば随つて需要を増加し、斯くて底止する所を知らず、而して一國の富は多々益増殖して止まる所を知らざるなり。これ迄既に相當に産業の發達せる地方に於ては歐洲人は此處に闖入して敢て干渉するを事とせず、支那日本の如き固より近世的の産業組織を應用するの餘地なほ充分にありと雖、或る程度迄は既に産業の發達するものあり。印度の如きも今は早や歐洲人が其産業に活動的の刺激を與ふるの必要甚だ切なりと云ふを得ず。されば歐洲人の向ふ所は幼稚蒙昧にして進歩的ならざる種族に由て占領せらるゝ地方、若くば廣漠にして人煙稀疎なる地方に限られたり。此故に到る所歐洲人が其卓絶せる精力を以て新産業を開始し、此處に一箇の社會を形成するや、必ず之に伴ふて大に勞力の

需要を生ずるを常とす。

英國人は温帯地方にありて如何なる産業にも自ら従事するに堪ふと雖、熱帯地方に於ては自ら劇烈なる勞働に従事するに適せず。彼等は資本を供給し且つその事業を管理するのみにて實際の勞働は之を土人に委せざるべからず。歐洲植民の初期に於ては其運動は主として熱帯及び半熱帯の地方に向つて爲されたりと雖、その後追々温帯地方に其手を伸ばすに至り、今日に至りては後者の方寧ろ其重要な部分を占むるに至れり。

歐洲植民地の産業を建設せんが爲めに要せる勞力は蓋し莫大のものなり。而して今日迄各時代各地方に於て其勞力を供給せんがために取りたる方法を概括すれば左の五ヶ條となるべし。

第一、土人使用

西班牙人は新世界に於て其土着の人民を使用することとせり。彼等の最大の目的は金銀を得ることにあるしを以て、農業其他の土着の業務に従事し居たる住民を驅りて之を悉く金銀鑛に入れ、死に至る迄彼等を虐使せり。最初に發見され

たる群嶋中に於てバハマ人は只だ十六人を除くの外は西班牙人の虐使に堪え得ずして悉く死滅し、ジャマイカに於ては實に一人の生存するものなかりき。大陸に於ては人口多ければ、まさか虐待のため悉く滅亡するに至らざれども、彼等は甚だしき壓制の下に呻吟したりき。英國の植民地は西班牙の夫れと全く事情を異にするを以て、西班牙人の爲せしがごとき殘虐の行爲なしと雖、同一の事情の下にありしとせば同一の行爲を爲したるべきか、夫れは全く想像に屬することにして此處に斷言すべき限りにあらず。兎に角西印度諸嶋に於ては殆ど一人の土人なるものなく、米大陸に於てはかの慄悍勇武なる銅色人種に出會せり。彼等は劍と銃とを以てこれを追ひ拂ふことを得ん。而かも之を訓練して産業に従事せしむることは全く不可能なり。其後吾人はかのマオリ種族若くは濠洲の土人の如き劣等の階級に屬する同様の土人に際會せり。阿弗利加に於ては吾人は徐々にヅル及びカキール人等を訓練して植民地の勞働に使用しつゝあり。ホッテントット人及びブッシュマンのごときは文明的産業に従事し、高尚にして而かも一層困難なる生活を營まんには聊か不適當なりとおもはるゝなり。概して云へば

土人の歐洲人と共に其産業的生活に参加せることは西班牙、葡萄牙等の領土に於て多くこれあり、英國の植民地に於ては比較的其例を缺くに似たり、墨其西哥及び南亞米利加に於ける多數の人民は今なほ印度人の種族に屬すれども、他に雜種の一大階級あり、而かもこの雜種なるものは英國の植民地に於ては重大の要素とならず、家族に就て有するチートン種族特有の觀念は甚だしく他と混同するを妨げたり、吾人の家族に關する觀念は羅馬人の如く妾を正當視し、また奴隸を家族の中に齒するを許さざるなり、尤もカロライナの植民等はその家庭内に奴隸を置きて、殆ど家族と同様の觀を爲したりき、而かもかの野外に出で、驅使さるべき奴隸等は彼等自身の小屋に住居し、縦し寛大懇切の待遇を受くることありとするも、全く家族の柵外にあるものと見做されたりき。

第二、黒奴

亞米利加に於ては夙くより阿弗利加西海岸より黒人種を輸入して、植民地開發の業務に使役すること、せり、黒人を植民地に使用することは勿論非難すべきことにあらずと雖、これを其等の本國より連れ來りたる手段、また其植民地に於

て使役したる方法に至りては、全く不法千萬にして到底辯解の辭を見出すこと能はず、人或は云はん、歐洲人と阿弗利加人と共同して亞米利加の財源を開發するは經濟上頗る便利の方法にして別に非難すべきことにあらずと、然り只だこれのみならば固より曲事と云ふべき理由なし、然れども亞米利加に於ける黒人の使用に關しては、之をして正當の方法たらしむるに缺くべからざる二箇の重大要件を欠けり、(一)黒人等の承諾を経ざりしこと、(二)之を其家族又は種族全體として移住せしめざりし事是なり、以上の二者固より實行し得べきことにあらざるを以て、何人も之を心に思ひ浮ぶ事だにせず、遂に全く人類の權利を無視し、野蠻にして暴戾なる手段方法を取り、世界の全面に於て歐洲人の體面を汚し、容易に拂拭すべからざるに至りしなり、其彼等の取りし方法とは即ち黒人社會の幼稚蒙昧なるを利用したるをにて、彼等は互に其憎惡心又は貪慾を満足せしめんがために同胞を外人の手に賣り渡すを意とせざりき、是に於てか歐洲人は其捕獲者より之を買收せんがために阿弗利加西海岸一帶の地に黒人購買代理店を設置するに至りぬ、始めて阿弗利加に於ける製造所より黒人をブラジル

ルの開墾地に輸送したるは葡萄牙人なりき。西班牙人は自ら奴隷賣買の商業に従事せざりしかども、キューバ及びポートルコの開墾地にこれを使用するに於て敢て人後に落ちざりき。嘆すべきは時の傳道監督ラカサの敢て之を制止せざりしのみならず、正當のこととして之を承認したること、すかれ謂へらく、西印度の土人等は規則的の勞働を強むられたるために悉く死滅したるに關らず、黑人等に此事なきは其苦痛を感ずることの比較的少なき證據なりと。英國もまた奴隷賣買の商業に従事し、且つ其植民地に於て彼等を使用したりき。吾人は十九世紀の道義的標準を以て十七世紀の道義を律せんとするの酷なるを知れども、而かもハムデンやミルトンを有する國民が斯の如き商業の獨占權を得んがために他國と商議し、且つユトレヒトの條約に於て實際に之を獲得したるを思はゞ吾人は只だ奇々怪々の現象として長嘆大息するの外なきなり。而して此恐るべく悲むべき制度は實に爾來二百五十年の間に涉りて行はれ、年々大西洋を超へて北米の植民地に輸送さるゝ憐むべき黑人の數は少くとも十萬人を下らざりき。斯くて阿弗利加人は其東西の兩面より其同胞を外國に奪取せられたりき。即

ち東方に於ては回々教徒の埃及、亞刺比亞、波斯及び土耳其等に於て家僕となさんがために彼等を掠め去るあり。西方に於ては前に述ぶるが如く米國植民地のために歐洲人に由て連れ行かれたりき。而して以上の二者の中に於て吾人歐洲人の彼等に與へたる苦痛は最も甚しきものなりき。東洋人の家庭に於て勞働に従事するは、ヴァージニヤ若くはジャマイカに於て家畜と同様の待遇の下に酷使せられんよりは遙かに安易なりき。近來西印度植民地の當時の事情を記せる印刷物の發見さるゝものあり。該記録に據れば黑人の賣買に關することは家畜の賣買と混同し、その出産に關することは騾馬や牛豕と同一に記され、またその死に就ても彼等と何等の區別さるゝ所なかりき。佛蘭西の一著述家の記す所に據れば一方に於て西刺比亞人が東部より中央に向て遠征隊を送るに際し、英國人は其機に乗じ、彼等の怨恨の情を利用して盛に彼等を吸收するの策を講じたりき。實際に於て大西洋岸一帯の地を通して、英國の製造所等は彼等を吸收する中心市場なりき。

奴隷廢止の由來

奴隸の賣買に反對する議論は斷えず國民中の或部分に行はれたりしが、就中斷乎たる意氣精神を以て其不正の業務なるを主張し、其廢止に努力したるは基督敎の一派なる友會派フレンドシップ・サークルの人々なりき。ペンシルベニヤに於ては夙に奴隸の賣買及び其使用を禁じたりしが、英國に於てもクエーカー派の教徒はその國人の利慾に魅せられて不正不義の業務に従事することを嗟嘆しつゝありき。十八世紀の末葉に當りて英國の輿論は漸く躊躇逡巡の域を脱し、一箇の確信を以て其不正の行爲なるを識認し、之が廢止に心を傾くるものを生じたりき。格蘭ヅグランド・シャープは始めて英國に連れ來られたる一人の黒奴のために直ちにこれを解放し、以後再びこれを奴隸とすべらずとの判決を得たり。二七七二年ソマセワト事件ソマセワト事件一七八四年ケンブリッジなるマクダレン・コレッジの校長は大學卒業論文としてその意志に逆つて人類を使役することは法律上に於て正當の行爲と認め得べきや否やとの問題を提出し、その論文に由りて賞與を得たる文學士トマス・クラークソンは奴隸廢止のためにその一生を犠牲に供するの決心をなしたり。有名なる詩人クーパーは奴隸廢止のために健筆を揮つて萬丈の氣焔を吐き、パークやフホツ

クスもまた其反對論を主張し、ピットは廢止の令を發布すべき時機の來たるを待ち構へつゝありき。ヨークシャーに於て最も人望あり勢力ある議員ウリヤム・ウキルパーフォースもまた大に奴隸賣買の不義を慨し、その熱心は遂にクラークソンと共に奴隸廢止を以て其公生涯の目的となすに至りぬ。彼等は斷えず努力し、奮闘したりき。後世の人若し彼等が之が爲めになしたる不斷の勞力と熱烈なる活動とに就き其記録を讀むものあらば、誰れか感奮興起せざるものあらんや。而かも其目的を達せんが爲めには實に五十年の歲月を要したりき。植民地の耕主等は何れも富裕にして而かも鞏固なる團結を有したりければ、彼等は自由に選舉區とその投票を買収することを得て以て、輿論の發動を防止することを得たり。而して斯かる惡悚の手段は一八三二年の改正法に由て、選舉に關する惡風の一掃せらるゝ迄は其跡を斷つことなかりき。奴隸廢止の運動は佛蘭西革命の影響に由りて中頃聊か打撃を蒙むりたり。これ革命を恐るゝものは一切の自由主義を危険なるものと思惟するの傾向ありたればなり。然れどもこは固より一時の現象に過ぎずして、奴隸廢止の運動は徐々として而かも確實に其歩を進めつゝ

ありき而して先づ第一に打撃を受けしは奴隷を賣買する業務其ものにてありき。亞米利加に於ては奴隷の制度を以て不當のことにあらずと思考する者すらも、其賣買の商業に關しては反對を唱ふるに至り、ヴァージニアの議會の如きは其未だ獨立せざるに先だち夙に反對の請願書を本國政府に提出したりき。本國に於ては一七九四年と同九六年と二度下院に於て奴隷賣買を禁ずるの案を通過したれども、上院に於て否決せられ其後一八〇四年再び中止案を提出せしが復もや上院に於て七十に對する七十六票を以て否決の運命に際會せしが、一八〇六年下院がフォックスの決議案を通過せしその翌年即ち一八〇七年始めて勝利を得たり。フォックスとピットは既にこの世にあらざりし廢止案は下院に於ては十六に對する二百八十三の投票を得、上院に於ては六十六の多數なりき。米國に於ては一八〇八年に於て之を禁止せり、而かも奴隷の賣買はなほ陰密の間に行はれつつありければ、一八一一年プローガムは犯罪者を重罪に處するの案を國會に提出し、而して之を防止するの目的を以て巡洋艦をして巡邏せしめたりき。當時經濟學上に起りたる新學説もまた廢止論の味方なりき。其不正にして不自然なる

のみならず、無用無益の行爲なりと云へる議論は大に博愛家等の運動を助けたり。四方の情況斯の如くなるに關らず、一八二三年バクストンの提出に係る議案は復び否決の運命に出逢ぬ。一八二五年ウルバーフォースは議院を退きたれどもバクストン代て議院に於ける運動を引き受くることとなり、遂に一八三三年グレー卿はその同僚にプローガム、ダンレー等を有しつゝ、新内閣を作り、議院もまた改革を経たりしが漸くにして議案を通過し、要償金として二千萬磅の支出を議決し去りぬ。これ實に道德上の罪惡を除去せんが爲に國民自ら重税を負擔せんことを議決したる者にして一國民の歴史上稀に見る所の出來事なりとす。勿論こは反對を買収するの費用と目するを得べし。而かも廢止論者が自ら犠牲となり、國民全體が其議決を承認して自ら重荷を負擔するを辭せざりし一事は決して抹削すべきにあらざるなり。ウルバーフォースは該議案の第二讀會を通過するを見しがその實行を見ずして逝き、クラークソンは一八四七年迄生存したりき。一八三四年八月一日該條例は始めて實行せられ、現に當時奴隷の羈絆の下に呻吟せし七十七萬二百八十人の黒人は解放せられて自由の民となりぬ。その

後黑人等を植民地に留め置かんが爲に徒弟の組織を採用せしが良好の結果を得ざりしを以て一八三八年に至りて之を廢止することゝなれり、同年廢止の條例を我東印度の植民地にも適用することゝなりぬ、他の諸國に於ても廢止の運動は着々として其歩を進め、佛蘭西は一八四八年の革命と同時に、葡萄牙は一八五一年に於て、和蘭は一八六〇年に於て、而して米國は南北戰爭中即ち一八六四年大統領の布令として之を廢止する事となれるは、昔く人の知る事實なりとす、近年に於ては僅かにブラジルと玖巴に其名殘を留めしが、玖巴に於ては一八八六年遂に全く其跡を藏めたり、玖巴に於ては何等の辯償をも與ふるとなくして、之を決行したり、而して其生産に對して何等の影響を與へざりしに似たり、ブラジルに於ては十九世紀の終末と共に廢止を斷行するに豫定し、若し其以前に自ら奴隸を解放する者あらば、其有する年限に隨ひて辨償金を與ふることゝせしが、其結果却て奴隸に不安を懷かしむることゝなりたるを以て、遂に一八八七年に至りて斷然之を廢止することゝなしたれば、悲惨なる奴隸の制度は茲に全く地球の面より其跡を絶つことゝはなりぬ。

奴隸廢止の眞意義

奴隸制度の廢止を以て只だ産業に關する一組織の廢されたるのみと思ふべからず、之より更に重大深遠の意味あり、十九世紀に至る迄アリアン人種の政治哲學の一部たりし一思想の解決されたるものと見做さるべからず、プラトリーやアリストートルは奴隸の制度を以て正當のことなりと信じ、スバルタ及びアゼンスに於ては盛に之を使用したりき、征服に由れる奴隸、刑罰としての奴隸、負債を償却せんがための奴隸、其劣等種類なるの故を以て生れながらの奴隸、及び産業上の必要を充たさんがための奴隸等何れも皆相當の理由あるものとして承認せられたりき、而して斯の如き思想と制度とは所謂政治哲學に由て轉覆せられざりき、また佛蘭西及び米合衆國に盛に唱道さるゝ人權なる語は此點に關して何事をもなさりき、また基督教徒の聖書に明かに非難さるゝの故を以て廢止せられざりき、果して然らば奴隸廢止の原動力となりしものは抑も何ぞや、他なし、基督教徒の自覺これのみ、先づ第一に單純なるクエーカー派の信仰、次には國教徒及びその以外の各宗派間に於ける福音的リバイバル、此二者相合して當時

の人々をして同じく神の國にあるべき人類を賣買し其意志に忤つて之を驅使するの背理暴戾の行爲なることを直覺せしめたりき歐洲の國民は早晚の相違こそあれ何れも同様の感覺に動かされ今は各阿弗利加大陸内にある奴隸の制度を打破せんが爲めにその勢力を用ゆるを以てその義務なりと信するに至りしなり。

暗黒より光明の現はれ出づることは人事の諸方面に於て吾人の屢々實驗する所二百五十年間に渉る暗澹たる奴隸の記録を閲し去りて吾人は始めて廢止の曙光の東方に灼くを見る。思ふに奴隸廢止の歴史は人類が有する道義的觀念の發動せる最も著しき一例證と謂ふべきなり。

第三、契約勞働(Coolie Labour 苦力勞働)

歐洲殊に多くの英國の植民地に於ては亞弗利加より黑人を輸入することを廢止して以來印度人及び支那人を以て之に充て、奴隸に代ふるに契約勞働を以てせり。契約勞働者は強制せらるゝことなく、任意に其故郷を去り、其勞働に對して相等の賃錢を仕拂はれ、また充分なる個人的家族的の權利を有し契約の期限後

は自由に其郷國に歸ることを得るなり。此方法に由りて幾多の貧窮なる印度人は自國と同様なる氣候の下に常識を得て充分の賃錢を得、數年の後には相當の貯蓄をなし、生來始て見たる大金を手にし、一箇の資本家となりて歸國せり。或時一艘の船舶に由てカルカッタに歸還せる三百二十人の契約勞働者は實に六萬五千弗の貨幣を所有しつゝありき。彼等の大多數は印度の最下級種類に屬し、モーリシアス、ナタル、及び西印度諸島に於て砂糖の栽培製造に使役せられたるなり。半熱帯なるクインズランドの植民地に於ては太平洋諸島の土人を雇傭するを常とせり。クインズランドを除く外、何れの場合に於ても、政府自ら其契約を監督し、其條件を決定す。また其航海船室等のとに付き夫々の規定を設け、到着の上彼等を受取り、之を諸方の農圃に分配し、其待遇方法を規定せり。また彼等の住所は政府の設計に隨つて建設せられ、斷えず其檢閲を受くることとなり居り、病氣の時は醫師の診断を受くることを得べく、其食物勞働時間賃錢等も一定の標準に隨つて規定さるゝなり。其最初の契約期限の滿了後勞働者自ら更に契約せんと欲せば政府の許可を受け、相當の條件の下に引續き勞働に従事することを得れ

ども、三度契約を續くことを得ざるの規定なり、契約期限終了後は植民地に永住することも、本國に歸還することも、労働者等の自由に任せらる、グインスランドの政府もまた契約労働者に關する法規を制定せざりしにあらずと雖、これを我代表的植民地及び直轄植民地が規定に比すれば大に劣る所あるのみならず、殊に之を實行する精神に於て大に當局者の怠慢を責めざるべからざるものあり。ホリネシアの航海事業に關する戰慄すべき罪惡は今なほ人口に膾炙す。其之に用ひられたる船舶も水夫も共に最劣等最惡のものにして、其行爲は言語同斷なりき。遂に政府も現在行はれつゝある罪惡を見るに忍びず、改善の方法を講ずるに至りしと雖、一内閣時代の法廷に於て有罪の宣告を受けたる惡人等が、内閣の更迭と共に釋放せらるゝと云ふが如き不都合のことありき。事情に由りては、自治的植民地よりも、帝國政府に於て直接支配する方便利なるは、其劣等種族の待遇に關し、帝國政府の方遙かに勝る所あるの事實に由りて證明せられたりと云ふべし。グインスランドに於てはその土地の廣漠にして農圃の遼遠の地に散在するを以て特殊の困難ありしに相違なしと雖、政府がホリネシアの不法事件を聞

知したりしは疑ふべからざるなり、英國植民地にある契約労働者の概數はギアナに七萬人、トリニダットに七萬人、ナタンは四萬人、ジャマイカに一萬三千人、モリシアシアに二十五萬人あり。モリシアシアの労働者は多くはその土地に永住するものなりとす。

一度び奴隷と契約労働者とを比較せば、何人も國民が正義に従はんと決心する時、他人の人權を侵害することなくして、經濟上の必要を充たすの方法を發見するの困難ならざるを明かに承認し得べきなり。

契約労働

奴 隸

根本的相違

(一)個人の自由。

人間は一の財産と見做さる。

(二)家族の神聖。

家族の權は恩惠に由て與へらるゝことあるのみ。

結果的相違

(三)任意を以て故國を去る。

捕獲又は誘拐さる。

(四)教育宗教の自由

所有主の任意に由り或は妨害され或は禁止せらる。

(五)故郷に歸るか然らざれば資本主として植民地に留まるの希望を有す。

未來なく希望なし

附隨的結果

(六)航海中政府の監督あり。

航海の途上に恐怖あり。

(七)政府に由りて契約條件を規定さる。

労働と報酬の間に標準なし。

(八)住家食物醫藥等に關する政府の規定あり。

一に所有主の意志に任せらる。

以上の比較中奴隷に關しては固より英國の組織に由て言を爲せる者なるが、佛蘭西及び西班牙の組織に於ては、其寛大の待遇に關して重要な相違あり、契約労働の組織は若し之を監理運用する方法宜きを得ば一の良法と云ふべく、天下を利すると大なる者あらん、然れども政府に於て嚴重に之を監督するの義務あることを忘るべからず、英國に於ては議會に由りて印度に於ける供給の根源と其

勞力を採用せる最も多くの植民地を支配するとなれば、英國民は充分有効に之を監視し能ふ次第なり、殊に當今印度及び他の植民地の交通は日を追ふて繁を加ふるとなれば、實際此等の地方に旅行したる英國人は常に種々の出來事を見聞すべく而して本國にあるものは其報告に注意を拂ふとせば充分に之を監督するを得べきなり、斯くてまた耕主等は労働者に對する待遇の如何は帝國的の問題にして帝國の威信體面に關するとなるを覺るに至らん、加之植民地に於ける失敗損害は彼等の失敗損害にしてその利益成功は彼等の利益成功なれば、彼等は契約労働者のことに關して中央政府の監督を受くるも畢竟するに其利益を増進するの結果を來すことなれば之を拒否するの理由なからん、地方の學校教員が中央政府視學官の檢閲を受くると同様の次第なり、歐洲の人心は其植民地に於ける劣等種族に對する態度に就て今や自ら決定する所あり、假令植民地の或者は全く吾人の意見に同意せずとも、吾人は彼等に對する其責任を等閑に附すること能はざるなり、
支那人の労働に就ては多少趣を異にするものあり、彼等は到る所に出で行き、而

して屢々嫌疑せられ、或植民地に於ては全く入國を禁せられつゝあり、然れども彼等は自ら自家に關する事務を處理するの途を知る、彼等は多く農業に従事せずして商人となり、また都會にありて勞働に従事するなり、然れども支那人問題は自由民の移民問題にして此處に論すべき限りにあらざるなり。

第四、囚人勞働

罪囚を植民地の勞働に従事せしむるの端を開きしもまた葡萄牙人なり、彼等を牢獄の中に閉ぢ籠めて無聊の歲月を送らしめ、或は無用の業務を營ませんよりは植民地の勞働に従事せしむるを以て有益のこゝとなし、始めてブラジルの植民地に之を試むることゝせり、佛國及び英國また其例に倣ふて各其植民地に之を試みたり、英國に於ては始めて十七世紀の騷亂時代に當り、國事犯人を之に使役することゝし、先づ第一に少數の短髮黨人フランド（民黨）を輸送せしか、次てダンハー、ウァーセスターの戦争とリメックの包圍の後多數のキャヴァリヤリ黨人、王黨等はクロムウェルに由りてヴァージニア及びバーベードスに送附せられたりき、一六八六年に於てもモンマスの反亂の後同しく幾多の罪囚をバーベードスに向つて送

りたり、斯く國事犯の爲め幾多の農夫、職工、裁縫者、其他貧民は上陸の後十年間の期限内賣却せられて送り出されたり、現存せる記録に據れば、六十八人、七十二人、九十人、百人と隊をなして、ドーチンスター、エクスター及びウエルスの監獄より引き出されしなり、其期限の盡きたる後は他の島嶼に行くを許されたるのみならず、ポストン、紐育、ウァージニアにすら行くことを許され、其故郷に還ることは固より其自由に任せられしなり、後年に至りて通常の罪囚をも同様に海外の植民地に送ることとせしが、そは死刑に次ぐの重刑と見做されたりき。

ポタニー灣

英國は其亞米利加に於て有する植民地を失ひたる後、罪囚を送遣すべき場所を他に求めしが、西印度諸島と加奈太とはこれを好まざりしかば、遂に時の宰相ピットはキャピテンクックが航海の結果を利用するに決し、雲濤萬里を隔つる濠州の海岸にて、その植物の種類に富めるの故を以て、クックがポタニー灣と命名せし土地を以て罪囚遠謫の場所とはなしぬ、こゝに於てか一七八七年六艘の運送船と三艘の荷物船は一雙の軍艦と更らに他に一隻の附屬船とに護衛せられ、七百五十

七人中二百人は婦人の罪囚を乗せ、軸轆相啣みて植物灣へ到着したり。幾何かの水夫等は彼等の護衛として随ひ、又家畜、種子、植物等も送られしが、其後引續きて規則的に船舶の往來を見ることゝなりぬ。罪人は固より監禁せられたりしが、其刑期の盡きたる後は一定の土地家畜と共に十八ヶ月間の扶持を受くるを得たり。中には之を浪費し去りたるものもあるべけれども、多くは之を資本として其獨立生活の基礎を作るに至れり。其後年々發送さるゝ罪囚の數は二千人乃至三千人に上りぬ。當時の刑法は頗る嚴峻を極めたるものにて、私書を偽造し若くば馬を盗みたる如き者が容赦なく終身懲役の代りに遠島に處せられしなり。而して英國に歸還せば其罪固より死に該當せるを以て、彼等に取りては最早故歸と云ふものなきなり。其後自由植民の移任するに至りて新來の罪囚は彼等と被解放者の間に分配せられ監禁されず、勞働者として使役せられたりき。而して自由移民の數の増加するに随ひ益、此傾向を増長したり。されば其社會の状態は一種奇妙なるものにして、無法律の状態は僅かに軍隊の組織に由りて制裁され、道徳に至ては全く混沌の有様なりき。當時貨幣の單位が一瓶のラム酒なりしに想

到せば以て其社會の如何なるものなりしかを想像するに足らん。砂漠の中にもダイヤモンドあり。斯かる悲惨なる境遇の中にも、尙幾多の善良の分子あり。思ふに彼等の或者は其罰に相當するだけの罪惡なくして配所の月を眺むるならん。されど敢て天を怨み人を咎むることをせず、怡然として其運命に安んじ、此望なきが如く見ゆる社會のパン種となりて全團を脹らましたり。罪囚中の詩人バールングトン、ゼッドニーに於て始めて開演せる演劇のために作れる詩中の一節に曰く

吾等こそ眞の愛國者なれ、知る人ぞ知る

故國を思ふの情に驅られて、懐かしき故山の空を見棄てぬ。

彼等の或者は慥かに此稱詞に背かざりしなり。

然れども斯かる方法に由て勞力を供給することは漸次其必要を減じぬ。ニューサウスウェールズは徐々にその地域を擴げつゝありしが、青山の彼方なる豊穰無比の高原に道路の貫通せられて以來、其農業上の未來は實に人目を眩するものとなりぬ。是に於てか自由移民は滔々決河の勢を以て流入し來り、復た罪囚の勞

力を借るの必要なかりければ、彼等は直ちに罪囚の輸送に反對を唱ふることゝなれり。政府は策の施すべきなくして頗る當惑したりき。ヴィクトリアの如きは其罪囚を悉く一隻の汽船に乗せてブレマースに送還せんと威嚇し、喜望峯の人民は其植民地のために故障を唱へて其目的を達し、グハンデーメンの地は其方法を排斥すると同時に其自己の名稱までも拒絶したりけり。唯だ一の西濠洲ありて自ら請ふて暫らく之を引き受けしが、此處すらも程なく之を斷念することゝなれり。之と同時に一方に於ては本國の有力者が憐むべき罪囚の利害上より之に反對するあり。殊に罪囚中に多數の婦人ありしが故に、反對の聲は一層高かりしなり。此等反對論者中の頭領と目すべきはかのジョン・ハワードにして、抗議辯難餘力を残さざりき。またベンザム、マッキントッシュ、ロミリー等の學者は當時の刑法の峻嚴に過ぐるを論じてこれを緩和せんことを主張せしが、遂にその主張を貫徹して實行の運びに至りぬ。一八一九年英國及び威斯に於て死刑の宣告を受けたるもの千三百十四人あり。其の中實際死刑に處せられしは百〇八人にして、中に就て殺人罪を犯したるものは僅かに十五人に過ぎざりき。而して一八四九年改正

刑法實施後の統計に據れば、死刑の宣告を受けたるものは六十六人中、實際死刑に處せられし者は只だ十五人のみ。而して悉く殺人犯なりき。大監督ホウエートレは重罪囚を植民地に送ることはその品性を改善するの機會を逸するの一事のみにて最も大なる不都合なりとして大に反對抗議に勉めしが、政府も漸く之に同意を表し、遂に一八六七年に至りて全く此制度を廢止することゝなれり。佛蘭西に於ては今なほ此制度を持續しつゝあり。到底悔悛の見込なき罪人、若くは習慣性の罪囚は之をカイ、エン、佛領ギアナ及びニューカレドニアに送遣することゝせり。佛蘭西がニューカレドニアを罪人遠謫の場所とせるに就ては附近の濠洲諸植民地何れも少からぬ迷惑を感じつゝあるなり。

第五、自由移民

今日に於ては勞力供給の最も普通の方法は移民なり。而して體力の自然の關係上、自由移民は主として温帶地方に限られつゝあり。過去の經驗に由り温帶地方に於ては充分の成功を庶幾し得るなり。移民として植民地に其人々を輸送することは國家に取りて實に一舉兩得の政策なりと云はざるべからず。一方に於て

は其本國より過剰の人々を吐き出し、一方に於ては海外に一新社會を形成するなり。其結果は常に其商品に對して新顧客を得るのみならず、また其青年をして海外の地に職業を見出さしむ。斯くて其商賈は繁榮し、其製造所は盛に煤煙を吐き、同時に其青年男女は新故郷を有することゝなる。

海外移住の動機

人をして海外に出働せしむるの動機内外二種あり。一は内部より彼等を促して海外に出遊せしむる事情にして、他は即ち外部よりこれを吸引するの事情なり。新開の土地は屢、新奇にして有力なる提供を以て人を吸引することありと雖、また只だ舊世界の産業を萎靡せしめつゝある生産の過剰に對して吐け口を供するに止まることあり。蓋し一地方の人口を維持するの能力は全く關係的のことにして、これを占領しつゝある國民の産業の組織にこれ由るなり。されば曾て一度は人口充滿せりと思はれたる地方も實際に於ては過少なることあり。今日ヴィクトリア植民地の全部をなせる廣大無邊の土地を占有せる野蠻人等は、一哩四方に一人の割合を以て住しつゝ、濠洲の庭園は既に充分の人口を有すと思惟せ

しやも知るべからず。エリザベス朝時代に於ける英國の人口は僅か四百萬内外に過ぎざりしが、時人は既に人口の過剰に赴かんことを憂ひつゝありたり。今日倫敦の周圍に於て繁雜熱鬧の市街を成せる場所がなほ未だ一面の芝生又は田園なりし時に當りて、カベットは倫敦を指して自然の面上に於ける瘤なりと云へり。要するに一の時代に於て、或一國が人口を維持するの能力はその達したる組織の程度に由るなり。而して何れの時代にありても其人口と其社會の之を維持する能力の關係の如何なるかを知らんと欲せば、人民自身の間には人口過剰の自覺ありや否やを問ふを以て最も捷徑となす。若し多數人の間に斯かる自覺の存する國家は他に之を受け容るゝの場所を發見せば、直ちに之に向て其過剰の人口を吐き出し始むべきなり。

然れどもわが植民の初代の事情を調査すれば、本國に於ける人口過剰の壓迫より逃れんとするの外、更に有力なる動機ありしを發見すべし。即ち多くの人々は未見の世界に於ける無限の財寶に就て聞知する所ありしに由るなり。當時人心を聳動せし幾多の旅行家、航海家等の實見談は豫て斯の如き事に注意を拂へる

人々を動かすこと大なりしなり。また超經濟的の勢力、殊に政治上、宗教上の意見を異にするより斷然故國を離るゝの決心をなしたるものも少からざりき。何れにしても百五十年間に英國植民地に移住せる自由労働者の數は非常の大數にて、一七六〇年英蘭及び威斯の人口が七百萬人に過ぎざりし時に當り、亞米利加植民地の人口は三百萬人に達するの盛況を來したりき。

移民の中絶

英國が亞米利加を失ひてより以來は二箇の理由に依り、移民事業は一時全く萎靡不振の狀態に陥れるなり。

第一、英國の手に殘存せる植民地中の最も富有なる西印度諸島は熱帶地方なり。加奈太は開拓すること容易の業にあらず。濠洲は僅かに世人に知られ始めたるのみにて、而かも他の目的のために用ひられつゝありたり。

第二、されども更に主要の原因は本國に於て人をして海外に向はしむべき壓迫の全く去りたることは是なり。製造業の勃興のため労働者を要求すること頗る盛にして人口の過剰に苦まざるのみならず、寧ろその不足を感ずる程なりき。加之

海外との戦争のため、且つまた議員等が自己の利益のために、英國内のあらゆる土地を耕作して穀物を栽培せざるを得ざらしめたり。また國王の徵募に應じて青年の陸海軍の役務に服するもの頗る多く、而して困憊と病氣と難業のために死没せる者の數はトラフルガー、グイメラ及びグクトリア等の戦争に於て傷死せるものよりも多しと傳へらる。さればウォーターloo戦争の三十年前に於ける英國政治の方針はその人口を國內に引き留むるにあり。隨て海外の移民は暫時中止の姿となりぬ。

移住熱の再興

ウォーターlooの戦後社會の形勢は全く一變せり。ナポレオンの一度びセント・ヘレナに幽閉せらるゝや、人口の繁殖を奨励せる貧民救濟法は直ちに變改せられたり。此に於てか民衆の注意は再び外國の方面に向ひ、一八一五年より一八三〇年に至るの間英國の海岸を去りて外國に向ひたるもの、數、毎年平均二萬三千人と稱せらる。加奈太と喜望峯植民地に行けるものも固より少からず。前に述べたる如く濠洲よりの報告は大に自由移民の渡航を奨励するものあり。殊にまた

北米合衆國に移住するものは年々増加して止まる所を知らざるの勢にて、一八三〇年より一八四〇年に至るの間は年々の平均數七萬人なりしが、一八四〇年より一八四六年に至る間の平均數は毎年十萬人に昇りぬ。其後間もなくして移民の歴史に特筆大書すべき著るき現象の勃興するあり。即ち愛蘭農民の米國に向へる移住にして、其規模の大なる之を國民的の移住と云ふもまた過言にあらず。其國外に移出せるものと内國に留まる者の數を比較せば、何人も其國民の全體が移住熱に由て動搖せられたるの消息を解することを得べし。歐洲の歴史に於て、未だ曾て斯の如き大袈裟なる移住ありしを聞かざるなり。斯の如く殆ど全國民大舉して移住するが如き事情に至りし所以の原因固より多しと雖も、その主要なるものは蓋し左の事情なるべし。英國の法律に従へば、大地主は小地主に比し非常の便益を有するが故に到底其競争に堪へず、小地主は漸次大地主の兼併する所となり、ために愛蘭の産業組織の上に、十八世紀の央頃より以來、非常に重大の變動を惹起し、多數民を疾苦の淵に陥るゝものあり。搗て、加へて、愛蘭に始められたる馬鈴薯の栽培は人口の増加を促進し、隨てその土地を益々小分す

るの結果を生じ、多數農民の幸福を増進せず、却て反對の方向に赴かしむるものあり。斯くて大多數の農民は馬鈴薯の豊收をのみ唯一の生命の綱と頼み、若し不幸にして其不作に逢はば、直ちに饑餓に迫るべき憐むべき境遇に陥るゝに至りしが、天なる哉命なる哉。一八四六年より一八四七年にかけて遂に馬鈴薯の凶作に遭逢したりければ、彼等農民は進退全く維れ谷まり、海外に移住するの外策の施すべきなきに至りしなり。固より自由貿易主義の政策は此災厄を救ふに與つて力ありしに相違なしと雖、而かも斯かる場合に際しては赤手を以て決河を支ふるの嘆なくんばあらず。されば彼等に取りては海外の移住こそ救濟の一大光明にあらずや。請ふ見よ、太西洋の彼岸には沃野萬里相連り、人の來りて之を耕耘するを待てるにあらずや。而して幸にも愛蘭の人民は故國を棄て、海外に移住するを甚だしく嫌忌するの傾向なく、何れも希望に滿ちて住慣れし故郷の空を見棄てぬ。斯くて一八四〇年より同四六年に至る迄、毎年の移住民は平均十萬人なりしものが、一八四七年より同五〇年に至る間に於ては二十八萬人に達したり。これ主として愛蘭よりの移出なると固より論を俟たざるなり。彼等は固より

到る所の方面に向ひしと雖、而かもその大多數の足を向けたるは北米合衆國なりき。而して正しきにもせよ、正しからざるにもせよ、彼等は皆次の如き感想を有したり。曰く、かの危機に際したる一時のとは措て問はず、過去數世紀の間、若し英國人の手に依り、縦し寛大と云ふ能はざる迄も、只だ相當の待遇を受くるを得たりしならんには、吾等は住慣れし故郷の山を後にして、萬里の波濤を踏破せざりしならん。爾後彼等の米國移住は恰かも江河を決したらん如く、滔々として止まる所を知らず、愛蘭の人口は曾て八百萬に達したることありと雖、一八〇一年には五百二十五萬人となり、今日に於ては五百萬人以下に降るに至れり。一方英國はこの間に於て九百萬より二千九百萬に、蘇格蘭は百五十萬より四百萬に昇りつゝあるを見れば、愛蘭人の移住なるものが如何に大規模に行はれたりしかを想像するに足るべきなり。一八五一年五月一日より一八八九年十二月卅一日に至る迄の間に於ける愛蘭の移民は無慮三百三十四萬六千五百八十人に達するを見る。

世の帝國主義者は其熱心の餘り、左の重要な事實を忘るゝことあり。即ち各植民

地殊に米國にある愛蘭人等は其母國に對して些の好意をも有せざることなり。吾人は地球面に於ける英語國民の共通的感情に就て言を爲すに當り、須らく注意せざるべからざるは、愛蘭出身者の其母國に對する惡感、は當分の間英國に對して調和的態度を取るの希望なきこと是なり。

(註) 移民數を正確に知らんことは、頗る困難の事業なりとす。何となれば純粹の移民が何程なりやを識別する方法なければなり。即ち海外渡航者中の何程が移住民にして、其幾分が普通の旅客なるやを精確に判斷する方法なきなり。然れども其大要の數丈にても年々の増減を比較研究せんがためには甚だ有用の材料なりと信するなり。

移民と歐洲の列國

移民に對し歐洲の列強間には夫々傾向特色の注目すべきものあり。例へば蘇國人は加奈太とニューシラランドを嗜好するの傾向を有し、來因地方の獨逸の葡萄栽培者は濠洲に於ける葡萄園の有望なるを聞きて垂涎を禁する能はざるものあり。曾てケンブリッヂンヤなる一村落より倫敦に來たりて成功せる一青年あり

しが其周旋手引に依りて同村より倫敦に上り來れる家族の數十二軒に達せりとのことを聞き及びけるが、移民の上に就ても家族的の關係は汽船汽車の便にも勝つて有力なる要素たるなり。佛蘭西人はアルジェリヤを主とし、その他埃及の如き佛蘭西人の既に住居を定め、其勢力の多少見るべきものある地方を指して出て行くなり、併し佛蘭西の植民は別に取り立て、云ふ程の價值なし、其海外にある佛蘭西人の總數加奈太にある佛蘭西人の後裔を除きては恐らく五十萬人に足らざるべしと思はる。

獨逸の移民は佛蘭西に比すれば頗る重大なるものあり。獨逸人は移民として種の優勝なる性格を有し、隨て夙くより移民事業は開始せられ、今なほ盛にこの方面に對て運動しつゝあり。ペンシルベニヤ州に於ては彼等は、その住民の大部分を占め、喜望峯植民地には彼等は和蘭東印度會社の保護に依りて行きしが、今は地球上如何なる地にも彼等の出で行かざる所なし。一八五〇年より同七〇年迄の間に米國に移住したる佛蘭西人の數は二十五萬人に過ぎざれども、同期間米國に移り住したる獨逸人の數は實に二百二十六萬七千人、同じく愛蘭人の數

は二百七十萬人なりとす。加奈太にある獨逸人と蘭人の後裔は恐らく廿五萬人以上に上るならん。若し獨逸帝國にして今少し早く建設せられ、その植民政策を樹立したらんには、獨逸は今や地球上到る所に重要な植民地を有し、或は獨逸語を語る獨立國の存在を見るに至りしこと殆ど疑ふの餘地なきなり。然れども今日の實際に於ては彼等は多く英國の植民地と米國に於て吸収されつゝあり。米國に於て獨逸人が多少の勢力を有することは疑ふべからざる事實なれども、而かもこは米國民としての活動にして、別に獨逸の勢力として之を解剖分析すること能はざるなり。

西班牙、葡萄牙の移民は主として南米の天に向ひ、以太利人もまたリグヴァー、プレート及びブエノス・アイルス等の西班牙の勢力下にある地方を撰み、以て羅甸種族の共同心の今なほ存することを事實に於て證明しつゝあり。瑞西人は南北亞米利加の兩方に行き、和蘭は今も多く移民を出さず。同國は曾て植民國として大に活動するの地位にありしが、その後國情の變遷に依り、今は閑として全く聲なきに至りぬ。マコーレー曰く、チャールズ二世が三國同盟を破壊し、和蘭をして全く路

易十四世の恩惠の下に居らしむるに追ひて、和蘭人は殆ど國民を擧つて亞米利加及び東洋の植民地に移住するに至れり。されども彼等はなほその掌大の土地を故國として保存するを忘れざりき。只だ移民的勢力として數ふるに足らざるのみ。其一八八二年より同八九年に至る迄米國に渡航したる移民の數は僅かに四千人内外に過ぎざりき。

蘇格蘭が獨立にて企畫したる植民事業一、二あり一は一六二一年に試みられたるノヴァスコシヤの植民にして、蘇格蘭の王室の下にありて、蘇國の法律に依て支配さるべかりしなり。他は即ちダリエンの植民にして、慘憺たる失敗を以て終れり。爾來蘇國は獨立的に植民の計營をなさず、英蘭と協同することゝなれり。

ペイン氏は其著歐洲植民論中に於て歐洲の移民に關する問題を評論せるが、歐洲列國民中移民としての成功に必要な性格を最も多く具有するは蘇國人にして次は英蘭人、其次は獨逸人なりと云へり。

國家と移民

移民の如き重大の事件に關して、一國の政府たるものが全く袖手傍觀して、無關

係の地位に立たんことは、到底爲し得べき事にあらず。政府は固より其國民の生活状態に關する材料を蒐集して、國民をして移住の必要を覺らしむるを得べく、また其國民の爲に海外に勞働の地を發見するをもなし得べし。然れども斯の如き程度迄進まずとも、なほ政府として此方面に向て爲すべきとは多くあるべし。之を事實に徴するに、佛蘭西の政府は之迄其人民をして海外に植民せしめんが爲に大に力を致たし、之に反して獨逸の政府は其國民を國內に留まらしめんが爲に力を盡せり。英國に於て政府が始めて移民事業に注意を惹起したるはアンチ女皇の御字にて、亞米利加植民地に行かんとする勞働者及び其家族の職業を有せざる者に、無料渡航券を下附せり。十九世紀に入り、大平和時代の始まりて以來十年、始めて我下院は此問題に着眼し、一八七一年漸く王立委員會に於て之を調査するの運びに立ち至りぬ。次でその法案は政府の採用する所となりけるが、ウエイクフィールドの案に相似たるものにて、植民地の土地を賣却して得たる金を以て、移住勞働者を保護するを以て目的とす。即ち該案に由りて、植民地に渡航せんとする男子は一人に付き三十磅、女子は一人に付二十磅の獎勵金を受く

ることゝとなれり。其後責任植民地の政府は自らその植民地に労働者を吸引せんがために夫々獎勵の方法を講ずるに至りしが、未だ多くその結果を見るに至らざるに先だちヴィクトリアに金鑛の發見あり、何等の獎勵を與へずして續々移民の流入を見るに至りしが、これ却て後には反對の結果を生ずることゝなりぬ。兎に角何れの植民地も皆労働者吸引の策を講じ、渡航者に無料渡航券を與ふるか或は相當の獎勵金を與へ、到着の上は極めて手輕き條件にて土地を賦與することゝせり。移民等は何れも本國に於て被雇的労働の生活に飽き果てたる者共なりければ植民地に來りて復び同一の境涯に呻吟するを好まず、縦令掌大の土地にても之を得んとは彼等の大に熱望せし所たりしなり。植民地に於ては漠として際涯を知らざる土地の人手に觸れずして委棄せられあるとなれば、此政策は必ず好結果を生じて、長く維持實行せらるべく豫期せられしが、世事概ね人の意想外に出で、漸く植民地政府に民衆の勢力の發揮せらるゝや、彼等は更に多くの新來者の來たるを好まず、遂に全く移民獎勵の法を廢することゝはなれり。

植民地政府の反對

豈啻に夫れのみならんや、事實は一層不思議なる方向に向つて進み行けり。此處にも英國が植民地に與へたる自由のため、却て其身に損害を蒙むるの實例を見るなり。植民地は夙にその政治上の自由を利用して、ランカシャ、ダンディ及びベルファストの製造品に對する競争を始めたりしが、今はまたその廣大無邊の土地に英國労働者の移入するを防止せんとするに至れり。彼等は曰ふ、健全にして非難すべき所なき移民ならんにはこれを歓迎すべしと雖、然らざるものはこれを受け入るゝを好まずと。前にも述べたる如く、一人の壯丁を育て上る迄に英國に於ては百七十五磅を要するなり、而して將さに之より國家の富を作り出さんとするに當りて、國外に出で去るものあれば、斯かる壯丁を植民地が受け入れたれば、とて、そは英國の損にして、植民地に取りて大なる利益なり。之がために英國が植民地に感謝すべき理由とてはあることなし。然るにも拘らず、健全有爲の壯丁にても、多少の資本、即ち一エーカーに對し、二十志程の資金を有せざるべからずと云ふ。されば植民地の門戸は實際に於て英國労働者のために閉鎖せられたりと云はざるべからず。北米合衆國に於ても自由平等の觀念は今や全く其國內に行は

るゝに止まり、國境以外には適用せられざるに至れり。上院議員にして有名なる著述家エッチカポットロッチ氏はその意見を吐露して、北米評論一八九一年一月號今は亞米利加が、德義上に於て劣等なる移民の流入することを依然として許容すべきや否やを考慮せざるべからざる時機に達したりと云へり。曾てはその茫漠として邊際なき大陸と壓制に苦める歐洲人の新故郷たるを以て誇りとせる米國も、今やその労働者に對する競争者として、舊世界の生活に困憊せる憐むべき労働者に對して響響するに至れり。

されば此問題に對する前途の光景は頗る暗澹たるものなりと云はざるべからず。若し植民地にして之迄の如く如何なる種類の労働者をも異議なく歡迎するにあらざれば、労働階級に就ては英國と植民地との關係は茲に斷絶せざるべからず。而してわが年々増殖して止まるところを知らざる過剰の人口を如何せんとの問題は之を解決するの途なきに苦まざるを得ざるなり。植民地をして強て我移民を受け入れしめ、また植民地の人民が自ら占領する能はざる或地方を本國人民に分配せんがために干戈を動かさんこと、固より不可能にあらざれども、

これわが植民地に對する從來の方針を全く破壊し去る所以、容易く斯の如き方法を取るべきにあらざる。されば是非其他に何等かの手段を發見せざるべからず。要するに此問題の將來は其國家主義の見地を離れて、帝國主義の上に立たざるべからず。否更に一步を進めて世界主義たるべきか、労働者自ら世界は労働の爲に公開さるべきを主張せん。此問題は固より焦眉の急に迫れるにあらざる。雖その歸向する所は必ず斯くあるべきなり。

英國政府と移民

英國に於て移民問題に精通せる人士は、今や政府より移民に對し金錢上の助力を與ふることを賛成せざるに至れり。其理由は政府は斯の如き事務を處理するに適せざるのみならず、却て政府の干涉するがために種々の紛擾を惹き起すことありと云ふにあり。植民省に於て三分の利子を以て、數百萬磅の公債を募り、慎重の注意を以て少額宛之を植民地に渡航する適當の人物に貸與するが如きことは固より困難のことにあらず。また斯くすることに由りて移民を獎勵するの結果を得んことは殆ど疑ふべきにあらずと雖、吾人は本國にありて有用なるべき

健全にして徳性ある男女が外國に出で行くことを希望すべきか。彼等若し海外移住を希望せば吾人はこれを阻止すること能はずと雖、これに國庫より補助を與へて海外行を奨励するが如きは甚だ理由なき所爲なりと云はざるべからず。然れども政府が共有する機關植民省により、諸方面に關する豊富なる材料を集めて、國民一般の參考に供するが如きことは寧ろ政府として適當の所置なりと云はざるべからず。而して今や既にこの要求は實現せられ、植民省に由りて移民情報局の設置さるゝありて、毎年四回發兌の報告書に於て各植民地に於ける労働者需要の狀態を明かにし、また時々の変化をも明細に示しつゝあり。而して此報告を全國一般に普及せしめんがためには、全國の各郵便局に報告書を配布し、以て公衆に揭示しつゝありと雖、而かも全國民の多數に周知せしめんにはなほ甚だ不充分の感あるを免かれざるに似たり。加之報告の事項も極めて多端に涉るを以て、到底その精細を盡すに由なきは止むを得ざることなり。産業の狀態は植民地に由りて異なり、法律規則は極めて紛糾錯綜せるものにて、英國と其植民地と外國の分を併せて五百五十種の異なる法律規則ありと云ふに由りて其事

情の一端を窺知すべきなり。遮莫この情報局の便利の大なるは云ふ迄もなきことにして、前途益々發展の必要あり、愛蘭に於ては更に一步を進めたるものあり。ダブリンの商業會議所に移民局なるものあり。一人の局長と九人の事務員と七人の檢疫醫ありて、盛に其事務を執掌しつゝあるなり。政府の事業に屬するもの、外なほ私人の經營に係る幾多の會合あり。元來何事によらず、政府の手を藉らず、有志者の團體を以て爲し了るは英國人の最も好む所なりとす。此等の私設會社の中に自助移民會なるものあり。英國(愛蘭)を含まずより加奈太の移住を目的とす。而して加奈太にはその代理者あり。何れも相當の地位信用ある人々にて、移住民は本國の移民會よりの紹介狀を齎らして此人々を訪へば、彼等は直ちに移民のために相等の働口を周旋するなり。而して必要に際しては、金錢上の助力を與ふるもあり。一八八九年該會は八百十六人の移民を世話したりけるが、一人前の費用は彼等自身の支辨を除きて二磅十志なりしと云へり。而して自ら働らかんと欲する者は何れも相當の職業を得、生活に困難を感ずるとなかりしと云ふ。其外また教會移民會社なるものあり。其目的は英國

の教職者が労働階級に關して有する特別の智識と植民地にある教職者に紹介するの便利とを利用して移民事業を行はんとするにあり。幾多の孤兒院や救貧院は此方法に由りて多くの移民を送れり。而かも此等は皆小規模の計畫たるを免かれず。此等の會合によりて送られたる移民の總數は最近の統計に據れば僅か三千人に過ぎざりき。また移民植民補助會社なるものあり。ニュー・ジブラントに四千人の人口を有する一部落を建設し、今日に至るまで労働者の資本を貸與し、また二十萬磅に價する土地を所有して、今日に於ては相當の利潤を得つゝあり。以上の外個人の經營に依る者もまた少からず。一婦人は喜望峯植民地の東部に於ける一移民地のために十萬磅を寄附したり。

移民の制度

今日迄移民歴史に於ては、渡航後新社會を作るに便利なるべき様豫め渡航者の職業を調査し、諸種の異なる職業を有するものを、適應に案排して差送ると云ふ如き組織なく自然の成行に放任し來りたるが故に、時として多數の移民が何れも大同小異の職業に従事するが如き傾向を免かれざりしなり。これに反して

若し始より一定の計畫を立て、資本金、職工、農夫、鍛工、建築師其他の職業を有する者が適當に組合されたらんには、新世界に於て直ちに組織ある一箇の社會を形造くることを得たりしなるべく、若し之に加へて醫師、教師、及び教會の教師を有することを得たらんには、直ちに舊世界に成長發達したる都市及び村落の生活を其儘新植民地に實現するを得べきなり。自然の成行に放任するも、長き歲月の間には需要供給の關係、自然淘汰の作用によりて遂に此處に達すべきは固より云ふ迄もなきことなれども、而かも之がために多大の浪費を爲すを免かるゝ能はず。人爲の政策に由り始より斯の如き計畫組織を立つることを得んには、其植民地の幸福便利云ふべからざるものあるべし。

併しながら大體上より云へば幸にして極最初の移民團體と雖、諸種の職業階級に屬するものを網羅したるに似たり。例へばジョン・スミスがその本國に書き送れる言に徴すれば、以てその當時の光景を畧ぼ彷彿するを得べし。彼は若き夫婦者にして現在よりも良き地位を得んと欲する者は植民地に來れ、また孤兒にして十三、四歳に達せる者も來たるべしと云ひ、紳士たる者に對して遊獵其他の娛樂

あるを云ひ、開墾を希望する者は愉快と利益を得べきを語り、而して凡ての人に對つて一日にして一週間に食ひ盡し得ざる程の魚を漁するを得ること、油の如き滑かなる海上を横ぎりて、嶋より嶋へ渡るの愉快の大なるを語り、然も漸く歳月を経るに隨ひ、多少の組織計畫を立て、移民する者あるに至りぬ、而して移民に組織の必要なることを最も深く公衆に覺らしめたるものはエドワード・ギンボン・ウエイフィールドなりとす。かれの名は十九世紀の植民史上に特筆大書さるべく、決して忘却さるべからざるなり。かれは植民地の經營に於て理想と實際とを結合したるのみならず、またその創意に出づる所のもの少からず、固より植民地の歴史中彼と同様の事業をなしたるもの少からずと雖、その主要なるもの一人たるなり。彼は植民經營法なる一書を世に公にせしが、其植民事業の上に新光明を與ふること最も多く、殊に南濠洲及びニュー・ジールランド植民地の建設に與つて最も力あり。世人は彼を目して、南濠洲及びニュー・ジールランド植民地の卓越せる建設者となせり。彼は夙くすでにニュー・ジールランド植民地をして加奈太のごとく責任政治を有せしむるの議決をなさんとをニュー・ジールランドの議會に提出せ

り、而して當時尙幼稚なりし南方の植民地にも之を適用せん事を主張せり。第六章に於て既に記述せしが如く、彼の目的は資本と勞力とを結合するにありしなり。而して此目的を達せんが爲には、土地を相當の代價にて賣却し、之を以て新來の勞働者を雇用するを以て最良の方法なりと思惟せり。この點に於ける彼の努力は不幸にして永久の成功を贏ち得ざりしと雖、而かも南濠洲のニュー・サウス・ウェールズを離れて獨立したる、ニュー・ジールランド植民地の創開されたる、何れもみなこの方法の賜物たるなり。また南濠洲會社、ニュー・ジールランド會社等は、この理想を實現せんがために起り、後者はウェリントン及びオークランドの二植民地を建設するに至れり。その後國教徒の一會社はカンタベリー植民地を、長老派の一會社はオタゴ植民地を打立つるに至りしが、併し此等の植民地に於ても此方法は長く繼續すること能はざりき。本國に於てはマカロック等の自然派經濟學者の痛くこの政策に反對するありて、多少の打撃を蒙り居たりしか、一八五一年金鑛熱のためにヴィクトリアに多數移民の一時に難沓するに及びてこの政策は全く破壊され了んぬ、而して植民地が自らその政策を左右するを得るに至るや、何れ

も皆此方法を抛棄し、植民地の大勢をして全く自然の潮流に任することゝなれり。植民政策に關する現代の大家サーフレデリック・ヤング曰く、余は多年の研究と熟慮と経験の結果として、ウーヰクフィールドの政策の穩當健全なるものなるを信ず。該政策の廢棄せられたるは植民地のためにも、母國のためにも、甚だ不幸のことなりと云はざるべからずと、彼が提出したる今一つの方法は、始より都市又は村落を建設するの目的に隨ひて土地を區劃し、教會、學校、病院、孤兒院、感化院等の建築地を豫め中央にトし、秩序整然として其周圍に市街を建設せんことなりとす。

今より百年以前に於てアダム・スミスは曰へり、自然の順序に隨へば、資本の大部分は勞力に付て此處に明記せざれども、彼の議論の範圍に於ては勞力は資本に隨ふものなること論を俟たずは、進歩發達しつゝある社會に於ては、先づ第一に農業に用ゐられ、次に製造工業に適用せられ、最後に外國貿易の方面に向けらるゝなり。此秩序は全く自然の結果にして、苟も多少の土地を有する社會にありては、必ず或程度迄其實現を見ざるることなしと。而して彼は此原理原則を楯とし

て近代の國家が其人爲的の政策に由り、此自然の順序を變更するを見て、不自然逆行的の順序なりと云へり。而かも之を我植民地の近代の歴史に徴するに、殊に濠洲に於て植民の初期時代に於ては斯の如きの變更轉換を許すべからずと雖少しく進歩するや否や直ちに植民地自らアダム・スミスの所謂「自然の順序」を轉換し、而かも何等の支障なく進歩發達するを見るなり。例へばヴィクトリア植民地の如き農園的産業と都市的産業と兩々相俟つて進歩發達すること數世紀の歴史を有する舊邦に於ける状態と何の異なることなきなり。

グランヴェル卿は曾て植民に關する意見を發表して、近代の植民が政治上に於て自由放任主義の盛なる時代に行はれ、多くの新植民地がその幼稚時代に於て、政府より種々の煩瑣なる保護を受けざりしとを以て、植民地に取りて大なる幸福なりしと云へるとありしが、此主張の眞理なりや否やは全く條件附にて、左の二箇の假定の肯定されたる後に於て始めて之を受け容るゝことを得べきなり。(一)此時期に於ける個人の精力と活動力とは若し政府の干涉ありたらんには忽ち萎縮し去り、現に吾人の見る如く、資本と勞力の植民地に流入するを阻止せらるゝ

が如き状態にありしこと。二時の政府は斯の如き事業に干渉するに適當の性質を有せざりしこと。是なり。ジョン・スチュアート・ミルは近代の政治家中最も自由放任主義を熱愛したる一人なりしが、植民政策に關しては全くグラングイル卿と正反對の意見を有し、政府は今一層の注意を以て植民に關することを指導するの責任ありと云へり。かれは經濟學に關する最後の著述中に於て植民事業を以て國家の干渉し得べき範圍内の事務なりとして曰く、植民地を建設するに當りて當然希望すべきことは、只だ最初の建設者の私利を増進せんがためならず、その一小植民地より將來起らんとする國民の永久的の利益のために經綸畫策する所あらんこと。是なり。而して斯の如き見地に立ちて植民地の經營に任せんことは到底私人の爲すべき所にあらず。始より百代の後を達觀するの達識と濶大なる眼光とを以て起案せる合理的立法に由て支配せられざるべからずと。然れども斯の如き性質の合理的法律が作り得らるゝや否やは固より疑問なりと云はざるべからず。若し之を期待し得られずとすれば、隨て彼の意見は其價值の多くを失ふべく、吾人はまた斯の如き法律なくして進み來れる今日迄の状態を以て滿

足するの外なきなり。

第拾章 土着人種

歐洲の植民は近代に於けるアリアン人種の運動にして、また其最後の運動ならざるべからず。何となれば既に地球上にある凡ての無人の土地は占領せられて更に餘す所なければなり。吾人が地球上最早占領すべき土地なしと云ふは、必ずしも土地なきにあらざるべしと雖、少くもアリアン人種が生活し且つその國有の性格を持續し得る土地なきを意味するなり。故にアリアン人種の發展膨脹は今や其頂點に達したるものにして、此上更に其領土を擴大するは望なきものと稱して差支なきなり。今後その人口は益増殖すること更に疑ふの餘地なしと雖、而かもその領土の境界線は限定せられたるものなりと云はざるべからず。此アリアン種族の世界に於ける植民運動なるものが、自餘の人種に對して如何なる影響を與へたりや、また何事を意味するやを論究せんは、此小冊子の能くすべき所にあらず、また本問題に對して直接の必要なかるべしと雖、その英帝國內に住するに至りしアリアン以外の人種に對する影響に至りては、此處に一言を費や

すの止むを得ざるものあり。

人種の區別

地球上に棲息する人類を概観すれば、種々の點に於ても幾多の相違の存するを發見すべく、決して單調なる同一模型にあらざるを知る。其外形より云へば、色彩、身長、頭顱の形狀、顔面の角度、機關の發達等、其他幾多の點に於て相違あり。國語、方言、心的能力、感情、性質、道德、宗教上の觀念、信仰等に至ても亦相距る極めて遠きものあり。吾人はクレオボトラの呪符と共に、無限の相違は歲月も之を腐朽せしむる能はず、習慣も之を衰耗せしむること能はずと云はんのみ。

古來幾多の人種學者ありて、地球上に散布せるあらゆる人類を適當に類別せんことを勉め、惹いて多くの興味ある研究と議論とを起せしが、其結果として今日に於ては、兎も角も或程度迄は明白に識認し得べき界線を各人種の間、に劃することを得るに至れり。併しながら此界線なるものは、甲の領地と乙の領地とを區劃するが如く、一目瞭然然たる限界線にあらざることを注意せざるべからず。固より其極端と極端との間には動かすべからざる幾多の相違ありて、何人も見誤

ることなきは云ふ迄もなきことなりとす。或有名なる人種學者は之を十一種以下に類別すること能はずと云ひ、或人は十五種、或人は十六種に區分せんと欲す。ブルメンバハの類別法は今日迄最も廣く通俗の社會に識認せられ來れり。即ち高加索人種、蒙古人種、馬來人種、銅色人種、黑色人種是なり。一八七〇年ハックスレー教授は左の五種の區分法を公にせり。即ち白色、准白色(以上の二者は密接の關係を有す)蒙古人種、黒人種、及び濠洲人種是なり。然れども斯の如き名稱は普通の用法のために不便なるを以て、吾人は今假りに左の如く人口に膾炙せる言語を用ゐんと欲す。而して其類別の主意に何等の相違なきは云ふ迄もなきことなりとす。

アリアン人種

(A)スカンデネヴィア人等の如く皮膚の色白く、毛髪の色淡きもの。

(B)印度の貴族の如く、皮膚の色黒味を帯び、毛髪の漆黒なるもの。

此等の人種は現今愛蘭土よりガンヂス河に至る間に住す。其南方の限界線はサハラ砂漠と印度洋なりとす。

蒙古人種

ラブランドより暹羅に至る間に住す。馬來半島及び附近の群島中に相異なる種族あり。太平洋諸島には實に幾多の種族あり。また亞米利加にも他の種族あり。

黒人種

中央及び南アフリ加を其根據とし、東方群島中にも諸種の種族あり。

褐色人種

印度の最初の住民、濠洲の野蠻人、而して恐らく埃及人及びヌビア人も此内に包含せらるゝならん。

皮膚の色の相違を以て人種の區別を識別せんことは頗る記憶に便利なる方法にして、また能く前述の區別法に相當するなり。即ちアリアン人種は白色、蒙古人種は黄色、ネグロは黒色、今一は褐色なり。而かも斯の如くすれば印度人の置場に困却せざるを得ず。彼等は他の黄色、褐色の人種よりも歐洲人に近似せるものなれども、さりとて彼等を白色なりと云ふは聊か滑稽の感なき能はず。

以上の色彩形状に據る人種の區別法は、また言語の根本的組織を研究比較して得たる語尾の變化する者、單綴音なるもの、及び語幹に基する者との區別に大體に於て相合するを見るなり。

人類の一元

其皮膚の色、身體の形状若くは言語の點に於て種々の相異あれども、而かも畢竟するに人類なるものは、何れも其根本に於て共通の點を有するものにして、同一社會の屬員なること決して疑ふべきにあらず。世の多くの人類學者は何れも人類の同一祖先より出で來れる者なることを主張しつゝあり。人類は種々の異なる本原より出で來れりとの説は、曾て或時期の間相應に勢力を有せしが、左の二箇の事實の明かにせられし以來、全く其根據を失ふに至れり。(一)地質學の進歩の結果、人類の地上に始めて現はれ出でしは、從來人の信せしよりは遙かに長き以前なること明かになり、隨て同一始源より出でし人類が今日の相違を呈する迄には頗る悠久なる歳月を経過せしこと、の明かになりしこと。(二)種の進化が凡ての博物學上の中心點となりしこと、是なり。こゝに於てかダーウィンもブルーマン

バハ及びブリチャードのごとき舊來の人種學者と共に人類の同一祖先より出で來れるを主張するに至り、佛蘭西の有名なる人種學者カートルフアージュもまた堅くその説を信じ、ダイヤラー博士は之を以て今日の人類學者間に於ける通論なりとせり。アダム以外の人類の存在せしことありや否やは、今日と雖、尙一の疑問に屬すれども、カートルフアージュ氏は謂へらく、地質學上の第三期第四期に屬する時代に於て、人類なるもの存在せしとするも、今日吾人が見るがごとき人類なるものは同一所より起り、恰かも鉢より水の溢れ出づるが如く、世界の四方に蔓延繁殖せしならん。人或は其間に大洋の如き至大の障害物の横はるに關らず、未開の蠻人が如何にして四方に擴がりしかを疑ふものなきにあらずと雖、これに關しライエル氏は次の如く云へり。人類が悉く亡び失せて唯だ一家族のみ残り、彼等は濠洲に於ける新大陸の洋上、若くは太平洋の珊瑚嶋上に置かれたりと想像せよ。其文明の程度はエスキモー或は南洋土人の夫れ以上に昇らざるとするも、其子孫は必ずや歳月の經過するに隨ひ、あらゆる自然の障害物を超へて、地球上到る所に侵入蔓延せんこと決して疑ふべきにあらずと。而して此共同の祖先が

亞細亞洲内の何れかの地方にありしと云ふことは殆ど衆説の一致する所なりとす。人類は地球の地質的地理的情態が未だ現今の如くならざりし以前既に存在せりと假定し、若しその當時の熱度が現今に比し甚だ高度なりしとすれば、遙に北方にありしなるべく、若し現今の熱度と大差なかりしとせばヒマラヤ山とアルタイ山の中間なる高原の地なりしと想像するを得べし。吾人は今日此高原の附近に四種の根本的に相違せる人種の雜處するを見るべく、また其周圍に三種の根本的相違を有する言語あるを見出し、また原始時代にありしと同様の家畜類の同地方より出づるを見るなり。

若し現今地球上に生存せる全人類を拾三億——これ實際の數より遙に少からん——と假定せば、アリアン人種と蒙古人種とは各六億を占有し、黒人種は八千萬、褐色人種は約一千万なるべく、其外南北亞米利加に於ける雜種及び黒白の雜種の如き近世に至りて始めて現はれ出でたる雜種の數恐らく二千萬に達するならん。

吾人が膨脹の途上に横はれる他の人種

一四九二年以來歐洲人は南北亞米利加及び濠洲の地方に膨脹發展し、既に他の種類の占領住居せる地方に侵入し、其住民の大部分は他人種に屬し、今後亦其情態を持続すべく見ゆる土地に於て政柄を握るに至りし結果、歐洲人は世界のあらゆる人種と接觸交渉するに至れり。而して今日迄の經過に據れば、彼等を絶滅するか、彼等を服従せしむるか、或は彼等と混交するかの一を以て了れり。

歐洲大陸國民の發展

前既に記述せる如く、西班牙人は其植民運動の始めに於て西印度諸嶋の土人を根絶せしめたり。發見の當時に於てハイチの人口には百萬乃至三百萬人なりしが、十五年の後には僅かに六萬人に減少したり。これ殆ど信すべからざることなれども、而かも歴然たる事實なり。然れども中央及び南亞米利加のモンゴロイド人種に對しては、西班牙人及び葡萄牙人は全く之を服従せしめ、また或程度迄は之と雜婚したり。カートルフアイジ氏は墨其西哥及び南亞米利加に於ける歐洲人と土人との雜人は全人口の五分の一に達すと謂へり。葡萄牙人は阿弗利加及び印度の土人と盛に雜婚せるは人の知る事實なりとす。

移民に關する佛蘭西人の運動は何れの方面に向つても何等大なる影響を及ぼさず。彼等はアルジェリヤ、タヒチ及びマダガスカル等を所有すと雖、何れも近代の出來事に係り、未だ特に注意を拂ふべき結果を生ずるに至らず。要するに今日までの結果に徴すれば、その影響は西班牙人の夫れと大に異なる所なきに似たり。羅甸人種の常として容易く他人種と混交して雜種を作るの傾向あり。和蘭人は他のチートン種族と同じく容易に他の人種と交混せず。喜望峯植民地に於て、かれ等は黑人種森林に住める蠻人、ホッテントト人等を混交せる黄色人種及び褐色人種と接觸するに至れり。此等の黄色人及び褐色人は其混交の結果として、體軀は萎縮し、品性は墮落し、頗る劣等の種族となり果てたる者なりしが、和蘭人は之を虐待して、遂に根絶するに至れり。和蘭人の彼等を見る怡も舊約時代のイスラエル人が迦南人及びヒテ人に於ける如く、全く基督教國民と没交渉の者なりとせり。されば和蘭人が彼等に對する行爲舉動は悉く此信仰より出でたる者にして、其一例を云へば一八〇三年ギアナにありし二箇の教會の門前には「奴隸と犬入る可らず」との掲示ありき。然れどもジャバに於て彼等は「約束の土地」

に永住すると云ふよりも他に目的を有せり。即ち彼等の目的は土人の勞力を利用して、大に産業上の利益を開招せんとするにあり。而して彼等は略ぼ其目的を達し、同時に其土人を益することまた尠少ならざりき。而かも最初の間は容易に其目的を達する能はず、幾度か失敗を重ねたる後、漸くにして多分の成功を贏ち得たるのみ。初代に於ける和蘭東印度會社の管理法は甚だしき不結果を來したるを以て、今に至る迄和蘭人は壓制の組織を非難するに於て、吾人英國人と其意見を同うするに至れり。今日彼等がジャバに於て實行する方法なるものは、自由制度と負債主義とを巧に結合せるものにて、其結果大に稱讚に値すべきものあり。一方に於ては彼等は土人の會長に地方的の政權を分與し、明かに土人の地方政府を承認しつゝあり。例へば都市村落に於ける衛生事務の如きは全く地方的政務に屬す。然れども又土人に於ては決して和蘭人と土民との同權なることを認めず。土人の會長と人の婢僕たる歐洲人との結婚すらも許可されざるのみならず、之が許可を請願する會長あらば嚴責に附せらるゝなり。歐洲人たるものは如何なる事情ありとも、土人會長の婢僕たること能はず。歐洲人たる水夫若くば

兵士が公衆の面前に於て亂醉することあらば直に艦内若くは兵營内に監禁せらるべし。これ實に民主的國民に由りて、純然たる貴族主義即ち東洋主義の實行されたる顯著なる一例なりとす。而してまた和蘭人は其土民に對する教育、宗教上の責任を認識することなし。彼等は英國の印度に對する政策を以て自殺的政策なりと評するを常とす。こは固より和蘭人はジャバ人の爲めのジャバなることを認めざるがためにして、吾人と全く其觀察點を異にせり。

英國の發展

植民事業に於ける英國の發展は、他人種に對する歐洲人の交渉に關する經歷中首位に位すべきものなり。殊に獨逸人の所謂「自然人」に對する場合に於て最も然りとす。商業上に於て支那、日本及び印度とモロツコの間にある波斯、亞刺比亞の諸民族と交渉接觸したる事歴を除き、吾人英國人は世界人種のあらゆる支族を其國旗の下に持ち來せり。

印度に於ては其半嶋と錫崙嶋とに於てアリアン人種と他の雜種族を支配するに至りしが、これ實に英國の發展中の最も顯著なるものにして、其成績もまた甚

だ見るべきものあり。第五章參看。若し英國人にして其國家の體面を思はゞ過去に於て未開民族に對して爲したる不當の行爲を斷然廢せざるべからず。而して印度に於ける善政の結果が能く其廻轉期たるを得ば、吾人と印度人との接觸は過去に於ける吾人の不名譽を拂拭するのみならず、また世界の諸民族に對して大なる幸福を頒つことを得べきなり。

西部阿弗利加の黑人種

英國人は阿弗利加の西部と南部の兩方に於て、黑人種と關係交渉をなせり。

西部阿弗利加の黑人は純粹なる黑人種の模型に屬す。彼等の特徴は縮れたる毛髮、厚き唇、平なる鼻等にして、此等の特徴を備へたる肖像畫を見る者は直に吾人が始めて黑人種と接觸するに至りし、ギニア海岸の模型的黑人種なることを知るべし。英國人が彼等と接觸關係するに至りしことは、彼等に取りて甚だ不幸なる出來事にして、彼等は之がために悲慘の境涯に沈淪するに至りしなり。其地に設立されたる白人の貿易商社は、忽にして奴隸賣買の市場となり、種族間の鬭争に依り擒にせられたるもの、又は會長等の貪慾のために捕へられたる無告の黒

人種は此市場に於て牛馬の如く夫々の値段を以て奴隷に賣られたりき斯かる行爲の繼續すると實に二百五十年間に涉りしが一八〇六年に至り始めて時勢の變動起り英國政府は巡洋艦を派遣して奴隷船を逮捕し而して虎口を逃れたる奴隷にして住むに家なき者等の爲シセラレオネを以て其住所を定めたり。十九世紀中再び此等の地方に貿易商會の勢力を揮ふに至りフリータウン、ケーブ、コースト、キャッスル、ラゴス等の地はギニヤ貿易の人口となり、その他にも海岸に沿へる黒人部落中更に重大なる市場たらんとせるものあり吾人と黒人との交渉歴史中には種々の興味饒き問題と事實とあり。

第一以上の地方に於て英國人が強烈なる酒類を販賣せるに對し多くの旅行家は手痛く之を攻撃しつゝあり而して往々にして其害毒の恐るべきは奴隷の害毒の恐るべきに勝るとさへ謂へるものあり實際之を目撃したる者は只だ之を聞知したる當時よりも一層の熱度を以て之を攻撃し而して之に對し有力なる反證なき限りは吾人は不幸にして其事實を認めざる能はず。然れども此處に一言の附加すべきは英國人の行爲は固より許容すべきにあら

ずと雖而かも歐洲列國民の同一地方に於て爲せる行爲中の最惡のものにあらざることをこれなり。葡萄牙和蘭獨逸等の貿易會社の爲せる所は更に甚だしきものあり彼等は商業上の劇烈なる競争のため土人に對して全く人情を無視したる殘酷の舉動を恣にしたりと稱せらる。

種 人 着 土

(361)

第二シセラレオネの植民地に於ける黒人種と文明化せんとする英國人の企圖は大體より云へば決して成功なりと云ふべからず英國人の爲せる所を約言すれば彼等は未だ其程度に達せざる種族を捕へて強て歐洲人の皮相を模倣せしめんとしたるに止まれり固より多少の例外は之なきにあらず然れども此くの如きは一般國民の列外に飛び離れて進歩しつゝある者なり彼等を以て全體の標準となすべからず其大多數は纔に其外皮に文明の扮飾を施したるに過ぎず依然として沐猴の冠するものゝみ元來模倣的の文明なるものは模倣的の道徳と等しく中の空き葦の如く大切の場合に際し直に折れて却て之に憑りかゝれる者の手を刺さんのみ英國傳道會社は遂にシセラレオネの土人教會に清潔法を施行するの必要に迫らるゝに至りぬ。ヴァールスレー卿は若し白人が一度其植

民地を去りて、黒人の自由に放任せんか、其大多數は以前の野蠻なる状態に復歸し、西海岸到る所の市場に於て人間の犠牲の供せらるゝを見んと云へり。リベリヤに於ける亞米利加の自由植民地は吾人の植民地に比すれば多くの成功を得たるに似たり、今後の成果に至りては、一に歲月の経過に俟たざるべからず。或は全く以前の野蠻に復歸することなしとも斷言する能はずと雖、而かも何等かの良結果を來すべしと信するものも少からず。假令吾人が希望したると同様の結果を期待し能はざるにせよ、以前の状態に比して多少の進歩をなすべしとは、決して架空の希望のみにあらざるべし。

第三、亞米利加及び西印度諸嶋に於ける黒人等が他より受けたる、又他に及ぼしたる影響に就てもまた一言する所なかるべからず。固より種々の相異なる議論あるは免かれざれども、而かも公平なる觀察者は彼等の今日の状態を以て阿弗利加にある同族に比して殆ど比較すべからざるほど高程度にありとするに於て相一致せり。彼等が吾人の社會に棲息するの故を以て吾人はアリアン人種の標準を以て彼等を律すべきにあらず。また其經過したる時間と進歩の度合とを

較量せざるべからず。また其奴隸として生存し來りたる間の彼等の生活なる者が如何に卑賤にして、悲惨なる者なりしかを一考せざるべからず。如何に國會に議決されたる一法律が一日にして彼等の身分を一變したりと云ふと雖、年來財産として待遇され來りし人間が忽ちにして勤勉にして責任を重んじ、向上心を有する獨立自尊の人物たるべしとは期待すべからず。マーチンク及びグワデループを訪ひたる人々の感想や、英領西印度諸島の土人生活を見て世界に於ける最幸福の農民なりと云ひしフルード氏の觀察をもつて、ハイチの黒人共和國の情態に就て悲觀の念を禁じ得ざりしサー・スペンサー・セント・ジョンの意見に比すれば、蓋し思ひ半に過ぐるものあらん。而してハイチに於てさへも、(一)迷信的殘酷の所業の行はるゝは遠遠の邊境に止まること。(二)模倣の爲めに誤謬に陥入れるは政治上の模倣なるを見るなり。彼等の模倣に關しては多くの笑ふべきことも、悲むべきこともあるに相違なしと雖、而かも事物の真相を達觀するものは、彼等のより善き者を求むるの努力と其熱心なる向上心に對して深き同情を拂ふを禁じ得ざるべきなり。願くは吾人をして今一度、諸聖徒日の出來事の起る

を待たしめよ。黑人種の中に會て斯の如き人物ありとせば、誰かまた復び斯の如き人物の崛起することなきを斷言し得るものぞ。

米國南部諸洲の土人等は、黑人問題は未だ解決せられずと云ふを常とするが、黑人自らまた斯の如く云ふや如何。一方の言のみ聞きては決して事實の真相を看破し得べきにあらず。白人等が黑人に對する舉動は頗る偏頗にして吾人の有する材料も果して多少の價值あるものなるや否やを知るに苦まずんばあらず。黑人種は亞米利加に於て社會に最も勢力を有する組織結合の中に入ることは能はず。此點に於て彼等が現状を打破するにあざれば、彼等は永遠に白人に對して從屬的地位に立つの外なきなり。奴隸廢止を主張したる人々は必ずこれに依り善良の結果を生せんことを期待したれども、合衆國に於て奴隸廢止の斷行されたるは、近年のことに係るを以て吾人は未だ其結果を評論するの時期に達せざるなり。

南阿弗利加の黑人種

西部阿弗利加の土人は純粹なる黑人種なれど、東部及び南東部の土人は然らず。

其血管中に多く亞刺比亞人の血液を混するもの、如く其結果として、身體に於ても精神に於ても他の黑人に比して大に堅實の質を有するに似たり。近代に於て喜望峰植民地の内外に於て種々のカフール種族と接觸せし歐洲人は、彼等の如何なる種族なるか、その性質の如何なるか等に就て、畧ぼ其真相を確むるに至りぬ。英國人が此等の地方に侵入を試むるに當りて、彼等は頑強なる抵抗を試み、容易に屈從せず、屢、非常の激戦となりて、英軍の惱まざるゝこと甚だしく多大の損害を蒙むりたりき。現代に於てもかのツールス種族の如き、勇敢無比にして頑強なる隣人として、歐洲人の畏怖する所となりつゝあり。

然れども南阿弗利加に於けるカフール及びツールス種族に對する吾人の戰鬥行爲も今や漸く其終末に近づき、産業時代の曙光の耀き始むるを見る。彼等が勞働者若くは小農として、安全幸福なる生活を營むに至らんか、固より多くの歐洲人殊に英國人中には斯の如き希望ありと云ふことを信せざるものあるべし。ナタルより來る音信に據れば、ツールス人の侵入のため植民地の殘害さるゝこと今尙屢々これあり、彼等の或者は全植民地を棄て、ツールス人に委するの外策な

しと信じつゝあり、喜望峰植民地に於ける和蘭人の多數は此等の土人に進歩ありと云ふを認めず、而して英國人の之に同意するもの少からず。夫れ然り、然りと雖、これ畢竟するに楯の一面のみを見る人の言なり。試みに他の方面を観察せんか、彼等は歐洲人が劍と銃とを以て之に對する時は、容易に之を屈伏すること能はずと雖、一度その劍を脱し平和の使者として、彼等の友人として之に向はんか、彼等は吾人に抗敵せざるのみならず、却て之を歓迎し、愉快に吾人と共に生活し、共に勞働に従事するを見ると云ふにあらずや。これ彼等に取りて歐洲人との接觸は、彼等の身體精神を傷害するの結果を來さざることを證明するものにして、問題の解決に對つて一大關鍵を與ふるものにあらずや。而して新地方の開拓するに隨つて、ベチアナランド、マシヨナランド、トランスバール、及びオレンヂ等の地方が鐵道に依て連結され、而して一方大洋と歐洲大陸との連絡を得んか、歐洲の資本と企業家は滔々として流入すべく、而して強壯なる土人はその勞力を供給するに依りて歐洲人を益するのみならず、その自己の生活情態を改善するに於て大なる便宜を得んと必せり。彼等に比すれば寧ろ希望少き同種族のパーベ

ードス及びマーチニクに於て表はしたる結果に由りて之と判斷すれば、彼等の將來に就ては殆ど疑惑を挿むの餘地なきなり。

されどブシメン及びホッテントット人に至ては、その根絶に歸せんこと疑ふべきにあらず。歐洲人が故意にかれ等を迫害窘逐するが如きことなしと雖、かれ等は到底歐洲人と接近して生存するに堪えざる種族なりと云はざるべからず。歐洲人の近づくに隨ひて、かれ等は歩一步内地に退き去り、而してその退去する毎に生活状態は益々悲惨に陥り、その人口の減少を來しつゝあり。

之を要するに南阿黑人の多數は、歐洲人の侵入に由りて、其生活状態を改善するの機會を得、其幸福を増進するの結果に達したりと云ふことを得べし。彼等の過去の歴史、關係連絡なき種々の出來事をも歴史と云ひ得べくば、(之)を見れば、種族を擧つて斷えず漂浪し、其住所を變じ、征服し、また征服せられつゝ、歲月を送りたりしなり。歐洲人の彼等と接觸して、其文明の光輝を被らしめたるは、彼等に取りては一大福音にして、決して滅亡の宣告にあらざるなり。

北米の土人

歐洲人は北米土人を當然彼等が世界の人類中に占むべき地位よりも一層高く買ひ被れるものゝ如し、亞米利加には銅色人種の外、西はスカンデネヴィアより、東は亞細亞より漂流し來れる他種族あり、南北何れに到るも、白人の性質を有せる一團の種族の此處彼處に發見せらるゝあり、かの銅色人種なるものは、比較的新時代に於て他より移轉し來れる者なるが、歐洲人が米國に於て接觸したる土人の主體は彼等なりしなり、彼等を赤色印度人と呼ぶは、頗る不當の名稱なれども、今なほ改められず、人種の上より云へば、彼等は蒙古人種と酷似せり、彼等が亞米利加に來れる年代に就てはこれを詳かにするに由なしと雖、兎も角も歐洲人が始めて亞米利加に渡航したるときに當りては、北の方セントローレンス河より南はミスシッピ河に至るの間、到る處彼等を見出さ、いはなかりき、産業上に於ける彼等の程度に就きては歐洲人の意見區々として一定せずと雖、彼等を以て狩獵時代の程度にありとするものその多數を占めたり、彼等が牧畜を事とせざるは明白の事實にて、彼等は野牛の狩獵に熱心すれども、同時に幼稚ながらも農業の幾分を解するに似たり、彼等は唐黍煙草等を栽培し、また粗笨なる陶器を作

ることを知れり、或種族は村落即ち墻壁を廻らしたる定住の場所を有すれども、而かもその家屋は他に運搬し得べき掘立小屋に過ぎず、彼等は農業を解すと云ふと雖、而かも土地を耕作するの術を知らず、其男子が野獸の跡を追ひ若くは戰鬥に従事して外にあるに際り、婦女子が内職として林中の空地に唐黍其他の野菜を蒔くに過ぎざれば、之を以て農業時代に達せりとするの不可なるは云ふ迄もなきことなりとす。

歐洲人と米國土地との交渉の順序は、必ず左の如き經過に終る、即ち最初は平和的關係にて萬事圓滑に進み行き、賣買契約行はれ雙方の間に好意あり、次で更に新たなる土地を得んと欲する白人等の其契約を破棄することあり、また土人の側に於ては其種族に於て讓與せんと契約したることを眞に了解せざりし場合あり、而して之を了解するに迫りて之を實行することを肯んせざることあり、是に於て往復談判となり、感情の衝突となり、彼等の植民地に對する襲撃となり、虐殺となり、幾多の苦戰惡闘となり、而して其結果は常に彼等の一層奥深く内地に退却するに終る、然れども彼等は容易に敗退するものにあらず、其これあるは

刀折れ、矢盡き、百計窮りたる後のことなり。されば歐洲人と土人との惡戰苦闘の歴史は實に百五十年の長き間に涉り、新英洲の政府が懸賞を以て土人の首級を求めたるは實に一七五六年迄存在したるほごなりき。獨立戰爭の破裂して、植民地の戈を執つて英國政府に叛くに當り、土人等は英國側に與みしたり。これ固より彼等が英國に對する好意に出づると云はんよりは、寧ろ移住民を惡む心の甚だしかりしがためなりとす。そは兎も角も今日に至るまでジョージ王の軍隊、英國の軍人は己が味方なり、友人なりとの傳説は今なほ彼等の間に存するなり。戰後北亞米利加の天地が英國と合衆國の間に分割さるゝや、土人の各種族はまた同一體の人種として存在する能はざるに至りぬ。

加奈太の北米土人

佛蘭西人に對する所置は、合衆國に於ける英國移住民の夫れに比して大に温和親切なりしものゝ如く、夫れがため加奈太に於ては白人と土人との開拓は頗る好意的の關係にあり、殊に幸なるは加奈太が英國の所領となるに至りて後迄も此好意的關係の變せざることなりとす。加奈太に於ける北米土人の概數十萬人

あり(全人種の四分の一より多し)彼等は一人毎に政府より相當の補助金を得つ。彼等のために特に保存されたる土地に於て農業に従事するもあり、或は今尙ホドソン灣會社が貿易に従事せる地方にありて、毛皮を得んがために狩獵に従事するものあり。何れも現狀に満足し居れり。一八八五年ライエルに率ひられて雜種族佛蘭西人と米國土人との雜種(の反亂を企つるありしも、他の土人等は更にこれに對て同情を害することなかりき。一八七四年タスカローラに於て、ダフリン卿は土人の六種族の酋長等に對して左の如く語りたることあり、太西洋岸より太平洋岸に至る土人の各種族間に於て、加奈太なる稱呼は信實慈仁若くは好意的待遇と云ふと同意義に解せられつゝあるの事實を發見せりと。而して彼は殊に佛蘭西人より學びたること疑ふべくもあらぬ一の方法、即ち丁重に酋長等の權威を認め、彼等自身の種族的組織を繼續せんことを獎勵することを以て最も宜しきに適したる賢明の方法なりと稱揚せり。

合衆國に於ける米國土人

之に反して合衆國に於ける土人の境遇は聊か平和満足の状態を缺けるものあ

るに似たり。合衆國政府は彼等の待遇に意を用ひ種々の方法を講せしが、殊に白人が彼等の居所を侵犯せざらんがために、彼等のために特種の地方を設け、之を彼等に分賦せり。然れども白人種増殖の勢は滔々として停止する所を知らず、漸次彼等の地方を壓迫し來り、政府の計畫も全く空文に歸するに至れり。彼等は到る處に氾濫し來り、政府の權力の充分に行届かざる奥深き内地、若くは邊陲の地に至りては、遠慮會釋もなく之を占領し去り、甚だしきに至りては彼等の部落を襲ふて之を逐放することすらありと云へり。これ實に個人の權力が其自ら打ち建てし政府に對して餘り強きに過ぐる好適例にあらずや。一八七二年に至る迄の間に、白人か土人に對して結びし契約の數は無慮四百内外に達すれども、殆どみな米國人は之を破棄し去り、殊にその多くは契約書の墨痕猶未だ乾かざるに夙く既に之に違背して顧みざるごと一片の廢紙に異ならずとは現に一米國人の自白する所なりき。而して斯の如き事態の行はるゝは、其主因一に政府の無力に歸すべし。契約を履行せしめんと欲せば軍隊の力を藉るの外なければども、民政なるを以て其自己の利益に反對することのために、軍隊を動かすが如きことを

敢てすべくもあらざるなり。斯の如くにして移住民は到る處に膨脹氾濫し、起伏せる丘陵も相連なれる廣原も地方となり、洲となり、而して憐むべき主人は何れへか追ひ拂はれ、其水牛は影を藏すに至りしなり。

斯の如き事態に對して何事も爲し能はざりし歟。十七世紀ニューアムステルダム(新紐育)に於ける和蘭の一小植民地に於てすらも、土人に對する政策に關して二箇の反對黨の起るあり。一は懷柔派にして、忍耐と親切と信實とを以てこれに接すれば遂には彼等を感じ化して平和の民たらしむるを得べしと信ずる者。一は武斷派にして、彼等を絶滅するにあらざれば到底平和を期待する能はずとする者。これなり、ペンシルヴァニアの移民は始より最も高尚なる主義を有し、土人を見ること同胞の如く、一意専心誠實と親切とを以てこれに對せんことを勉めたりしが、他に於けるが如く、多く血を流さずして其植民地の發達を遂げたるを見れば、他の地方に於て起りし多くの不詳なる出來事は必ずしも不可抗の事情にあらざりしを知る。加之今日の現存する或種族等の情態を見れば、吾人は土人等の側に與みせざらんと欲するも能はざるなり。ゲロキ種族は今や農業と牧畜

を業とし、年額七萬弗の費用を投じて幾多の學校を維持し、一箇の新聞紙を有す、彼等はまた私有財産を有し、其人口もまた相當の比例を以て増加しつゝあり、而して彼等は之に隣接せる白人等より輕蔑さるゝことなきなり。かの有名なるイロクオイフ同盟の最後の生存者なるオネイダス種族は今もなほニューヨークに眷戀し、白人の同様の生活を營みつゝあり。ラスロップ氏は曰く、彼等は節制勤勉にして、且つ基督教徒なりと。

北米合衆國に於ける土人の概數は二十五萬人にして、其多くは百箇内外の彼等の特有地に散在し、他の一萬五千人程は白人と雜居しつゝありと云ふ。

而かも第一、彼等の特有地が全然占領さるゝまでにはなほ遠遠にして多くの歲月あるべきこと、第二、合衆國の政府は以前に比すれば大に權力を有するに至りしこと、第三、加奈太に於ける毛皮の狩獵が今後も長く彼等に許與さるべきこと、等の條件を考ふれば、彼等は將來もなほ其生存を持續するの機會を有するものと云ふべく、假令亡滅に歸することありとするも、夫は頗る遠き將來のことなり。

と云はざるべからず。ロツは土人中の一酋長の言なりとして、彼等の生活狀態の白人に比して困難なる事情を左の如く描出せり。曰く、白人の穀物は速かにその收穫時に達するに反し、彼等の食物(野獸を指す)は其成長迄に三十ヶ月を費さるべからず、穀物は其蒔かれたる土地に留まりて逸走することをせざれども、我等は二本の足を以て四足を有する動物を追はざるべからず、穀物は百倍の收穫を招致すれども動物は然らず。これ白人等が我等に比して多くの子を生産し、而かもよく長生する所以なりとす。されば狩獵者が其心を決して種子を蒔くにあらざれば、かの種蒔の人種が肉食の人種に代らんこと必せりと。此土人哲學者の言の如く、若し斯の如き經濟的變化が根本的必要條件なりとせば——而して誰れか然らずと云ひ得るものぞ——彼等人種は永續の希望あるなり。然れども吾人の見る所を以てすれば、彼等は只だ其血液を除くの外また古の赤色印度人にらざるに至らん。彼等が世を去る迄に、彼等の職業と希望とは今日彼等が有する所の者と全く異なるに至らん。然らざれば、彼等は漸次白人に近き者となり、混合種族中の一元素として吸收せらるゝに終らん。

マオリ種族

赤色印度人を觀察して此處に至れば勢ひ之と相似たる好戰的にして逞しき體格を有する今一つの種族のことに想到せざる能はず。ニュージランドのマオリ種族これなり。彼等の皮膚は黒色なれども黒人種にあらず。ポリネシア人なり。即ち黄色、黒色の外恐らく褐色人種の血液の混せる雜種なりとす。彼等は其故國を防禦せんがために非常の勇氣を表はし、彼等に取りて名譽ある平和をなせり。英國のニュージランドに對する政策はこれを大體の上より云へば、正直なりと云ふを妨げず。最初の太守ホブソン大尉は彼等の所有權を承認し、彼等との交渉事務に關しては條約を訂結し、而して彼等を以て英國女皇と直接に交渉する者と見做せり。一八四一年に於けるウエータンジの條約はかれ等の位置を確定する大法典なれども、而かも不幸にして流血なしに問題を解決すること能はざりき。マオリ人等は條約に於て彼等が讓歩したる事件を認めず、また其酋長等が其土地を永遠に他に讓與するの權あるを認めず、斯くてマオリ戦争となれり、而して其結果は避くべからざる當然の結果のみ。彼等は英人若くば蘇國人が土地を使

南 洋 土 人

用する如く、之を使用する能はず、ために之を見棄て去らざるを得ざりき、今や彼等は北の島に住せるが、其人口に四萬人内外なりとす、而して今は其土地にありて平穩無事の日を送りつゝ、あれども、人々は減少しつゝあり、これ決して英國人の行爲に關係なく、自然の勢に依り衰滅せんとするは彼等自身もこれを認むるに吝ならず、彼等がニュージランドに移住し來りて以來、恐らく四百年に滿たざるべしと雖、彼等は全く四圍の情況と同化するに至りぬ。然れども英國人の來たるに追びて彼等の上に大なる變動は起れり、彼等の草は我等の草に負け、彼等の鼠は我等の鼠に負け、其四周にあるものは皆新來者のために敗られたり、最後に彼等自身が去らざるべからざるは到底免るべからざる運命ならん。然れども若し彼等にして奮起するの志あらば、彼等が得たる新文明は彼等を助くべく、其衛生の組織もまた彼等の状態を改善することを得ん。然れども彼等が失望の地位より起つて再び勇氣を鼓舞するに至らんことは思ふに空望に屬するならん。

フィジーに於ける吾人と土人との接觸は、最初箇人的關係を以て生まれり、かれ等

を文明化せんとする宣教師等の努力は大なる成功を贏ち得たり、土人等は他の諸外國に對して己れを防禦せんがため自ら進んで吾人の保護を求むるに至れり、而して吾人は直轄植民地として、彼等を支配することゝせり。

ニューギニアに於ける吾人の保護政治は今や正に開始されたるばかりなり、政府は不規則なる白人の移民に對して全然土人を保護せんことに勉め、現今に於ては歐洲の移民を招致せんよりは寧ろ土人の利益を計るを以て念としつゝあり、これ寧ろ白人の土人に對する秩序あり、思慮ある行爲と云ふべきなれ。

濠洲土人

以上吾人は幾多の未開土人に就きて觀察し來りたるが、尙二箇の研究を要すべき種族ありて存す、而して英國人の此等二種族に對して爲せる所業は人類の歴史上拂拭すべからざる英國の恥辱にして、吾人が今茲に斯の如き事歴を叙述せんとするは大なる苦痛たるを免かれず、濠洲大陸に棲息せる蠻人は固より文明人の眷顧を惹くべき何等の資質をも有せず、また將來永く濠洲社會の要素たるべく發達せんとする一の光明だも發見し能はざるは事實なり、彼等は世界の人

人より人類以外の動物なるかの如く見做され、禽獸同様の待遇を受くるに相當するものと思はれたり、白人の彼等に關係せる歴史は、宛然赤色印度人に對せる歴史を繰り返へすに似たり、其相異なるは彼にありては往々ローマンチックの出來事ありて、流血の歴史中にも尙一片の人情の發動するを目撃する事ありしに關らず、此に於ては全く斯の如き出來事を缺きしにあり、濠洲の蠻人は褐色人種に屬す、彼等は其北隣なるニューギニアのロービアン種族とも、又その南隣なるタスマニア人とも異なるを以て、ハックスレー教授は彼等を以て一箇特別の人種とし、これを濠洲人種となせり、然れども濠洲大陸中悉く同一種族の棲息するにはあらず、地方の異なるに隨ひてその種族もまた異なれり、彼等の或者は殆ど阿弗利加人に近く、東部の或者はポリネシア人に近く、北方にあるものは馬來人種に近し、彼等を以て地球上にある全人類中の最も程度の低きもの、恐らくその最低のものなりとするは決して根據なきことにあらず、何れにしても、彼等はブシメン及びホッテントット人と弟たりがたく、兄たりがたき地位にあるは争ふべからず、然れどもかれ等を以て、全く人類の性格を有せずと斷言するは甚だ偏頗の

見にして、正當の觀察と云ふべからず、公平無私の地位に立てる門外者は決して斯の如き斷言に同意することなかるべきなり。カートルファージ氏その人種論四百五十三頁に書いて曰く、余は濠洲人に關するこの問題に筆を染むるを好まず、而かも止むを得ざるなり。地球上の如何なる部分に於ても、歐洲人が劣等種族に對して殘虐を恣にせること、未だ曾て濠洲に於けるが如く甚だしきものあるを聞かず、また何れの處に於ても自ら掠奪し、追放し、絶滅したる人種に對し、爾かく大膽に罵詈誶謗を逞ふするものあるを知らず、彼等の見る所に據れば、濠洲人は人間にあらざるなり。彼等は人間の表はし得るあらゆる悪性惡徳を以て満たされたる動物にして、其惡徳中の一つにても其同類なる猿猴をして之を聞かしめば、彼等と雖必ず赤面すべしと、パツラー氏は云へり。濠洲に於てその新運命を開拓せんとして努力せる、かの罪囚等に對し土人を惡言せる惡名は高尚の精神を有する者の信せざる所なり。斯かる惡言者が情熱に激し、あらゆる惡意を持ち、一方には理論の基礎を有するが如き議論に依て、之を證明するあるとも其歸する所知るべきのみ、即ち罪囚移民に對し媚びる處あればなり。左れば濠洲及びタヌ

マニヤに於ける經驗の結果は既に明かなり。若し其委曲を詳かにせんと欲せば、ダーウキン及びブチーツアールは勿論各國旅行家の實見に徴するを以て最良の方法となすに至れり。

濠洲の土人が全く人類の性格を有せずと云ふが如きは曾て廣く世上に流布せられたる臆說なれども、今は其虛妄の言なること天下に知れ渡るに至りしのみならず、左の如き事實は争ふべからざる事實として認めらるゝに至れり。即ち彼等は家族の組織を有し、其全種族を幾多の支族クランに分割し、而して今日に至る迄其分割の理由を記憶し居れり。彼等は記憶に由りて其土地を分割し、而して其境界を嚴守することを知れり。彼等はまた獨木舟を刳り、長尾驢の抵抗力に堪ゆるを得べき程の網を作ることを知れり。サー・ジョン・ラポックは典據たるべき幾多の記録に信頼して、かれ等は宗教上の信仰または習慣を有せずと斷言せしが、カートルファージ氏はサー・ジョン・ラポックとその典據とせる人々の書物を讀みたる後、他の典據たるべき人々の所説を紹介せり。その言ふ所に據れば、濠洲人は宇宙の創造されたるものなるを信じ、神に向て祈禱と供物を捧げ、善惡の區別を認め、來世の存

在を信せりと。一八九〇年十二月濠洲移民なるボンウヱク氏が王立植民協會に於て爲せる講演に據れば、かれ等が衰滅に赴かんとする以前に當りてかれ等は相當の智力を有し、殊にかれ等の中には催眠術と讀心術に達する書ありしと云へり。

諸典據と云はるべき或人々が濠洲人中に斯の如き智力的の發動を發見せざりしとて、他の研究者も同じく之を發見することなかるべしと云ふの論理は存在せず。他の人々の見得るものを或人の見得ざることとは其物の存在を否定するの價値なし。アイヤ、コリンス、マクギルヴレー等は消極例の學者にして、濠洲人中に如上の智力的動作あると認めざれども、さりとて吾人はカンニンガム、ドーンソン、ウルクス、サルヴェドロー、スタンブリッヂ、ルンホルツ等諸學者の證言と全く無視することはなし能はざる所なり。

濠洲人を文明に向はしめんとこの企圖は大に成功したりと云ふ能はざれども、而かもドーンソンはかれ等の或者を、幼稚ながらも、農夫となし、サルヴェドローはその近邊に幾多の有用なる土人勞働者を有し、ブロッツヴィルは金鑛發見のため白人勞働

者の悉く去りたる節、かれ等の力を藉りたるを云ひ、中途にして濠洲を去りたれども、バックレーは或種族を文明に導くに於て相當の成功をなせるものゝ如し。若し夫れ濠洲に於ける傳道の効果に就ては章を改めて更に論ずる所あらんと欲す。

ラム酒が彼等を傷害したる一事に至りては更に疑惑の挿むべきなし。アングロ・サキソン人種に取りてはラム酒を飲むことは必ずしも大害ならざれども、土人に取りては悲惨なる結果を來たすことを免かれず。彼等を保護する方法の行はれざるにあらざれども、之が主なる原因となり、他の諸種の原因事情と相合して、遂に年々歳々其人口を減少するに至れり。今日彼等の人口は植民地中の比較的移動少き部分にある者約一萬内外なるべしと雖、その絶滅に歸らんこと決して遠きにあらざるは疑ふべきにあらざるなり。

植民地の政府も今は以前よりも大なる權力を有するに至りたれば、秩序的の社會の輿論を代表して、蠻人の保護に従事することゝなれり。尤も蠻人等自身が之を歡び受くる場合に限り、決して之を強行することなし。西濠洲及び北クインス

ランドよりは今もなほ往々にして不祥の音信に接すれども、全體の上より觀察すれば、濠洲に在る白人の大多數が自己よりも以前に其土地を所有し、今は漸次消滅せんとせる種族に對し其義務を盡さんと焦心せるは否むべきにあらざるなり。

タスマニヤ人

タスマニヤ人と歐洲人との接觸の歴史もまた哀史中の一節なり。みな首尾相貫通せる一篇の哀史なり。彼等と歐洲人との接觸交渉の物語りは始められ、其自然の道程を走り、遂に其終末に達しぬ。タスマニヤ人は今や乃ち無し矣。其物語りは一種凄愴暗澹たる物語なり。——粗野亂暴なる人々一島嶼に上陸して見れば、己れ等より弱き人間の既に居住するありてこれに抵抗したれば、短氣にして粗暴なる新來者は忽ち激怒して島人を殲滅したりと云ふ一條の物語なり。獨逸の著述家ゲルランド氏は其絶滅の事情を述べて左の如く云へり。タスマニヤの人には文明に接觸したるがために絶滅したるにあらず——近代の學説は野蠻人が文明人に接觸する場合には早晩絶滅するを免かれずと主張す。——却て白人の

蠻行に由て絶滅したるなり。彼等は野獸の如く銃殺されたり。白人は島内を搜索して見當次第に彼等を虐殺せりと。一八一〇年に至る迄は土人を殺戮することには植民地の法律に於て殺人犯として認められざりき。一八二六年殲滅のための戦争開始せられ、成人を捕獲したる者は五磅、小兒を捕獲したる者は二磅の賞與金を給與されたり。彼等は悉く島内の一隅に追ひ籠められ、悉く虐殺されたり。此悲惨なる物語りは一八七六年此人種の最後の生存者なる一婦人の死に由りて、全く終焉を告ぐることゝなれり。現今のタスマニヤの總督は其意見を吐露して、彼等は之を殺戮せんとする敵手に亡ぶるは勿論、彼等を保護し、之を承續せしめんとする好意親切に依りてもまた滅亡を免かれざりしなりと。夫れ或は然らん、濠洲に起りし事例に由て判断すれば、吾人は必ずしも之に反對するの理由を有せざれども、ダーウソンの劣らざる一學者の云へる如く、印度に於ける猛獸狩の如くに之を包圍し、追ひ廻はし、追ひ詰め、而して遂に悉く殲滅すると云ふに至ては、豈に悲惨の極にあらずや。

南洋諸島の土人

南洋諸島に於てはその島嶼中の一つにても(例へばフィジー島の如き英國の範圍に入りての後は何等の不法も殘虐も行はれざりしと雖、而かも歐洲の貿易商と接觸してより以來非常の害悪を受け、その人口の減少を來すことゝなれり。此等の經過に關する材料に至ては汗牛充棟當ならず、而してその記事の慘澹たる人をして卒讀する能はざらしむるものありと雖、今は既に過去の歴史となり、了れり、而して大小島嶼の多くが歐洲の政府に由りて占領せられて以來漸く此等の地方に於ける出來事が歐洲人の注意を惹起するに至り、隨て歐洲の輿論は彼等島人に對し歐洲人の私情と貪慾とを恣にするに能はざらしむ。

惟ふに今日心ある英人が、其政府の印度に對する仁政を見て、歡喜に堪えざる所以今は甚だ明なりと信ず(他の國民をして各自己の重荷を負はしめよ)蓋し之に依りて過去の罪惡を贖はんと欲するなり、而して我英國政府の印度に對する善政の効果は之を過去に於て他の劣等種族に對して爲されたる罪惡と秤量すれば寧ろ之を贖ひ得て餘りあるの感なき能はず、固よりタスマニヤ人の不幸はベシナル人の幸福に依りて購はれず、銅色人種に加へられたる打撃はフィジー人を

保護することに依りて義とせられず、況んやジャマイカにある黒人が今日満足の境遇にありて如何にして奴隸として虐待されたるその祖先を慰藉することを得んや、個人的の觀察點よりすれば、これもとより眞理なりと雖、全體の上より見れば代償のことたる決して爲し難きことにあらず、吾人が祖先の罪惡は數代の間劣等種族に害悪を加へたり、而かも彼等より高等の教化を有せる彼等の子孫が今後數千代に至る迄世界の天然的人種に對して扶掖誘導の誠意を盡すことせば、豈その祖先の罪惡を贖ふことを得ざるの理あらんや、而して此代贖的責任を盡さんことは英國米國及び濠洲人の上に課せられたる帝國全體の義務なることを忘るべからざるなり。

過去の罪惡

吾人は以上叙述し來りたる白人の天然的人種殊に米國及び濠洲の同人種に對して爲せる歴史を回顧するに當り、基督教の博愛主義に訴ふる迄もなく、吾人が衷心にある徳義の觀念と人情とは之を是認することを許さざるなり、生存競争場裏に於ける適種生存の理法を引用し來りて、白人の犯せる罪惡の幾分を軽減

せんと試むるものなきにあらずと雖、固より何人にも満足を與へ得べきにあらず、靈性を有する人類に關することは之を有せざる他の社會の法則を以て判斷すべきにあらず。而かも精神界の法則たる正義、人情并に人類同胞の觀念等が必ずや有効なる結果を奏すべきことは、第一、抽象的の眞理に由りて證明せられ、第二、諸種の實例ことに全歴史上の光明點とも云ふべき、ペンシルヴァニア植民地に於けるウイリヤム・ペンの事蹟に依りて確められ、第三、十九世紀に入りて以來、以前に比すれば一層高尚なる主義を以て植民地の土人に對することゝなりしが、ために比較的大なる成功を得しこと等に由りて批准されたりと云はざるべからず。何處にても正義と仁愛を以て他に對せし所、禮儀と信實の武器を以て人に臨みし所に於ては必ず之に對する相當の結果を收め得たるを知るべし。

既往は追ふべからず、吾人は只だ將來に對して大に試むる所あらんのみ、天然的人種の或種族は明かに消滅しつゝあり、彼等は一朝俄然として、高度の文化の中に生活せんと努力せば、却て其生存を危くす。併し斯の如き種族に對してすらも、吾人の取るべき態度を一定せんことは決して困難にあらざるなり、吾人の間に

危篤の病人ある場合に吾人は如何なる待遇をなすか、吾人はあらん限りの力を盡し、あらゆる慰藉を與へて其病苦を軽減し、若し出來得べくば其生命を救はんことを勉むるにあらずや、吾人が瀕死の人種に對するもまた斯の如くなるべきにあらずや、吾人をして病室にあるが如く徐かに歩行せしめよ、而して忍耐と親切とを以て將さに逝かんとする者のために奉事せしめよ。

左の一節は今より二百年程以前、特に慈仁の情に富み而かも鋭利なる觀察力を有する一人士に依りて記されたるものなるが、其以後二百年來の歴史は愈、其眞理なるを證明するに似たり。請ふ吾人をして此處に抄録せしめよ。一人士とは即ちサートー・マス・プラオンなり、彼曰く、何れの時代にても其全時代を模倣するに足るべき時代とはなく、また如何なる國家にても國家全體として他の模範となり得べきものあることなし。歴史上には曾だ欽仰すべき事のみならず、幾多の擧げすべきこと、慨嘆に堪へざることあり。即ち人間の世界に於て有るべからざること、また人をして知らしむべからざる幾多の出來事あり。されば吾人の則るべき高尚なる模範は國民全體としては發見し得べきにあらず、只だ個人として

此處彼處に發見し得べきなり。また一國民のみを見ずして、廣く宇内の各國民の上に眼を注ぐを要すと、吾人と天然的人種の接觸せる歴史を讀むもの、須らく此精神を服膺せざるべからざるなり。

第拾壹章 教育及び宗教

第一、北米植民地の教育

英國植民地の建設者ははじめよりその教育事業をもつて最も重大なる要件なりとせり。多額の財産と永年の歴史とを有する幾多の學校を、本國を去ると共にその後に残し置きたれども、いづれの植民地に於ても教育に多大なる注意をはらひ去る幾多の普通學校と宗教學校とを建設せり。ヴァージニアのごとき會社に依りて創始せられたる植民地にありては、この點に關し本國會社の有力なる社員等の援助を求むることを得たれば、その便利甚だ少なからざりき。マサチューセツのごとき宗教の爲め亡命したるもの集合せる植民地にありては、かれら自らこれを經營するの外、何人にも援助を請ふの便なかりしと雖、かれらは教育と宗教との故をもつて、その兒孫をして國民の資格を失はしむるを好まず、その教育のために全幅の力を傾注することを惜まざりき。十三州獨立當時にいたるまでの亞米利加に於ける教育の歴史は、すこぶる注目にあたひすべき現象なりと

す。

第一、教育に關する設備は植民の創始せらるゝと同時に計畫せられたり。一六〇〇年の第二ヴァージニア會社の重なる社員中には實に左のごとき有名の人士を網羅せり。即ちシェイクスピアの保護者なるサウサムトン伯、ヘンリー、サー、フランシス、ペーコン、監督アボット(後の大監督)リチャード、ハクルート、ニコラス、ファラシ、サー、トーマス、スミス及びフリーカークの高弟サー、エドウィン、サンデース等なりとす。されば會社がヴァージニアなるヘンリコに一の大學を創立せんが爲に、ジェームス第一世より全國民に訴ふるの允許を得たるはもとより怪むに足らざるなり。而してこの寄附金募集の概の四方に飛ばさるゝや、倫敦監督はその教區のみより一千磅を寄附し、會社は自ら一千五百磅を醸出し、別に一萬エーカーの土地を之に提供するとせり。マサチューセッツの植民地は創開後僅かに十年を経たるのみにして、五千戸の移住民を有するに過ぎざりしが、夙くすでに教育事業に着手し一専門學校のために四百磅の經費を支出するの議決をなせり。これ實に植民地一年の歳入に相當するの額なりとす。斯くの如く公共的精神に富める政策に

應がて個人の特志者を奨励することとなり、その後二年即ち一六三八年に至りジョン・ハーバードなる亡命教役者ありて、遺言に由りて其全財産の半額と所有の書籍全部とを學校のために寄附したりけるが、これぞ新世界に於ける最も卓越せる教育の中心として世界に隠れなきハーバード大學の起原なりとす。而かもマサチューセッツの移住民が、その兒孫をして過去の遺業を繼承する機會を失はざらしめんと努むる一層顯著なる證據は、その議會を通過したる左の二箇の法律にありとす。

一六四二年の命令に云く、

「我等の同胞の中一人にても、其家庭内にある子女又は徒弟等に充分に英語を讀み書きし得る丈けの教育を施さずして放任し置くが如き野蠻の行爲あるべからず。」

一六四七年の命令に云く、

「學問が我等の祖先の墳墓に葬むられたることなからんがために、凡ての町村は、主神が其人口を五十戸以上に増加し玉ふたる時は、必ず其中より一人彼等

の子女に讀むこと、書くことを教ふる者を撰任すべく、若し其人口百戸以上に増加したる時は一箇のグラマースクール(英米のグラマースクールは吾國の小學校に尋常中學の科程を加へたる者に略相似たり)を設立すべく、而して其教師たるものは其學生をして大學に入らしむるに適當なる準備をなし得る學力を有せざるべからず。

此等の命令の中に溢れたる精神を以て、之を十九世紀の大部分の間我英國の輿論を指導したる精神に比較すれば、吾人は近世の思想が一樣に進歩の方面に向て働けりとの想像の甚だしく事實を遠ざかれるを滅せずんばあらざるなり。第二植民地の教育費用は最初の間は最も寛大に英國に依つて供給せられたり。ヘンリコ大學のためになしたる全國民に對する寄附金の請求はこれ只だ先驅者たるに過ぎずして、爾後同一の請求は幾度か繰り返へされたり。この學校は不幸にして中途廢校するとなりたれども、その後ウイリヤム及びメリー女王の治世に至りブレヤと稱する一の教師ウイリヤム・メリー大學のため倫敦市民より二千五百磅の寄附金を募集し、一六九二年に至りて之を創立することゝなれ

り。而してウイリヤム第三世は、ヴァージニヤに於ける或免租地より、當時王室に納るべき二千磅の金額を之が費用に充てたり。然れども當時既に之に反對する精神の本國に於て胚胎され、漸く外部に發露せんとしつゝ、ありとを忘るべからず。時の檢事總長シーモアは自ら甚だ氣が進まざれども、止むを得ずウイリヤム・メリー大學の特許狀を起草しつゝ、ありしが、ブレアの代表者がヴァージニヤ人も英國人と同じく靈魂を有すと云へるに對して遂に激怒を發して云へり。靈魂とや、詛ふべき汝等の靈魂よ、汝等は煙草を栽培しつゝ、あるにあらずやと。而して植民地の教育に關して一層英國公衆の心に不信を起さしむるの動機となりしは、宰相サー・ロバート・ワルポールがバーミンガムに一大學を建設せんとして努力しつゝ、ありし監督パークレーに對する待遇の冷淡にして、其熱心を沮喪せしむるが如き處置なりき。宰相は只だ約束したるのみにて何時迄待てども、遂に之を履行するの色なかりければ、パークレーは遂に其計畫を放棄するの止むを得ざるに至りしなり。然れども公衆の助力が全く斷絶したるにはあらず。ジョージ第二世は紐育の一大學のために四百磅を費府の大學のために二百を與へたり。これ等大

學の維持者等が訴へたるは一個人と基督教智識傳播會社と國教會とにて、國會に對してにはあらざりき。大監督は彼等のため全英國内の教會に於て集金することを許せしが、其募集の額は一七五五年に於て一萬に達したりき。

第三、教育は貧民の子第にも普及せられたり。例へば前に引照せるマサチューセツツの法律に據れば、町村は學校を設備して、すべての子弟に公開らるべくありしなり。一六六二年すでにバーミューダ島に於ては無月謝の學校あり。その維持者の中にはニコラス・フーラーの如きあり。ペムブローク種族中にある土地二戸分を寄附せり。南カロライナに於ては一七二一年と同三一年との兩度セント・トーマス教區の貧民教育のために大なる遺産の寄附せらるゝあり。一七〇二年福音傳道會社(英國教會中高派を代表する傳道會社)はその派遣宣教師のために心得書を起草したる後、植民地移住地に派遣すべき教會附屬學校教師のため同様の心得書を起草したり。

第四、教育は密接に宗教と關係を有したり。當時にありては宗教に關係なき教育なる觀念は何人も之を有せず。公共教育に於ては其植民地の宗教を以て教へら

たり。若し其植民地に一定の宗教なき場合に於ても、その學校は必ず何れかの教派に屬するものなりき。例へばコンネチカット州のエール大學は組合教會派の人々に依て創立され、ニュー・ジャージーのプリンストン大學は長老派に依り、紐育なるコロンビア、ペンシルヴァニアの費府大學等は英國教徒の手に依りて創立せられたり。これ等の學校に於ける排他主義は嘗ては頗る嚴重なるものなりき。エール大學に於て教授は信仰の告白に署名するを要し、基督降誕日及び聖典日に於て受聖餐者が出席するの外、生徒にして英國教會の禮拜式に列席する者あらば罰金を課せらるゝの定めなりき。ハーバード大學に於ては其特許狀には何等排他的の條項を有せざりしが、その神學校の課程に於ては云ふまでもなく英國神學の黄金時代を現出するに與つて力ありしフリーカー、アシャー、ジュレミ・テラー、スリングウーススリその他の英國教會に屬する神學者の著述を忌避したりき。學校は概して教會と接續して建てられたれば、學生は自然に各教派の信者となるを常としたり。英國が加奈太を得るに追びて、その教育はこれ迄ジエジュイト教徒の手中に於て管理せられしを發見せり。彼等は教會と病院と學校とを設立して互に脈